KENWOOD

Avino

マイクロハイファイコンポーネントシステム

VC-5DVD

VC-7DVD

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございました。
機器を正しく、安全にご使用いただくため、使用を開始する前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」をお読みになり、十分にご理解ください。
使いかたの説明も、併せてよくお読みくださるよう、お願いいたします。
また、取扱説明書は大切に保管して、必要になったときにくり返してお読みください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

B60-5254-00 02 (MA) (J) CR 0205

株式会社ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

はじめに

本機の特長

DVD プレーヤー搭載マイクロハイファイコンポーネントシステム

DVD ビデオ、ビデオ CD、音楽 CD、CD-R/RW の再生が可能なマルチプレーヤーと MD レコーダーを搭載。音楽 DVD ビデオソフトを再生し MD に録音も可能です。（DVD ビデオ、ビデオ CD、MP3 ファイル、WMA ファイルを MD へ録音するときは、アナログ録音になります。）

MP3/WMA 再生機能

MP3/WMA 形式の音声圧縮フォーマットで記録された音楽ファイルの再生ができます。

MD ロングプレイモード対応

MDLP（ATRAC 3）による長時間録音・再生に対応しています。標準の 2 倍（約 160 分*：LP2）または 4 倍（約 320 分*：LP4）のデジタルステレオ長時間録音・再生ができます。
* 80 分ディスクを使用した場合

MD グループ管理機能

MD の曲をアルバム、アーティスト別などのグループにまとめて、それぞれのグループにタイトルをつけたり、グループ単位での再生や検索ができます。

音楽 CD → MD High（ハイ） Speed（スピード）（4 倍速）録音機能

音楽 CD から MD へ簡単・短時間で録音できます。
（音楽 CD 以外のディスクは、アナログ録音のため通常速度の録音になります。）

便利な録音機能

- **ワンタッチ録音**
  キーを押すだけで、ディスク 1 枚または 1 曲を簡単に録音できます。
- **プログラム録音**
  お好きな曲をお好みの曲順で録音できます。（DVD ビデオ、MP3/WMA ファイルはプログラム録音できません。）

MD のタイトル漢字入力・表示（VC-7DVD のみ）

MD のディスク / グループ / 曲タイトルに漢字・ひらがなのタイトルをつけ、表示させることができます。

Net MD 対応（VC-7DVD のみ）

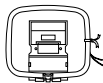
VC-7DVD の USB 端子を使ってパソコンと接続すると、パソコンを使った CD から MD への録音や MD のタイトル入力・編集などの操作が簡単にできます。
（VC-7DVD に添付のソフトをパソコンにインストールしてからお使いください。）

本書で使用しているディスク記号について

ディスクにより、使える機能が異なります。本書では次の記号を使い、その機能が使えるディスクを表しています。

DVD ：DVD ビデオで楽しめる機能です。
ビデオCD ：ビデオ CD で楽しめる機能です。
CD ：CD（CD-R/RW）で楽しめる機能です。
MP3/WMA ：MP3/WMA ディスクで楽しめる機能です。

付属品

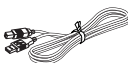
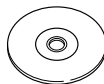
AM ループアンテナ
（1 個）

FM 室内アンテナ
（1 本）

スピーカーコード
VC-5DVD : 2 本（赤ライン）
VC-7DVD : フロントスピーカー用 2 本（赤ライン）
サラウンドスピーカー用 2 本（青ライン）

ビデオコード
（1 本）

リモートコントロール
ユニット（1 個）

リモコン用単三乾電池
（2 本）

USB コード（VC-7DVD のみ）
（1 本）

付属ソフトウェア「Mulia（ミューリア）」（VC-7DVD のみ）
（1 枚）

目次

⚠このマークのついた項目は、安全確保のために必ずお読みください。

お使いになる前に

準備する

基本的な操作

DVD/CD を操作する

外部機器ソースを聞く

MD を操作する

タイマーを使う

DVDを設定する

VC-7DVDだけの機能

ご参考に

安全上のご注意

⚠ このページは、感電や火災からあなたを守るため、ご使用の前に必ずお読みください。

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ **注意**　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。
（説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります）

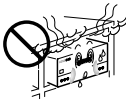
⚠ 警告

交流100ボルト以外の電圧で使用しない

この機器は、交流100ボルト専用です。
指定以外の電源電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

放熱に注意

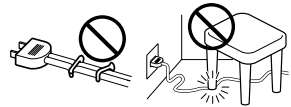
設置の際は、壁から10cm以上離してください。
機器のカバー等にある穴は、放熱のための通風孔ですので、ふさがないようにご注意ください。

- あおむけや横倒し、逆さまにして使用しない。
- 風通しの悪い狭い所に押し込まない。
- 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上において使用しない。

通風孔がふさがると、内部に熱がこもり、火災の原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない

風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

電源コードの取扱い

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、ステープルや釘などで固定しないでください。また、電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードを敷物などで覆ってしまうと、気づかずに重いものをのせてしまうことがあります。
コードが傷つき、火災・感電の原因となります。

電源コードが傷ついたら（芯線の露出、断線など）修理をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

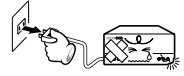
異常が起きた場合は

煙が出たり、変な臭いや音がする場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。

電源プラグは清潔に

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

落下した機器は使わない

機器を落としたり、カバーやケースがこわれた場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

ケースを絶対に開けないでください

機器の裏ぶた、カバーを開けたり、改造をしないでください。
内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。
点検、修理は販売店または当社サービス窓口にご依頼ください。

雷が鳴り始めたら

アンテナ線や電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。

機器の内部に水や異物を入れない

機器の上に花びんやコップなど水の入った容器を置かないでください。
こぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。

機器の通風孔、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。

内部に水や異物などが入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

電池は放置しない

電池は、幼児の手の届かないところへ置いてください。ボタン電池など小型の電池は特にご注意下さい。
電池をあやまって飲み込むおそれがあります。
万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

乾電池は充電しない

乾電池は充電しないでください。
電池の破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となります。

電源コードを熱器具に近付けない

電源コードを熱器具（ストーブ、アイロンなど）に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

不安定な場所には置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

湿気やほこりのある場所に置かない

油煙や湯気の当たる調理台、加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

温度の高い場所には置かない

窓を閉めきった自動車の中や、直射日光があたる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。
本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

電源プラグの抜き差しは

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。

電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。
発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

⚠ 注意

長期間使用しないときは

旅行などで長期間、ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。

指定以外のコードを使わない

関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。
指定以外のコードを使用したりコードを延長すると発熱し、やけどの原因となることがあります。

指定機器以外の物を乗せない

この機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きな物を置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

アンテナ工事

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。
アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

機器に乗らない

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。
倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

指をはさまない

お子様がカセットテープ、ディスク挿入口に手を入れないようご注意ください。
指がはさまれて、けがの原因となることがあります。

レーザー光源はのぞかない

レーザー光源をのぞき込まないでください。
レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

ひび割れディスクは使わない

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。
ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

音量に気をつけて

はじめに音量（ボリューム）を最小にしてください。
突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。
ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにしてください。
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

移動させる際は

移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。
コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

電池の取扱い

電池は誤った使い方をすると、破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を破損する原因となることがあります。
次のことを、必ず守ってください。

- 極性表示（プラス"+"とマイナス"-"の向き）に注意し、表示通りに入れてください。

- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。

お手入れの際は

お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電の原因となることがあります。

3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。販売店、またはケンウッドサービスセンターに費用を含めご相談ください。
内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

接続のしかた

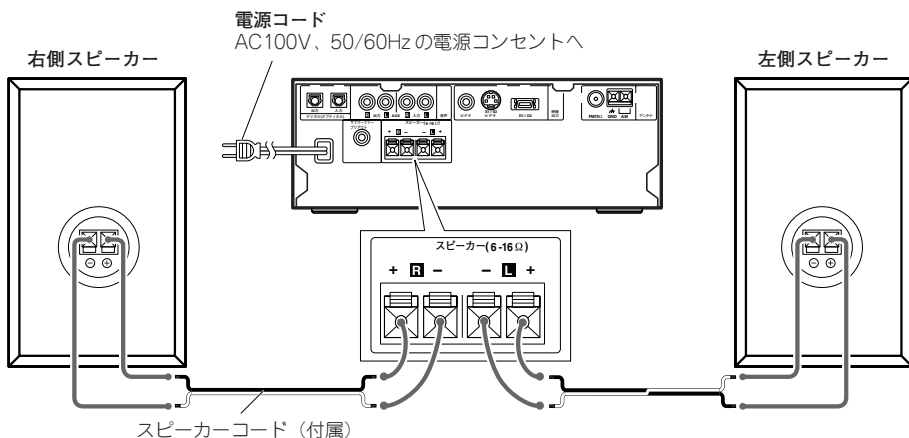
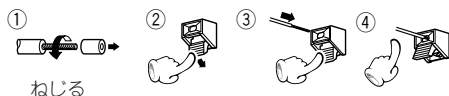
接続するときのご注意

- 接続が終了するまで、電源コードのプラグはコンセントに差し込まないでください。
- 全ての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと音が出なくなったり、雑音を発生することがあります。
- 接続コードを抜き差しするときは、必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。電源コードを抜かずに接続コードの抜き差しを行うと、誤動作または破損の原因となります。

マイコンの誤動作について

正しく接続したのに動作ができなかったり、ディスプレイが誤った表示をする場合は、"故障かな？と思ったら..."を参照してマイコンをリセットしてください。→ 142

スピーカーの接続

VC-5DVD のスピーカーの接続

スピーカーを接続するときのご注意

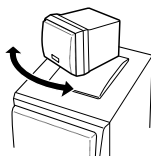
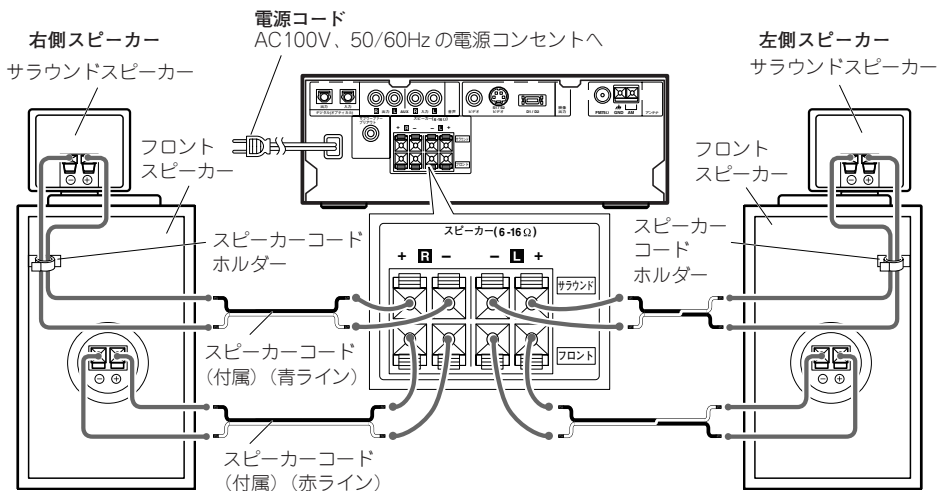
- スピーカーコードの"＋"と"－"は絶対にショートさせないでください。保護回路が働き音が出なくなります。
- 極性（"＋"と"－"）は正しく接続してください。極性を間違えて接続すると、楽器の位置がはっきりしないなど、ステレオ感がそこなわれた不自然な音になります。

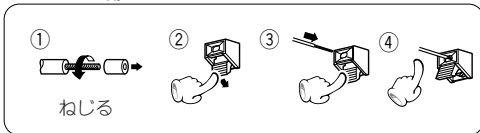
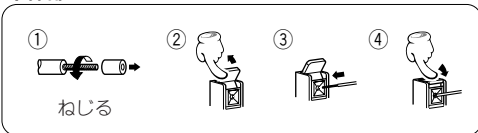
スピーカーを設置するときのご注意

- スピーカーの設置のしかたによっては、テレビに色ムラが生じる場合があります。このような場合は、一度テレビの電源を切ってから15～30分後に再度テレビの電源を入れてください。それでも色ムラが残るときは、スピーカーをテレビから離して設置してください。
- 近くに磁石など磁気を発生するものが置かれている場合、スピーカーとの相互作用でテレビに色ムラが発生することがあります。設置場所にご注意ください。
- テレビからの電磁波により、本機の電源スイッチをオフにしてもスピーカーから音が聞こえることがあります。このような場合は、テレビからスピーカーを離して設置してください。

VC-7DVD のスピーカーの接続

VC-7DVD のスピーカーは、上側のサラウンドスピーカーの向きを変えることができます。
お使いになるサラウンドモードなどによってお好みの向きに変えることができます。
（**"サラウンドチャンネルを調整する（V.F.S.）"→113**）

サラウンドスピーカーの向きの変え方

スピーカーの設置や移動をするとき、サラウンドスピーカーは持たないでください。サラウンドスピーカーを持って移動すると、サラウンドスピーカーを破損する原因となります。
スピーカーを移動するときは、フロントスピーカーを持ってください。

スピーカー部

本体部

マルチチャンネルサラウンド音声について

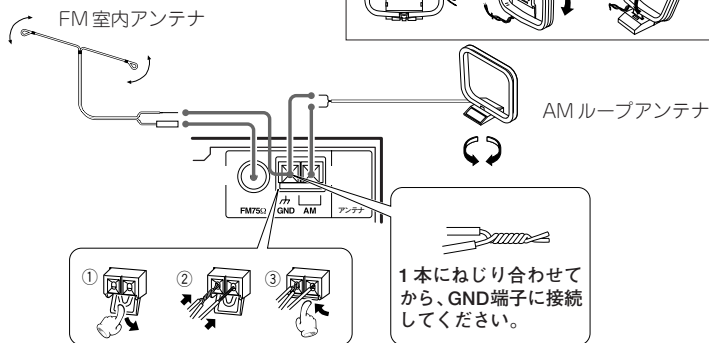
本機では、DVDビデオに収録されているドルビーデジタル／DTS 5.1チャンネルの音声は、内蔵のデコーダーでダウンミックスして本機のスピーカーから音を出しますが、再生するディスクによっては、AUX 出力端子、デジタル出力端子、PHONES（ホンズ）端子からダウンミックスされた信号ではなく、フロント（L/R）チャンネルのみを出力することがあります。
本機のスピーカーからの音は、バーチャルサラウンド機能を使ってサラウンド効果をお楽しみいただけます。

アンテナの接続

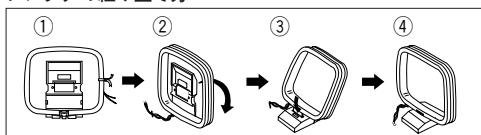
付属アンテナの接続

FM 室内アンテナ

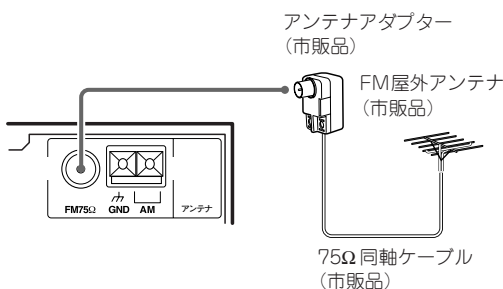
付属のアンテナは一時的に使用し、安定した受信のためには屋外アンテナ（市販品）の接続をお勧めします。付属のFM室内アンテナは、端子に接続し受信状態の良い位置で固定します。

屋外アンテナ（市販品）を接続するときは、FM室内アンテナは外してください。

AM ループアンテナ

付属のAMループアンテナは室内用です。本機、TV、スピーカーコード、電源コードからなるべく離れたところで、受信状態の一番よい方向に向けます。

アンテナの組み立て方

FM 屋外アンテナ（市販品）との接続

壁の共聴アンテナ端子と接続します。75Ω同軸ケーブル（市販品）とアンテナアダプター（市販品）を使って、本機の **"FM75Ω"** 端子に接続します。

付属のFM室内アンテナを接続しているときは、取り外してください。

⚠注意　屋外アンテナ設置上のご注意

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

テレビとの接続

テレビと接続するときのご注意

本機とテレビは直接接続してください。ビデオデッキを経由して接続すると、コピー防止機能が働き、再生のときに画像が乱れることがあります。

プログレッシブスキャン映像出力対応

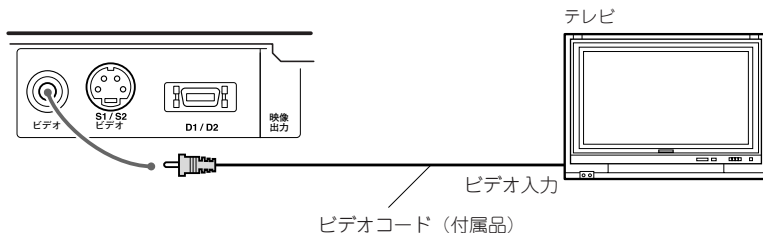
本機は、プログレッシブスキャンの映像出力に対応しています。本機のD端子とプログレッシブスキャン対応テレビのD2～D4端子を接続し、本機のスキャンモードを"PROGRESSIVE"(プログレッシブ)に設定すると、より高密度の映像でお楽しみいただけます。

本機は、次の端子が付いているテレビと接続できます。

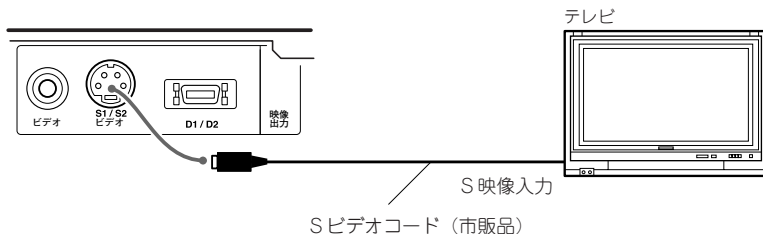
- **ビデオ入力端子が付いているテレビ**
  付属のビデオコードを使って接続します。→15
- **Sビデオ入力端子が付いているテレビ**
  市販のSビデオコードを使って接続します。→15
- **D端子が付いているテレビ**
  市販のD端子用ビデオコードを使って接続します。→16

ビデオ入力端子が付いているテレビとの接続

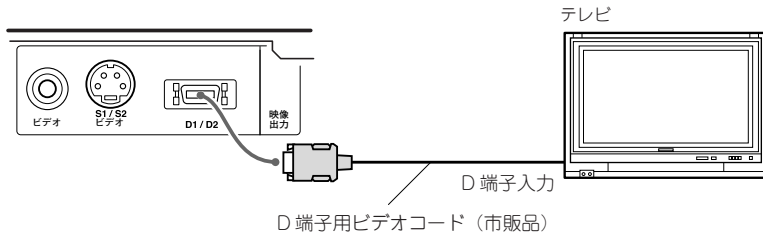
付属のビデオコードを使って、本機の"**ビデオ**"端子と接続します。

- 接続するテレビ（4：3または16：9）に応じて、初期設定の**"TVアスペクト"**を設定してください。→105

Sビデオ入力端子が付いているテレビとの接続

市販のSビデオコードを使って、本機の**"S1/S2 ビデオ"**端子と接続します。
ビデオ入力端子よりもさらに鮮明な映像でお楽しみいただけます。

- 接続するテレビ（4：3または16：9）に応じて、初期設定の**"TVアスペクト"**を設定してください。→105
- 接続するテレビに応じて、Sビデオ信号を切り換えてください。→110

D 端子が付いているテレビとの接続

市販のD 端子用ビデオコードを使って、本機の **"D1/D2"** 端子とテレビのD 端子を接続します。
プログレッシブスキャン対応テレビのD2〜D4 端子に接続すると、チラツキの少ない高密度の映像でお楽しみいただけます。

- 本機の他の映像出力は同時に接続しないでください。
- 接続するテレビ（4：3 または 16：9）に応じて、初期設定の **"TV アスペクト "** を設定してください。 →105

本機の "D1/D2" 端子について

S 映像よりも画質のよいコンポーネント映像信号（色同士の干渉を避けるため3 本の輝度・色差信号に分けたもの）は、従来3本のコードで接続していました。D端子はこのコンポーネント映像信号を1本のコードで接続できるようにしています。
また、D 端子では、映像信号と同時にテレビの制御信号（走査線数やアスペクト比の切り替え）も付加されています。
D 端子には、走査線数と走査のしかたで D1 〜 D5 までの規格があります。
本機の "D1/D2" 端子は、D2 規格の走査線数 525 本、インターレース（525i）／プログレッシブ（525p）に対応しています。

インターレースとプログレッシブ

テレビの画面走査方式です。テレビに映像を映し出すとき、画面走査を画面上から一つ飛びに走査線を映し出す方式をインターレースといい、画面上から順番に走査線を映し出す方式をプログレッシブと言います。
プログレッシブの方が、インターレースよりもチラつきの少ない映像になります。

インターレースとプログレッシブを切り換える

本機の "D1/D2" 端子とプログレッシブ対応テレビの D2 〜 D4 端子に接続したときは、本機からプログレッシブ方式の映像信号が送られます（"PROGRESSIVE" 表示が点灯）。
ただし、再生する DVD ビデオソフトなどによっては、不自然な映像になることがあります。このようなときは、インターレースに切り換えてください。

切り換えかた

リモコンの PROGRESSIVE/INTERLACE キーを押して "PROGRESSIVE" または "INTERLACE" を選ぶ

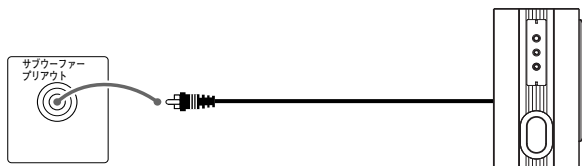
- キーを押すたびに表示部に **"PROGRESSIVE"** または **"INTERLACE"** と表示されます。

"PROGRESSIVE" 表示について

本機からプログレッシブ方式の映像信号が出力されているとき点灯し、インターレース方式の信号が出力されているとき消灯します。

- DVDディスクによっては、強制的にインターレース方式の映像信号出力を要求するシーンが収録されているものがあります。このようなシーンでは、本機の映像信号出力がプログレッシブに設定されていても、ディスクの要求にしたがってインターレース方式の映像信号が出力され、**"PROGRESSIVE"** 表示が消灯します。

サブウーファーとの接続

別売りのサブウーファーを接続します。
重低音を力強く再生します。

サブウーファーのオートスタンバイ機能＊について

接続したサブウーファーのオートスタンバイ機能をオンで使用しているとき、音や振動などによってサブウーファーだけ電源がオンになることがあります。このような場合は、サブウーファーのオートスタンバイ機能を使わずに、手動で電源をオフにしてください。
また、旅行などで長期間サブウーファーを使用しないときは、サブウーファーの電源を手動でオフにすることをお勧めします。

＊ オートスタンバイ機能とは、電源のオン／オフを信号の入力状態によって自動的に行う機能です。オートスタンバイ機能をオンにすると、サブウーファーに信号入力があると自動的に電源をオンにし、一定時間信号の入力がないと自動的に電源をオフにします。

外部ソース（音源）機器との接続

接続するソース（音源）機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

デジタル機器の接続

市販の光ファイバーケーブル（角形光コネクタープラグ付き）を使って、本機背面の**"デジタル（オプティカル）入力／出力"**端子とデジタル機器を接続します。

デジタル出力端子からは、本機の音源（ソース）DVD/CDからのデジタル信号のみを出力します。MDからの音声は出力しません。

"デジタル（オプティカル）入力"端子には、BS/CSチューナーなどのデジタルソース（音源）機器のデジタル出力（OPT出力、16ビットPCMモノラル/ステレオ信号）と接続します。
"デジタル（オプティカル）出力"端子には、DVDサラウンド音声を楽しむために、サラウンド・デコーダー内蔵AVレシーバーなどを接続します。また、デジタル録音機器を接続すると、本機からのビデオCD/音楽CDの音声信号を、接続した機器で録音することができます。

AVレシーバーなどのサラウンド・デコーダー内蔵機器と接続したとき

SET UP MENUの**"SOUNDの設定"** →107 で次のように設定してください。

- **ドルビーデジタル5.1chデコーダー内蔵の機器のとき**
  "デジタル出力DOLBY DIGITAL"を**"ビットストリーム"**（初期設定値）にする
- **DTSデコーダー内蔵の機器のとき**
  "デジタル出力DTS"を**"ビットストリーム"**（初期設定値）にする
- **MPEGデコーダー内蔵の機器のとき**
  "デジタル出力MPEG"を**"ビットストリーム"**（初期設定値）にする

CDレコーダーやMDレコーダーなどのデジタル録音機器と接続したとき

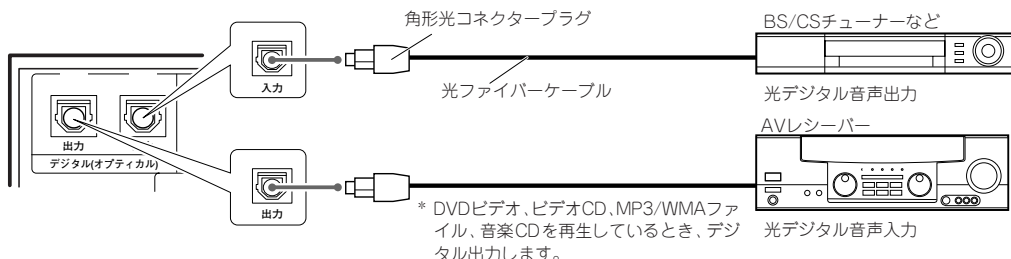
SET UP MENUの**"SOUNDの設定"** →107 で次のように設定してください。

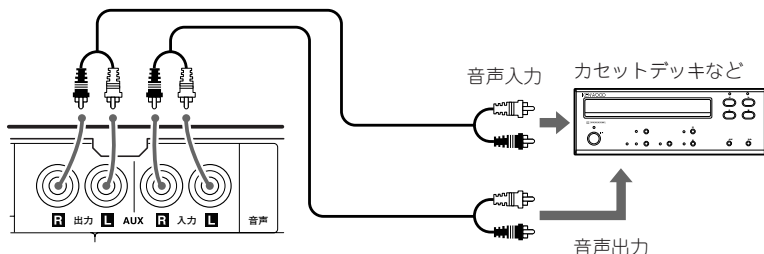
- **"デジタル出力DOLBY DIGITAL"**、**"デジタル出力DTS"**と**"デジタル出力MPEG"**を**"PCM"**にする
  ステレオ2chのPCM音声に変換して出力します。

接続した機器の取扱説明書もご覧ください。

接続時のご注意

- 角形光コネクタープラグはまっすぐに、カチッと音がするまで差し込んでください。
- 光ファイバーケーブルは、絶対に折り曲げたり束ねたりしないでください。
- デジタル（オプティカル）端子には、ゴミ・ホコリからの保護のためにドアカバーが付いています。プラグ側の向きと端子側の向きを確認して、光ファイバーケーブルを差し込みます。ドアカバーが内側に開いて、プラグが端子に差し込まれます。

＊ DVDビデオ、ビデオCD、MP3/WMAファイル、音楽CDを再生しているとき、デジタル出力します。

アナログ機器の接続

市販のピンコードを使って、本機背面のAUX入力／出力端子とカセットデッキなどのアナログ機器を接続します。

本機からのアナログ音声出力信号について

本機は、ドルビーデジタル5.1チャンネルなどのマルチチャンネルサラウンドの音声を、ダウンミックスした2チャンネルの信号でAUX出力端子およびPHONES（ホンズ）端子から出力します。ただし、再生するディスクによっては、フロント（L/R）チャンネルのみを出力する場合があります。

電源の接続

すべての接続が終了したら、電源コードのプラブをコンセントに差し込みます。
本体前面の **STANDBY/TIMER**（スタンバイ/タイマー）インジケーターが点灯します（スタンバイ状態）。

各部のなまえ

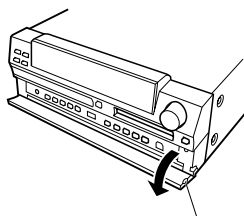
本体部

* VC-7DVDのみ

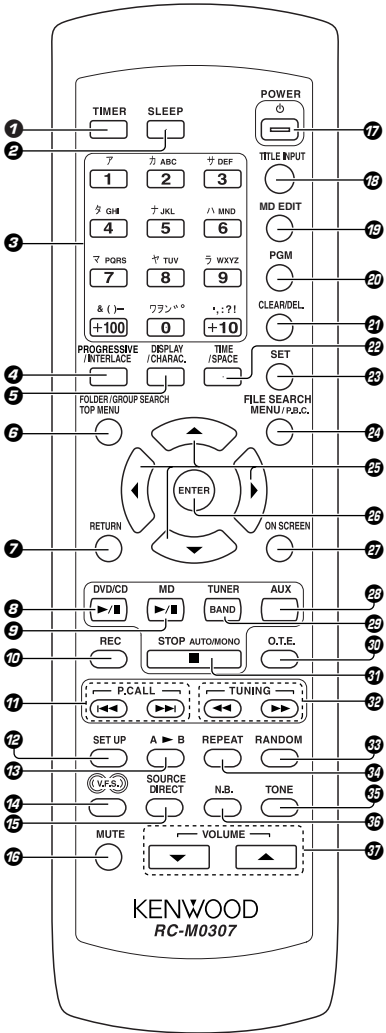
❶ STANDBY/TIMERインジケーター →24
❷ ⏻（電源）キー →24
❸ STOP■キー →40，→59
❹ DVD/CD►/IIキー →39
❺ MD►/IIキー →58
❻ リモコン受光部 →22
❼ 表示部 →23
❽ VOLUME/MULTI CONTROLつまみ →26
❾ ▲（MD取り出し）キー →60
❿ USB端子（VC-7DVDのみ） →117
⓫ MD挿入口 →58
⓬ SET/DEMOキー （注1）参照
⓭ MODEキー （注1）参照
⓮ SOURCE DIRECTキー →27
⓯ MD RECキー →74
⓰ REC MODEキー →74
⓱ ▲（ディスクトレイ開閉）キー →39
⓲ Net MDインジケーター（VC-7DVDのみ） →120
⓳ ディスクトレイ →39
⓴ I◄◄、►►Iキー →32，→40，→60
㉑ N.B.キー →27
㉒ AUX/USBキー（VC-5DVD：AUX/D-AUX） →57
㉓ TUNER/BANDキー →29，→32
㉔ PHONES端子 →28

この部分を下に下げて扉をあける。

（注1）SET/DEMOキーおよびMODEキー

→24，→25，→26，→29，→57，→72，→73，→76，→98，→102，→112（VC-7DVDのみ），→113（VC-7DVDのみ）

スタンバイ状態について

プレーヤー部のSTANDBY/TIMERインジケーターが点灯中は、メモリー保護のため、微弱な通電を行っています。これをスタンバイ状態といいます。このとき、リモコンで本機をオンできます。

リモコン

❶ TIMERキー →102

❷ SLEEPキー →97

❸ 数字、文字入力キー →33, →41, →43, →95, →115

❹ PROGRESSIVE/INTERLACEキー →16

❺ DISPLAY/CHARAC.キー →29, →42, →58

❻ FOLDER/GROUP SEARCH /TOP MENUキー →41, →48, →62

❼ RETURNキー →54, →56

❽ DVD/CD ►/❚❚キー →39

❾ MD ►/❚❚キー →58

❿ RECキー →74

⓫ P.CALL ❙◄◄、►►❙キー →32, →40, →60

⓬ SET UPキー →104

⓭ A ► Bキー →47

⓮ V.F.S.キー →28

⓯ SOURCE DIRECTキー →27

⓰ MUTEキー →26

⓱ POWER ⏻(電源)キー →24

⓲ TITLE INPUTキー →94, →114

⓳ MD EDITキー →70, →82

⓴ PGMキー →43, →64

㉑ CLEAR/DEL.キー →44, →65, →95, →115

㉒ TIME/SPACEキー →42, →61

㉓ SETキー →43, →64, →82, →94, →114

㉔ FILE SEARCH/MENU/P.B.C.キー →41, →48, →56

㉕ カーソル(◄ ► ▲ ▼)キー →41, →48, →49, →62, →104

㉖ ENTERキー →41, →48, →49, →62, →104

㉗ ON SCREENキー →49

㉘ AUXキー →57

㉙ TUNER/BANDキー →29, →32

㉚ O.T.E.キー →79

㉛ STOP■/AUTO/MONOキー →32, →40, →59

㉜ TUNING◄◄、►►キー →32, →40

㉝ RANDOMキー →45, →66

㉞ REPEATキー →46, →67

㉟ TONEキー →27

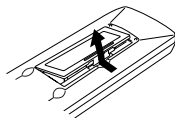
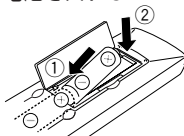
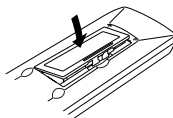
㊱ N.B.キー →27

㊲ VOLUME ▲、▼キー →26, →27

リモコンの準備

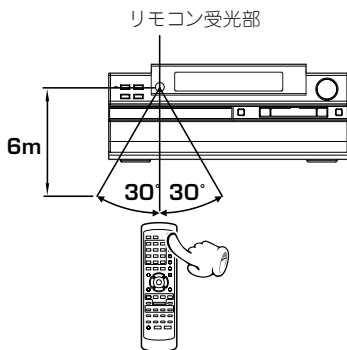
乾電池の入れかた

付属の乾電池を入れます。

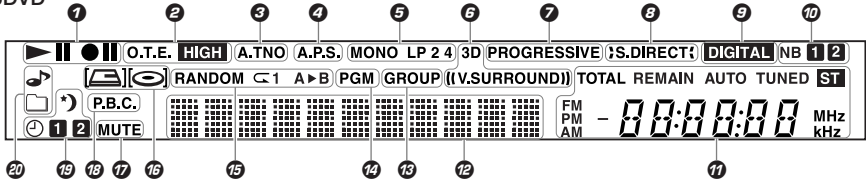
❶ カバーを開く

❷ 電池を入れる

❸ カバーを閉める

- 単３乾電池２個を極性マークに従って入れる。

付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがありますのでご了承ください。

リモコンの操作範囲

リモコンを本体のリモコン受光部に向けて操作します。

- リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すときは、約1秒以上の間隔をあけて確実に押してください。
- 操作できる距離が短くなったら、２個とも新しい電池と交換してください。
- リモコン受光部に直射日光や高周波点灯（インバーター方式等）の蛍光灯の光が当ると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

表示部

VC-5DVD

❶ 再生（▶）／一時停止（❚❚）／録音（●） →39, →58, →74, →75
❷ MD録音関連表示 →76 〜 →79
❸ A.TNO表示 →72
❹ A.P.S.表示 →102
❺ REC MODE表示 →59, →68
❻ サラウンド関連表示 →28
❼ PROGRESSIVE表示 →16
❽ S.DIRECT表示 →27
❾ DIGITAL表示 →72
❿ N.B.表示 →27
⓫ 再生／時刻／受信関連表示
（再生時間、時刻、周波数表示など） →25, →32, →42, →61
⓬ 文字情報表示部 →29, →42, →58, →93
⓭ GROUP表示 →62
⓮ PGM表示 →43, →64
⓯ 再生モード表示 →45 〜 →47, →66, →67
⓰ ディスク表示 →39, →58
ディスクが挿入されているとき点灯します。
入力がDVD/ビデオCD/CDまたはMDのとき
[ ]が点灯します。
⓱ MUTE表示 →26
⓲ P.B.C.表示 →56
⓳ タイマー関連表示 →97, →102
⓴ MP3/WMA関連表示 →41

VC-7DVD

❶ MD表示 →58
MDが挿入されているとき点灯します。
❷ DISC表示 →39
DVD/CDが挿入されているとき点灯します。
❸ 録音表示 →74, →75
❹ MD録音関連表示 →76 〜 →79
❺ PGM表示 →43, →64
❻ 再生（▶）／一時停止（❚❚） →39, →58, →59
❼ 音質関連表示 →27, →28
❽ カンジ表示 →58
❾ 時間表示関連表示 →42, →61
❿ P.B.C.表示 →56
⓫ A.TNO表示 →72
⓬ PROGRESSIVE表示 →16
⓭ 受信関連表示 →32
⓮ N.B.表示 →27
⓯ MUTE表示 →26
⓰ パソコン関連表示 →117, →120
⓱ MP3/WMA関連表示 →41
⓲ タイマー表示 →102
⓳ SLEEP表示 →97
⓴ A.P.S.表示 →102
㉑ 文字情報表示部 →29, →42, →58, →93
㉒ REC MODE表示 →59, →68
㉓ GROUP表示 →62
㉔ DIGITAL表示 →72
㉕ 再生モード表示 →45 〜 →47, →66, →67
㉖ V.F.S.表示 →28

電源のオン／オフ（スタンバイ）

電源をオンにする

本体の ⏻（電源）またはリモコンのPOWER ⏻（電源）キーを押す

● 本体のSTANDBY/TIMERインジケーターが消灯します。

ワンタッチオペレーション機能を使う

電源がオフ（スタンバイ）のとき、次のキーを押しても電源をオンにできます。

リモコン	本体	動作
DVD/CD ▶/❚❚	**DVD/CD ▶/❚❚**	ディスクトレイにディスクが入っていると、再生が始まります。
MD ▶/❚❚	**MD ▶/❚❚**	MD が入っていると、再生が始まります。
TUNER/BAND	**TUNER/BAND**	前回受信していた放送局を聞くことができます。
AUX	**AUX/D-AUX（VC-5DVD）** **AUX/USB（VC-7DVD）**	接続した機器の音を聞くことができます。

デモンストレーション表示について

本機には、デモンストレーション表示機能があります。電源がオンのとき、ディスクと MD が停止中で本体またはリモコンからのキー操作が約 10 秒間ないと、表示部にデモンストレーション表示が行われます。
デモンストレーション表示を解除するには、デモンストレーション表示中に **SET/DEMO** キーを押します。

電源がオンのとき、停電があったり電源プラグを抜き差しすると、自動的にデモンストレーション表示がオンになります。

ディスプレイの明るさを切り換える

VC-5DVD

本体のみ

❶ **MODE キーを押す**
❷ **VOLUME/MULTI CONTROL つまみを回して、"DIMMER" を選び、SET/DEMO キーを押す**
❸ **VOLUME/MULTI CONTROL つまみを回して、"LOW" または "HIGH" を選び、SET/DEMO キーを押す**

VC-7DVD

" バックライトを調整する "→112、**" コントラストを調整する "**→113 を参照してください。

電源をオフ（スタンバイ）にする

本体の ⏻（電源）またはリモコンのPOWER ⏻（電源）キーを押す

本体　　リモコン

⏻

● 本体のSTANDBY/TIMERインジケーターが点灯します。

時刻合わせ

本機には、12時間または24時間表示の時計機能があります。本機を使う前に必ず正確な時刻に合わせてください。時刻合わせの操作をしないと、タイマー機能を使うことができません。

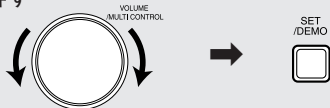
タイマー設定後、電源がオフ(スタンバイ)中に、停電があったり電源プラグをコンセントから抜き差ししたときは、**STANDBY/TIMER** 表示が緑色に点滅します。この場合はもう一度時刻合わせをやり直してください。

電源をオンにする

→24

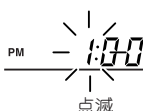
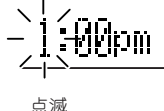
本体のみ

❶ **MODE キーを押す**

❷ **VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して、"TIME ADJUST" を選び、SET/DEMO キーを押す**

❸ **VOLUME/MULTI CONTROL つまみを回して、"12 HOUR" または "24 HOUR" を選び、SET/DEMO キーを押す**

12 HOUR
点滅

12 HOUR：時刻を 12 時間表示にするとき選びます。
24 HOUR：時刻を 24 時間表示にするとき選びます。

❹ **VOLUME/MULTI CONTROL つまみを回して、"時" を合わせる**

午後 1 時 30 分に合わせる例

● **SET/DEMO** キーを押すと時間が設定されて、分表示が点滅します。

❺ **SET/DEMO キーを押す**

❻ **VOLUME/MULTI CONTROL つまみを回して、"分" を合わせる**

午後 1 時 30 分に合わせる例

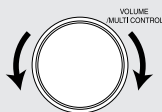
❼ **SET/DEMO キーを押す**

● 時刻を間違えたときは、手順❶からやり直してください。
● 時報と同時に **SET/DEMO** キーを押すと、正確に時刻を設定することができます。
● 電源がオフ(スタンバイ)のとき **STOP■** キーを押すと、5 秒間時刻を表示することができます。

基本的な操作

音量を調整する

本体

VOLUME/MULTI CONTROL つまみを回す

右に回す：音量が上がります。
左に回す：音量が下がります。

リモコン

VOLUME▲ または ▼ を押す

VOLUME▲：音量が上がります。
VOLUME▼：音量が下がります。

- 0～79, MAX の範囲で調節できます。
- 音量を調整すると､表示部に音量が数秒間表示されます。

一時的に音を消す

リモコンの MUTE キーを押す

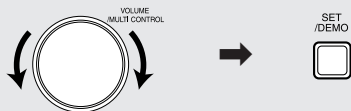
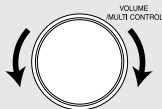
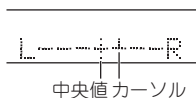
- **"MUTE"** 表示が点滅し、音が消えます。
- もう一度 **MUTE** キーを押すと、元の音量に戻ります。
- 音量を操作したときも解除され音が出ます。

バランスを調整する

左右のスピーカーの音量バランスを調整します。

本体のみ

❶ MODE キーを押す

❷ VOLUME/ MULTI CONTROL つまみを回して、"BALANCE" を選び SET/ DEMO キーを押す

❸ VOLUME/ MULTI CONTROL つまみを回して、左右のバランスを調整する

右に回す:右(R)チャンネル側にカーソルを調整します。
左に回す:左(L)チャンネル側にカーソルを調整します。

❹ SET/ DEMO キーを押す

低音と高音を補正する（N.B.：Natural Bass 機能）

低音部と高音部を強調します。"N.B.1" は低音部が強調され、"N.B.2" は音量に応じて低音部と高音部が強調されます。

本体またはリモコンの N.B. キーを押す

本体　N.B.

リモコン　N.B.

押すたびに切り換わります。

→ "N.B.1"（N.B.1 点灯）：低音部のみ強調します。
"N.B.2"（N.B.2 点灯）：音量に応じて低音部と高音部を強調します。
N.B. 機能解除（消灯）：音の補正を解除します。

- N.B. 機能が働いているときは、TONE 機能、V.F.S. 機能は解除されます。

音質を調整する（TONE 機能）

低音部（BASS）と高音部（TREBLE）を調整します。

- TONE 機能が働いているときは、N.B. 機能、V.F.S. 機能は解除されます。

リモコンのみ

❶ TONE キーを押す

TONE

- "BASS" が表示されます。

❷ VOLUME▲ または ▼ キーを押して低音のレベルを調整する

VOLUME ▼ ▲

- "－8"～"＋8" の範囲で調整できます。

❸ "BASS" を表示中に TONE キーを押す

TONE

- "TREBLE" が表示されます。
- "－8"～"＋8" の範囲で調整できます。

❹ VOLUME▲ または ▼ キーを押して高音のレベルを調整する

VOLUME ▼ ▲

❺ TONE キーを押す

TONE

- 音質を調整する前の表示に戻ります。
- TONEキーを押さずに、20秒以上キー操作をしないと、音質を調整する前の表示に戻ります。

音源（ソース）の音をダイレクトな音で聞く（SOURCE DIRECT 機能）

ソースダイレクト機能をオンにすると、N.B. 機能、TONE 機能、サラウンドモード（V.F.S.）の音質調整回路を通さずに音源（ソース）からのダイレクトな音を聞くことができます。

SOURCE DIRECTキーを押す

本体　SOURCE DIRECT

リモコン　SOURCE DIRECT

押すたびに切り換わります。

→ S.DIRECT ON：N.B. 機能、TONE 機能、サラウンドモード（V.F.S.）の音質調整回路を通さないダイレクトな音を聞くことができます。
- SOURCE DIRECT 機能がオンのときは、N.B. キー、TONE キーおよび V.F.S. キーは効きません。

S.DIRECT OFF：N.B. 機能、TONE 機能、サラウンドモードを使った音で聞くことができます。

サラウンド効果を楽しむ

広がりのあるサラウンド効果の音をお楽しみいただけます。
本機には、次の2種類のサラウンドが用意されています。

V.F.S.（バーチャルフロントサラウンド）： 全てのソース（音源）に効果があります。

V.S.（バーチャルサラウンド）： ドルビーデジタル5.1chの音声が収録されたDVDディスクの音声を本機スピーカーまたはヘッドホンで聞くときに選びます。ドルビーデジタル5.1ch以外の音声が収録されたディスク(音楽CD、ビデオCD、MP3/WMA）でも、擬似的にサラウンド効果が得られます。以下のディスクを再生中、V.S.（バーチャルサラウンド）は自動的にオフになります。
・モノラル録音されたMP3/WMAファイル
・サンプリング周波数96k Hzでリニア PCM録音されたディスク（サンプリング周波数、リニアPCM→"用語解説"→140）

- V.F.S.（バーチャルフロントサラウンド）とV.S.（バーチャルサラウンド）は一緒に使うことはできません。V.F.S.（バーチャルフロントサラウンド）が働いているときは、V.S.（バーチャルサラウンド）は解除されます。
- V.F.S.（バーチャルフロントサラウンド）が働いているときは、N.B.機能、TONE（トーン）機能は解除されます。
- VC-7DVDのサラウンドスピーカーは、V.F.S.（バーチャルフロントサラウンド）を使っているときだけ音が出ます。
V.F.S.（バーチャルフロントサラウンド）を使うときは、サラウンドチャンネルの音量調整（→113）を行ってください。

V.F.S.（バーチャルフロントサラウンド）のモードを選ぶ

リモコンのみ

V.F.S.（バーチャルフロントサラウンド）キーを押す

押すたびにサラウンドモードが切り換わります。

VC-5DVDのとき
- 3D SURROUND（サラウンド）
- OFF（オフ）

VC-7DVDのとき
- CINEMA（シネマ） 1
- CINEMA（シネマ） 2
- LIVE（ライブ）
- OFF（オフ）

V.S.（バーチャルサラウンド）のモードを選ぶ

オンスクリーンディスプレイを使って操作します。
操作方法は、""SOUND" オンスクリーンディスプレイ "→51 をご覧ください。

ヘッドホンで聞く

❶ ヘッドホンのプラグをPHONES（ホンズ）端子に差し込む

❷ VOLUME（ボリューム）/MULTI（マルチ） CONTROL（コントロール）つまみで音量を調節する

- ステレオミニプラグ付きのヘッドホンを使用します。
- スピーカーから音が出なくなります。

放送局を自動的に記憶させる(オートプリセット)

お住まいの都道府県名を選ぶだけで、自動的に受信できる放送局が記憶されます。

本体のみ

❶ TUNER/BAND キーを押して入力切換をチューナーにする

❷ MODE キーを押す

❸ VOLUME/ MULTI CONTROLつまみを回して、"AUTO PRESET"(VC-7DVD:県名設定)を選び、SET/DEMOキーを押す

❹ VOLUME/ MULTI CONTROLつまみを回して、お住まいの都道府県名を選ぶ

❺ SET/DEMOキーを押す

オートプリセットはFMおよびAMの放送局をあわせて、最大40局まで登録します。放送局名表示は**"エリア別FM放送局名自動表示リスト"**に載っているFM放送局のみに対応しています。➡30, ➡31

- VC-5DVDのときは、**"ケンメイ ミセッテイ?"**と表示されます。VC-7DVDのときは、**"未設定?"**と表示されます。
- すでにオートプリセットされているときは、都道府県名が表示されます。

- 都道府県名は、アイウエオ順に並んでいます。
- 都道府県名を設定したときは、**"エリア別FM放送局名自動表示リスト"** に従ってオートプリセットされます。

- **"AUTO PRESET"** 表示が点滅して順次FM局をメモリーして、次にAM局をメモリーします。
- **"エリア別FM放送局名自動表示リスト"**以外の放送局は、マニュアルプリセットしてください。
- 受信中の周波数の放送局名が設定されていない場合、および **"TUNED"** が点灯していない場合は、放送局名は表示しません。➡30, ➡31
- オートプリセットが終ると、最初にオートプリセットした放送局名が表示されます。
- すでにプリセットされている局は書き換えられます。

希望の放送局名が表示されないとき

放送地域によっては、周波数が同じでも放送局名が違う場合があります。希望する放送局名が表示されていないときは、SET/DEMO キーを押して"エリア別FM放送局名自動表示リスト"にある別の放送局名にかえることができます。押すたびに切り換わります。

表示部の切り換えについて(VC-5DVDのみ)

オートプリセットしたFM局の表示を切り換えます。

リモコンのみ

オートプリセットしたFM放送局を受信中に、DISPLAY/CHARAC.キーを押す

DISPLAY
/CHARAC.

押すたびに切り換わります

放送局名
プリセット番号

エリア別FM放送局名自動表示リスト（VC-5DVD）

2001年 10月現在

地方	放送局	表示名
全国ネット	NHK - FM	NHK - FM
北海道地方	エフエム北海道	AIR - G’
北海道地方	エフエム・ノースウェーブ	NORTH WAVE
東北地方	エフエム青森	FMアオモリ
東北地方	エフエム岩手	FMイワテ
東北地方	エフエム仙台	Date fm
東北地方	エフエム秋田	エフエム アキタ
東北地方	エフエム山形	BOY FMヤマガタ
東北地方	エフエム福島	フクシマFM
関東地方	エフエム東京	TOKYO FM
関東地方	エフエムジャパン	J - WAVE
関東地方	エフエムインターウェーブ	InterFM
関東地方	放送大学	ホウソウダイガク
関東地方	エフエム群馬	FM GUNMA
関東地方	エフエム栃木	RADIO BERRY
関東地方	エフエム埼玉	NACK5
関東地方	エフエムサウンド千葉	BayFM
関東地方	横浜エフエム放送	Fm yokohama
関東地方	エフエム富士	FM-FUJI
中部地方	エフエムラジオ新潟	FM - NIIGATA
中部地方	新潟県民エフエム	FmPort.com
中部地方	長野エフエム放送	FM NAGANO
中部地方	北日本放送	KNBラジオ
中部地方	富山エフエム放送	FMトヤマ
中部地方	エフエム石川	FM イシカワ
中部地方	福井エフエム放送	FMフクイ
中部地方	静岡エフエム放送	K・MIX
中部地方	エフエム愛知	FM AICHI
中部地方	エフエム名古屋	ZIP - FM
中部地方	愛知国際放送	RADIO-i
中部地方	岐阜エフエム放送	FMギフ
近畿地方	三重エフエム放送	FMミエ
近畿地方	エフエム京都	アルファStation
近畿地方	エフエム滋賀	e - radio
近畿地方	エフエム大阪	fm osaka
近畿地方	エフエムはちまるに	FM802
近畿地方	関西インターメディア	FM CO・CO・LO
近畿地方	兵庫エフエムラジオ放送	Kiss - FM
中国・四国地方	エフエム山陰	V - air
中国・四国地方	岡山エフエム放送	FMオカヤマ
中国・四国地方	広島エフエム放送	ヒロシマFM
中国・四国地方	エフエム山口	FMヤマグチ
中国・四国地方	エフエム徳島	PassionWave
中国・四国地方	エフエム香川	FMカガワ
中国・四国地方	エフエム愛媛	FMエヒメ
中国・四国地方	エフエム高知	FM KOCHI
九州・沖縄地方	エフエム福岡	fm fukuoka
九州・沖縄地方	エフエム九州	CROSS FM
九州・沖縄地方	エフエム佐賀	FMサガ
九州・沖縄地方	エフエム長崎	SMILE-FM
九州・沖縄地方	エフエム中九州	FMK
九州・沖縄地方	エフエム大分	FM OITA
九州・沖縄地方	エフエム宮崎	JOY - FM
九州・沖縄地方	エフエム鹿児島	ミューFM
九州・沖縄地方	エフエム沖縄	FM Okinawa
九州・沖縄地方	NHK 第一	NHKラジオ 1
九州・沖縄地方	AFN 沖縄	AFN オキナワ
九州・沖縄地方	九州国際エフエム	Love FM

エリア別FM放送局名自動表示リスト（VC-7DVD）

2001年10月現在

地方	放送局	表示名
全国ネット	NHK - FM	NHK - FM
北海道地方	エフエム北海道	Air - G’
	エフエム・ノースウェーブ	NORTH WAVE
東北地方	エフエム青森	エフエム青森
	エフエム岩手	エフエム岩手
	エフエム仙台	Date fm
	エフエム秋田	エフエム秋田
	エフエム山形	BOY - FM
	エフエム福島	ふくしまFM
関東地方	エフエム東京	TOKYO FM
	エフエムジャパン	J - WAVE
	エフエムインターウェーブ	InterFM
	放送大学	放送大学
	エフエム群馬	FMぐんま
	エフエム栃木	RADiO BERRY
	エフエム埼玉	NACK5
	エフエムサウンド千葉	BayFM
	横浜エフエム放送	Fm yokohama 84.7
	エフエム富士	FM - FUJI
中部地方	エフエムラジオ新潟	FM - NIIGATA
	新潟県民エフエム	FmPort.Com
	長野エフエム放送	FM 長野
	北日本放送	KNB北日本放送
	富山エフエム放送	FMとやま
	エフエム石川	FM石川
	福井エフエム放送	FM福井
	静岡エフエム放送	K - MIX
中部地方	エフエム愛知	FM AICHI
	エフエム名古屋	ZIP - FM
	愛知国際放送	RADIO-i
	岐阜エフエム放送	FM岐阜
近畿地方	三重エフエム放送	FM三重
	エフエム京都	α-STATION
	エフエム滋賀	e - radio
	エフエム大阪	fm osaka
	エフエム802	FM802
	関西インターメディア	FM CO･CO･LO
	兵庫エフエムラジオ放送	Kiss - FM KOBE
中国・四国地方	エフエム山陰	エフエム山陰
	岡山エフエム放送	FM岡山
	広島エフエム放送	広島FM
	エフエム山口	エフエム山口
	エフエム徳島	fm - tokushima
	エフエム香川	FM香川
	エフエム愛媛	FM愛媛
	エフエム高知	FM KOCHI
九州・沖縄地方	エフエム福岡	fm fukuoka
	エフエム九州	CROSS FM
	エフエム佐賀	FM佐賀
	エフエム長崎	SMILE-FM
	エフエム中九州	FM中九州
	エフエム大分	FM大分
	エフエム宮崎	JOY FM
	エフエム鹿児島	エフエム鹿児島
	エフエム沖縄	FM Okinawa
	NHK 第一	NHKラジオ 第1
	AFN 沖縄	AFN オキナワ
	九州国際エフエム	Love FM

記憶させた放送局を呼び出す（プリセットコール）

❶ TUNER/BANDキーを押して音源（ソース）をラジオにする

本体　リモコン

❷ ⏮または⏭を押して、記憶させた放送局を呼び出す（プリセットコール）

本体　リモコン

⏭を押すと：
1→2→3→…38→39→40→1→…
⏮を押すと：
40→39→38→…3→2→1→40→…

- リモコンの数字キーを押しても放送局を呼び出すことができます。

数字キーを押す順序は
12局目なら .... +10、2
20局目なら .... +10、+10、0

記憶させていない放送局を聞く（オート選局、マニュアル選局）

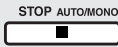
リモコンのみ

❶ TUNER/BANDキーを押して音源（ソース）をラジオにし、放送バンド（FMまたはAM）を選ぶ

TUNER BAND

押すたびに切り換わります。
FM
AM

❷ STOP■/AUTO/MONOキーを押して、オート選局とマニュアル選局を切り換える

STOP AUTO/MONO ■

押すたびに切り換わります。

オート選局 ： 表示部の "AUTO" が点灯します。電波の状態が良いときに選びます。

マニュアル選局 ： 表示部の "AUTO" は点灯しません。電波が弱く雑音が多いときに選びます。マニュアル受信のとき、FM放送はモノラル受信になります。

- 通常は AUTO（オート選局、ステレオ受信）を選んでください。

❸ TUNING◀◀または▶▶キーを押して、選局をする

オート選局のとき：
キーを押すごとに次々に受信します。

マニュアル選局のとき：
希望する放送局を受信するまで押します。

放送局を選んで記憶させる(マニュアルプリセット)

リモコンのみ

❶ "記憶させていない放送局を聞く(オート選局、マニュアル選局)" の手順を行なって、記憶させたい放送局を受信する

❷ 受信中にENTER キーを押す

VC-5DVD

点滅

❸ 数字キーで1〜40 までのプリセット番号を選ぶ

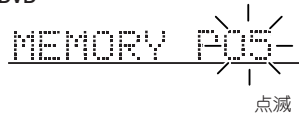
VC-5DVD

点滅

数字キーを押す順序は

12局目なら .... +10、2

20局目なら .... +10、+10、0

❹ ENTER キーを押す

- 放送局が記憶されます。
- プリセットを続るときは、手順❶〜❹を繰り返します。
- 同じプリセット番号に重ねて記憶させると、新しい放送局に変更されます。

再生できるディスクについて

再生できるディスクの方式と種類

再生できるディスク	DVDビデオ	ビデオCD	CD
ロゴマーク	COMPACT disc DIGITAL VIDEO	COMPACT disc DIGITAL VIDEO	COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT / COMPACT disc DIGITAL AUDIO

- 再生できるCD-R/RWは、CD-DA、MP3/WMA、ビデオCDのデータ形式で記録され、セッションがクローズまたはファイナライズされたディスクです。ただし、ディスクの特性や記録状態などにより、本機で再生できない場合があります。
- ディスクレーベル面に"COMPACT disc DIGITAL AUDIO"マークが入ったものなどJIS規格に合格したものをご使用ください。このマークが入っていないディスクは、正しく再生できない場合があります。

ディスクや本機の状態による操作制限 DVD ビデオCD

DVDビデオ や ビデオCDは、ソフト制作者の意図により、操作が制限されていることがあります。また本機の状態により操作が制限される場合もあります。
本機では、ソフト制作者が意図したディスクの内容にしたがって再生を行うため、操作した通りに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずお読みください。
操作中に、本機に接続したテレビの画面に禁止アイコンが表示されることがありますが、上記の制限状態にあることを示します。

禁止アイコン

再生できないディスク

SACD、DVDオーディオ、フォトCD、SVCD、VSD
DVD-R/RW、DVD+R/RW、DVD-RAM
CD-R/RW（CD-DA/ビデオCD/MP3/WMAフォーマット以外のデータ形式で記録されたディスク、セッションがクローズまたはファイナライズされていないディスク）
CD-ROMおよびDVD-ROM（PCデータ等本機で扱えないデータ形式で記録されたもの)
- 次のディスクは音声部分のみ再生できます：**CDV、CD-G、CD-EG、CD-EXTRA**

DVDディスクに表示されている各種のアイコンについて DVD

ALL 再生可能なリージョンコード（地域番号）を表します。

オーディオ機能の言語数を示します。アイコン中に表示されている数字が言語数を表します。（最大8ヵ国語）

サブタイトル機能の字幕言語数を示します。アイコン中に表示されている数字が言語数を表します。（最大32ヵ国語）

アングル機能のアングル数を示します。アイコン中に表示されている数字がアングル数を表します。（最大9アングル）

選ぶことのできるアスペクト比を示します。LBはレターボックス、PSはパン＆スキャンを表します。（このアイコンを例にすると、16：9の映像からレターボックスに変換できることを表しています）

DVDビデオのリージョンコードとテレビ方式について

本機では、NTSCのテレビ方式で収録され、リージョンコードに ALL または 2 が含まれているDVDビデオの再生ができます。ジャケットに"NTSC 日本国内向け"と記載されていないDVDビデオは、リージョンコード以外に、記録されている映像信号のテレビ方式にも注意ください。接続するテレビのテレビ方式と、DVDビデオに記録されている映像信号（本機から出力される映像信号）のテレビ方式が異なると、乱れた映像になります。日本国内のテレビは、NTSC テレビ方式です。NTSC テレビ方式で収録された DVD ビデオを使用ください。

テレビ方式について

テレビ方式には、日本やアメリカなどで採用されているNTSC方式とヨーロッパなどで採用されているPAL方式、フランス、ロシア、東欧などで採用されている SECAM 方式があります。

リージョンコードについて

DVDビデオには、国ごとに割り当てられたリージョンコード（地域番号）があります。本機のリージョンコードは 2 です。
ディスクのジャケットに ALL または 2 を含みリージョンコードが表示されている DVD ビデオが再生できます。

ビデオ CD のテレビ方式について

NTSC 方式で収録されているビデオ CD を再生します。PAL 方式など NTSC 方式以外で収録されているビデオ CD を、日本国内向け一般家庭用テレビ（NTSC 方式）で見ると、乱れた映像になります。

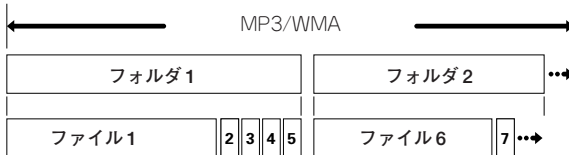
ディスクの構成 DVD ビデオCD CD MP3/WMA

DVD ビデオのディスクの構成

タイトルは映像や曲の一番大きい単位をいいます。1つのタイトルはいくつかのチャプターで構成されています。

CD、ビデオ CD、CD-R/RW のディスクの構成

CD、ビデオCDの場合は、トラックという呼び方で区切られています。音楽CDなどの場合、1曲目はトラック 1 になります。

MP3/WMA のディスクの構成

フォルダはディスクに記録されている一番大きい単位をいいます。
１つのフォルダが１つ以上のファイルで構成されている場合もありますが、ファイルがフォルダに入っておらず、直接ディスクに記録されているものもあります。
また、フォルダの中にフォルダがあるといった階層構造になっているディスクもあります。

本機で再生できるMP3/WMA 収録ディスクについて

MP3 または WMA 形式の音声圧縮フォーマットで記録された音楽ファイルの再生ができます。ディスクの特性、記録状態等により、本機では再生できない場合があります。

ファイルフォーマット

ISO9660 レベル 2（拡張フォーマットは除く）

ファイル数/フォルダー数

最大 999 フォルダー、最大 999 ファイル

再生可能なサンプリング周波数

推奨 44.1kHz（32/44.1/48kHz 対応）

転送ビットレート

MP3 ファイルのとき： 推奨 128kbps（32kbps ～ 320kbps）
WMA ファイルのとき： 推奨 128kbps（64kbps ～ 160kbps）

ディスク情報表示

ルートフォルダー名
表示機能なし
フォルダー名／ファイル名
ISO9660 レベル 2 に対応
ファイル名には拡張子 ".mp3" または ".wma" がついていることが必要です。
表示する場所：本体表示部と接続された TV の OSD 画面・TAG 表示エリア内
表示可能な文字：半角カナ文字、半角英数字、半角の _（アンダースコア）
表示可能な文字数：最大 31 文字（拡張子を含む）
TAG 情報表示
version 1.0 対応
表示する場所：接続された TV の OSD 画面・TAG 表示エリア
表示内容：アーティスト名、アルバム名、タイトル名（フォルダー名、ファイル名）
表示可能な文字：半角カナ文字、半角英数字、半角記号 _（アンダースコア）
表示可能な文字数：「アーティスト名」「アルバム名」「タイトル名」は、それぞれ半角英数文字で最大 30 文字まで。

MP3/WMA 収録ディスクを作成するときの注意

MP3/WMA 収録ディスクをパソコンなどの外部の機器で作成する際は、以下の点を考慮してください。

メディアについて

再生機が対応しているフォーマットを確認してください。
使用するメディア： CD-R/RW
ファイルフォーマット： ISO9660 レベル 1 およびレベル 2（拡張フォーマットを除く）

MP3/WMA ファイルに圧縮するとき

転送ビットレート／サンプリング周波数は、再生機側の推奨値を設定してください。

フォルダー分けをするとき

MP3やWMAファイルは、高音質の音声ファイルをかなり高い圧縮率で圧縮するため、オーディオCDの数倍の曲数を1枚のメディアに収録させることができます。複数のジャンルやアーティストの曲を1枚のCD-R/RWに収録するときは、ジャンルやアーティスト、アルバム別のフォルダーに分けてから収録すると、フォルダーを選んでファイルを再生するフォルダーサーチで再生をするとき便利です。オーディオ機器側の表示は、パソコン画面のようなファイル/フォルダー階層表示が実現できません。目的のファイルの選択もパソコンのように簡単に選択できない場合があります。深い階層のフォルダー構成は避けることをおすすめします。また、ディスクのフォルダー数やフォルダー構成によって、時間がかかる場合があります。フォルダー数を30位に抑え、右イラストのようなフォルダー構成でディスクを作成することをおすすめします。

- 書き込みソフトによっては、意図した順番に書き込まれない場合もあります。

フォルダー、ファイル名を付けるとき

各名称は、半角英字のA～Z、半角数字の0～9、半角の_（アンダースコア）を使って付けます。ファイル名には、必ず".mp3"（MP3ファイル）、".wma"（WMAファイル）の拡張子を付けます。表示される文字数は、ファイルフォーマットによって異なります*。

- MP3やWMA以外のファイルに".mp3"または".wma"の拡張子を付けないでください。本機で再生できるファイルと誤認識され、大きな雑音が出てスピーカーが破損したり耳に悪い影響を与える恐れがあります。

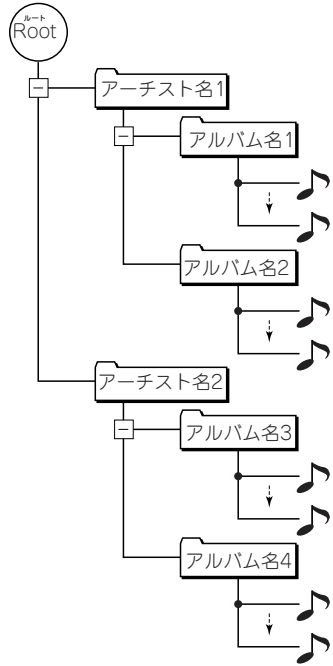
* ファイル名/フォルダーの長さは、以下のようになります。

ISO9660_ レベル1
ファイル名：　最大で半角8文字+「.」+拡張子（半角3文字）
フォルダー名：半角8文字まで
ISO9660_ レベル2
ファイル名：　最大で半角31文字
フォルダー名：半角31文字まで

フォルダー名やファイル名を付けるときのヒント

MP3やWMAファイルが収録されているディスクを本機で再生すると、フォルダーとファイルが書き込まれた順に曲が再生されます。フォルダー名やファイル名の頭に"01"～"99"などと再生する順番に番号を入力してから書き込むと、再生する順番を設定できます。

- 書き込みソフトによっては、意図した順番に書き込まれない場合もあります。

フォルダ概念図

TAG情報について

MP3やWMAの圧縮ソフトによっては、それぞれのファイルのTAG情報として、タイトルやアーティスト名などの情報を音声ファイルといっしょに収録することができます。

- タイトル・アーティスト名の入力や保存の方法は、圧縮ソフトによって異なります。圧縮ソフトの取扱説明書またはヘルプファイルをご覧ください。

ファイルの確認

MP3やWMAファイルをCD-R/RWに書き込む前に、書き込みをする機器（パソコンなど）でそれぞれのファイルが正しく再生されることを確認してください。

CD-R/RWに書き込むとき

書き込んだメディアは必ずセッションクローズまたはファイナライズをしてください。

- 書き込みソフトによっては、書き込まれたフォルダー名やファイル名が正しく表示されない場合があります。
- 本機で再生するMP3やWMA以外のファイルやフォルダーなどを書き込まないようにしてください。
- MP3やWMAファイルをCD-R/RWに書き込むときは、10セッション以内で書き込むことをおすすめします。
- MP3やWMAファイルとオーディオCDの通常の曲を1枚のCD-R/RWに書き込むと再生できない場合があります。

オーディオ機器で再生する前に

書き込んだCD-R/RWを本機で再生する前に、書き込みをした機器（パソコンなど）でそれぞれのファイルが正しく再生されることを確認してください。

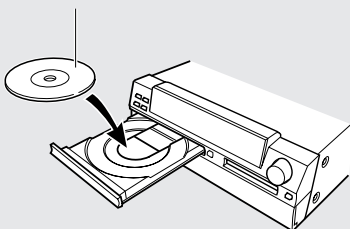
DVD/CDを再生する DVD ビデオCD CD MP3/WMA

ディスクを再生するときの基本的な操作を説明します。
P.B.C.(Play Back Control)機能付きのビデオCDは、自動的にメニュー再生を行います。基本的な操作(→39～→41)を行うときは、P.B.C機能をオフにしてから操作してください。("P.B.C.のオン／オフを切り換える"→56)

❶ 本体のDVD/CD▲キーを押す

- ディスクトレイが出てきます。

❷ 再生するディスクをディスクトレイに置く

- 再生面には触れないでください。
- ディスクを斜め置くと故障の原因となります。

❸ 本体のDVD/CD▲キーを押してディスクトレイを閉じる

DVDビデオやビデオCDのとき、ディスクによっては、ディスクトレイを閉じると再生が始まるものがあります。
テレビにメニュー画面が表示されたときは、次の操作をします。
① カーソルキー(◄ ► ▲ ▼)または数字キーを押して、再生したい場面を選ぶ
② ENTERキーを押す
- 選んだ場面から再生が始まります。

上記の操作は基本的な操作です。ディスクによっては操作が異なる場合があります。ディスクに付属の説明書をご覧ください。

❹ DVD/CD►/❚❚キーを押す

- 再生が始まります。
- 著作権管理が有効に設定されているWMAファイルは、**"PROTECTED"**(VC-7DVD:**"PROTECTED FILE"**)と表示され、次のファイルが再生されます。

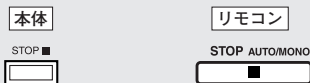
一時停止またはスチル(静止画像)にする

再生中にDVD/CD►/❚❚キーを押す

本体

リモコン

- テレビに**"Pause"**または **"Still"**と表示します。
- 初期設定の**"IPB 表示"** がオンのときは、DVDビデオをスチルするたびにテレビに **"Still(I)"**、**"Still(P)"**、**"Still(B)"** のいずれか1つを表示します。→106
- **DVD/CD ►/❚❚**を押すと通常の再生にもどります。

再生を止める

STOP■キーを押す

音楽CDを再生しているとき
- STOP■キーを１回押します。

DVDビデオ、ビデオCD、MP3/WMAファイルを再生しているとき
- STOP■キーを２回押します。
  STOP■キーを１回押すと、再生位置を記憶し、一時停止（リジューム）になります。再度STOP■キーを押すと記憶した内容がクリアされ停止になります。リジューム状態でDVD/CD▶/❚❚キーを押すと、再生が始まります。

  DVDビデオ/ビデオCDのとき
  記憶した再生位置から再生します。
  MP3/WMAファイルのとき
  再生していたファイルの最初から再生します。

次のときは、リジューム機能は働きません。
- ランダム再生中、リピートランダム再生中
- ビデオCDのメニュー再生中

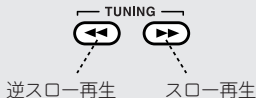
ディスクを取り出す

本体のみ

DVD/CD⏏キーを押す

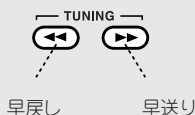
スロー再生・逆スロー再生をする(DVDビデオ/ビデオCD)

リモコンのみ

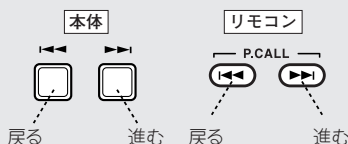
❶再生中にDVD/CD▶/❚❚キーを押す(スチルにする)
❷◀◀または▶▶キーを押す

- 押すたびに速度が5段階変わります。
- スロー再生・逆スロー再生のときは音声は出ません。
- ビデオCD は逆スロー再生はできません。
- オンスクリーンディスプレイを表示(➞49)しているとき、ON SCREENキーを押すとオンスクリーンディスプレイが消え速度表示が表示されます。
- DVD/CD ▶/❚❚ キーを押すと通常の再生に戻ります。

早送り・早戻しする

リモコンのみ

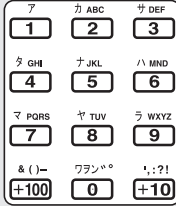
再生中にリモコンの◀◀または▶▶キーを押す

- 押すたびに速度が5段階変わります。
- 早送り・早戻しをすると、画面が乱れることがあります。
- オンスクリーンディスプレイを表示(➞49)しているとき、ON SCREENキーを押すとオンスクリーンディスプレイが消え速度表示が表示されます。
- DVD/CD ▶/❚❚ キーを押すと通常の再生に戻ります。

トラック／チャプター／ファイルの飛び越しをする

|◀◀または▶▶|キーを押す

- 戻るときは|◀◀キーを押し、進むときは▶▶|キーを押します。
- 停止中に操作すると、飛び越して選んだトラック／ファイルの再生が始まります。DVDビデオのときは、停止中に操作することはできません。
- 再生中に|◀◀キーを1回押すと、再生しているトラック、チャプターまたはファイルの最初に戻ります。

タイトル／チャプター／トラックやファイルを選び再生する

リモコンのみ

数字キーを使って再生したいタイトル／チャプター／トラック／ファイルの番号を押す

数字キーを押す順序は

23曲目なら .... +10、+10、3
40曲目なら .... +10、+10、+10、+10、0
311曲目なら（MP3/WMAのみ）
.... +100、+100、+100、+10、1

DVDビデオのとき

- 停止中に操作すると、タイトルが選べます。選んだタイトルの再生が始まります。
- 再生中に操作すると、チャプターが選べます。選んだチャプターの再生が始まります。

CDまたはビデオCD（P.B.C.オフ時）のとき

- 選んだトラックの再生が始まります。

MP3/WMAファイルのとき

- 選んだファイルの再生が始まります。
- 表示部の"♪"が点灯します。

MP3/WMAのフォルダーを選び再生する（フォルダーサーチ／ファイルサーチ）

リモコンのみ

❶ FOLDER/GROUP SEARCH/TOP MENUを押す

- 表示部の"□"が点滅します。
- ランダム再生中は操作できません。
- ファイル/フォルダーリピート再生中にフォルダーサーチの操作を行うと、リピート再生は解除されます。
- カーソルキー（▲▼）を押すたびに、表示部にフォルダー名が表示されます。

❷ カーソルキー（▲▼）を押してフォルダーを選ぶ

❸ ENTERキーを押す

- 選んだフォルダーの最初の曲から再生が始まります。

ファイルサーチについて

- **FOLDER/GROUP SEARCH/TOP MENU**キーの代わりに**FILE SEARCH/MENU/P.B.C.**キーを押してから、同様の操作をすると、MP3/WMAのファイルが選べます。表示部にはファイル名が表示されます。
- 表示部の"♪"が点滅します。
- ランダム再生中は操作できません。
- ファイルリピート再生中に、ファイルサーチ操作を行うと、リピート再生は解除されます。
- フォルダーリピート再生中にファイルサーチ操作を行うとき、他のフォルダーのファイルを選ぶとリピート再生は解除されます。

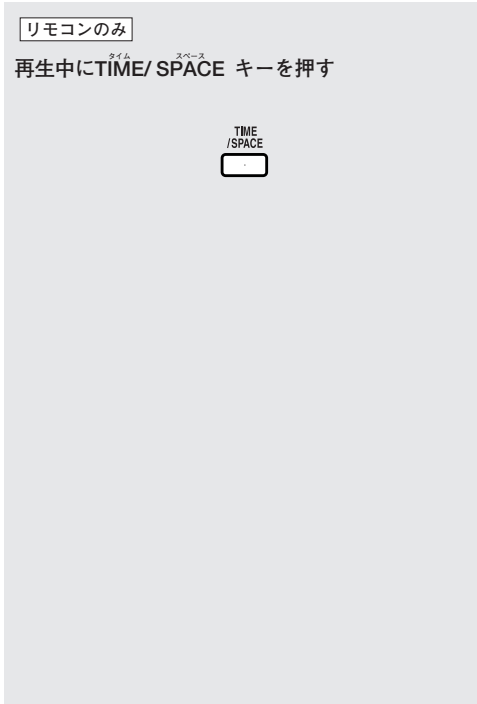
ビデオCDの音声チャンネルを切り換える

ビデオCDの音声チャンネルを切り換えるときは、オンスクリーンディスプレイを使って操作します。"オンスクリーンディスプレイでCD/ビデオCDを操作する"（→52）を参照してください。

表示部の時間表示を変える DVD ビデオCD CD

本体表示部の時間表示を切り換えます。

リモコンのみ

再生中にTIME/ SPACE キーを押す

押すたびに切り換わります。

（表示例：VC-5DVDのとき）

①トラック、ファイルやチャプターの経過時間

T03 2:30

②トラックやチャプターの残り時間("ー"で表示されます)

T03 - 4:25

③ ディスクまたはタイトルの経過時間("TOTAL"点灯)

TOTAL
T03 18:02

④ ディスクまたはタイトルの残り時間（"ー"で表示されます）("TOTAL" 点灯)

TOTAL
T03 - 53:20

- MP3/WMAファイルのときは、①のみ表示されます。
- プログラム再生（→43）、ランダム再生（→45）では、①と②のみ表示されます。
- ビデオCDでP.B.C.をオンにしているときは、時間は表示されません。
- DVDビデオのディスクによっては、①と②しか表示されない場合があります。

CD-TEXT対応ディスクを再生するとき CD

本機は、CD-TEXT対応のディスクを再生するとCDに収録されているディスクタイトルや曲タイトルなどの情報が表示部に表示されます。
CD-TEXT表示は、停止中にディスクタイトルを表示し、再生中に曲タイトルを表示します。

リモコンのみ

DISPLAY/CHARAC.キーを押して表示を切り換える

DISPLAY
/CHARAC.

VC-5DVDのとき

- CDの曲番号表示またはCD-TEXTの英語表示を選びます。

VC-7DVDのとき

- CDに英語表示および日本語表示情報が含まれているとき、CD-TEXT英語表示またはCD-TEXT日本語表示を選びます。

ディスクの曲順を並べ替えて聞く(プログラム再生) ビデオCD CD

好きな曲を好きな曲順に並べ替えてプログラムし、聞くことができます。

- DVDビデオはプログラム再生することができません。
- ビデオCDでP.B.C.がオンのときは、オフにしてください。→56
- 停止中にリモコンを使って操作します。

入力切換を"DVD/CD"にする→39

❶ 音源(ソース)がDVD/CDで停止していることを確認する

- 再生中は、STOP■キーを押して停止させます。

❷ PGMキーを押し、"PGM"表示を点灯させる

VC-5DVD

CD P01 T--

VC-7DVD

CD -- P-01

❸ 数字キーで曲番号を選ぶ
曲番号が点滅中に手順❹に進みます。

VC-5DVD

CD P01 T09
点滅

VC-7DVD

CD 09 P-01
点滅

数字キーを押す順序は

12曲目なら	+10、2
20曲目なら	+10、+10、0

❹ SETキーを押す

- 32曲まで選べます。"PGM FULL"(VC-7DVD:"PROGRAM FULL")と表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。

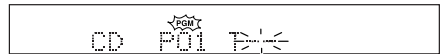
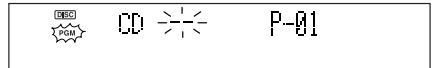
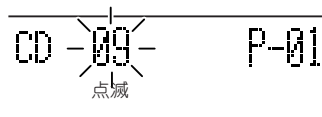
VC-5DVD

PGM FULL

VC-7DVD

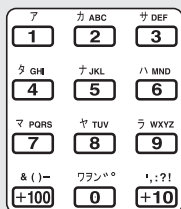
PROGRAM FULL

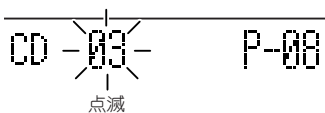
❺ 手順❸と❹の操作を繰り返す

❻ DVD/CD►/❚❚キーを押す

DVD/CD ►/❚❚

- プログラムした曲順に再生します。
- 再生中に⏮またはキーを押すと、プログラムした順に曲の飛び越しができます。⏮キーを1回押すと、再生中の曲の最初に戻ります。
- リピート再生(→46)と組み合わせると、プログラム再生を繰り返すことができます。

曲を追加するには

❶ 停止中に数字キーで追加したい曲番号を選ぶ

❷ SETキーを押す

VC-5DVD

数字キーを押す順序は

12曲目なら	+10、2
40曲目なら	+10、+10、+10、+10、0

- 選んだ曲がプログラムの最後に追加されます。
- 32曲まで選べます。"PGM FULL"（VC-7DVD："PROGRAM FULL"）と表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。

プログラムした曲を取り消すには

リモコンのみ

停止中にCLEAR/DEL.キーを押す

CLEAR/DEL

- 押すたびに、最後の曲から1曲ずつ消えていきます。

プログラムを解除するには

リモコンのみ

停止中にPGMキーを押す

PGM

- "PGM"表示が消灯し、プログラム再生のモードが解除されプログラムした内容が全て消去されます。
- 本体のDVD/CD▲キーを押してディスクを取り出すか、リモコンのPOWER⏻キーを押して電源をオフ（スタンバイ状態）にしたときも、プログラム再生のモードが解除され、プログラムした内容が全て消去されます。

ディスクの曲順を順不同に楽しむ（ランダム再生） ビデオCD CD MP3/WMA

毎回曲がランダム(無作為)に選曲されるので、飽きることなく楽しめます。

- DVDビデオはランダム再生することができません。
- ビデオCDでP.B.C.がオンのときは、オフにしてください。→56
- プログラム再生モードのときは、ランダム再生はできません。プログラム再生を解除してから操作してください。→44
- 停止中にリモコンを使って操作します。

入力切換を"DVD/CD"にする →39

❶ 音源(ソース)がDVD/CDで停止していることを確認する

- 再生中は、STOP■(ストップ)キーを押して停止させます。

❷ "PGM(プログラム)"表示の消灯を確認する

- "PGM(プログラム)"表示が点灯しているときは、停止中にPGM(プログラム)キーを押して消灯させます。

❸ RANDOM(ランダム)キーを押す

- "RANDOM(ランダム)"表示が点灯し、ランダム再生が始まります。
- 全曲の再生が1回終わると停止します。
- 停止すると、ランダム再生は解除されます。

曲の途中で別の曲を選ぶには

▶▶|キーを押す

- |◀◀ キーを１回押すと、再生している曲の初めに戻ります。

ランダム再生をやめるには

STOP■(ストップ)キーを押す

- "RANDOM(ランダム)"表示が消灯します。

繰り返し再生する（リピート再生） DVD ビデオCD CD MP3/WMA

お気に入りの映像や曲を繰り返し再生することができます。
- DVDビデオやビデオCDでは、リピート再生できないものがあります。
- ビデオCDをリピート再生するときは、P.B.C.機能をオフにしてから操作してください。
- リモコンを使って操作します。
- オンスクリーンディスプレイを使ってリピート再生の操作をすることもできます。→50、→52、→53

入力切換を"DVD/CD"にする →39

再生中にREPEATキーを押してリピートモードを選ぶ

REPEATキーを押すたびに次のように変わります。

VC-5DVDのとき

"⊂1"（1曲リピート）：再生中の曲だけを繰り返します。
DVDビデオのときは、再生中のチャプターを繰り返します。
ビデオCDのときは、再生中のトラックを繰り返します。
- 音楽CDやビデオCDをプログラム再生しているときは、"⊂1"は選べません。

"⊂"（全曲リピート）：1枚のディスクを繰り返します。
DVDビデオのときは、再生中のタイトルを繰り返します。
プログラム再生のときは、プログラムした全ての曲を繰り返します。

解除（消灯）：リピート再生を解除します。
- リピート再生中にSTOP■キーを押して再生を停止したときも、リピートモードが解除されます。

MP3/WMAファイルをリピートするとき

- MP3またはWMAファイルをリピートするときは、全曲リピート（ディスクの全曲を繰り返す）、1曲リピート（再生中の曲を繰り返す）以外に、フォルダーリピート（再生中の曲のフォルダの全曲を繰り返す）があります。
フォルダーリピートのときは、全曲リピートの表示と一緒に"🗀"表示が点灯します。
REPEATキーを押すたびに、それぞれのリピートモードと"解除（消灯）"に切り換わります。

VC-7DVDのとき

"REPEAT ONE"（1曲リピート）：
再生中の曲だけを繰り返します。
DVDビデオのときは、再生中のチャプターを繰り返します。ビデオCDのときは、再生中のトラックを繰り返します。
- 音楽CDやビデオCDをプログラム再生しているときは、"REPEAT ONE"は選べません。

"REPEAT"（全曲リピート）：
1枚のディスクを繰り返します。
DVDビデオのときは、再生中のタイトルを繰り返します。
プログラム再生のときは、プログラムした全ての曲を繰り返します。

解除（消灯）：リピート再生を解除します。
- リピート再生中にSTOP■キーを押して再生を停止したときも、リピートモードが解除されます。

1曲または1つのチャプターだけ繰り返し再生するとき、あらかじめ数字キーまたは|◀◀、▶▶|キーを使って曲またはチャプターを選んで再生しておくと、簡単にその曲またはチャプターだけの繰り返し再生ができます。

ランダムリピート再生する ビデオCD CD MP3/WMA

ランダム再生中にREPEATキーを押す

- 全曲のランダム再生が繰り返されます。
- ビデオCDをランダムリピート再生するときは、P.B.C.機能をオフにしてから操作してください。
- STOP■キーを押して停止すると、ランダム再生とリピート再生が解除されます。

プログラム再生モードのときは、ランダム再生はできません。プログラム再生を解除してから操作してください。→44

指定した区間を繰り返し再生する（A-Bリピート再生）DVD ビデオCD CD

再生中に、繰り返しを始めるところと終わるところを指定して、指定した区間を繰り返し再生します。

- DVDビデオやビデオCDでは、A-Bリピート再生ができないものがあります。
- プログラム再生モードまたはランダム再生中は、A-Bリピート再生はできません。プログラム再生を解除してから操作してください。→44
- リモコンを使って操作します。
- オンスクリーンディスプレイを使ってA-Bリピート再生の操作をすることもできます。→50、→52

入力切換を"DVD/CD"にする →39

❶ "PGM（プログラム）"表示の消灯を確認する

- "PGM（プログラム）"表示が点灯しているときは、停止中にPGM（プログラム）キーを押して消灯させます。

❷ DVD/CD▶/IIキーを押して、再生する

DVD/CD ▶/II

❸ 繰り返しを始めるところでA ▶ Bキーを押す

- 開始場所Aが指定されます。

VC-5DVD

❹ 繰り返しを終わらせるところでA ▶ Bキーを押す

- 終了場所Bが指定され、AB間の繰り返すA-Bリピート再生が始まります。

A-Bリピート再生をやめるには

A-Bリピート再生中にA ▶ Bキーを押します。

DVDビデオのメニュー再生をする DVD

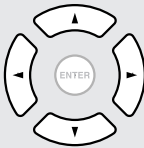
DVDビデオのトップメニュー画面またはメニュー画面を呼び出して、メニュー画面で再生したい項目を選んで再生します。

- **DVDビデオを再生して、すでにメニュー画面が表示されているときは、手順❷から操作してください。**
- **リモコンを使って操作します。**
- **ディスクによっては、メニュー再生ができないものもあります。**

入力切換を"DVD/CD"にする → 39

❶ FOLDER/GROUP SEARCH/TOP MENUキーまたはFILE SEARCH/MENU/P.B.C.キーを押して、メニュー画面を呼び出す

FOLDER/GROUP SEARCH
TOP MENU

または

- 再生中にトップメニュー画面を表示させたとき、**FOLDER/GROUP SEARCH/TOP MENU**キーをもう一度押すと、最初にキーを押した場面まで戻り、そこから再生します。（ディスクによっては、このような動作にならない場合があります。）

❷ カーソルキー（◄ ► ▲ ▼）を使って再生したい場面を選ぶ

- 数字キーを使って場面を選ぶこともできます。数字キーで選んだときは、選んだ場面から再生が始まります。手順❸は必要ありません。

❸ ENTERキーを押す

- 選んだ場面から再生が始まります。
- メニューが階層構造のときは、1つ下の階層のメニューに移ります。手順❷と❸の操作をしてください。

オンスクリーンディスプレイを使って操作する DVD ビデオCD CD MP3/WMA

テレビにオンスクリーンディスプレイを表示させて、各種の操作や時間表示を見ることができます。

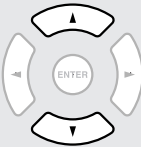
- オンスクリーンディプレイを使った操作は、DVDビデオでメニュー画面を表示しているとき（→48）、ビデオCDをメニュー再生（→56）しているときはできません。
- リモコンを使って操作します。

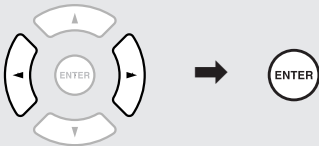
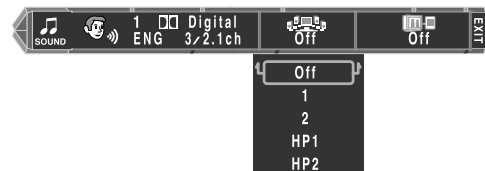
入力切換を"DVD/CD"にする →39

オンスクリーンディスプレイの基本操作

❶ ON SCREENキーを押して、オンスクリーンディスプレイを表示させる

❷ カーソルキー（▲ ▼）を押して、操作するオンスクリーンディスプレイを選ぶ

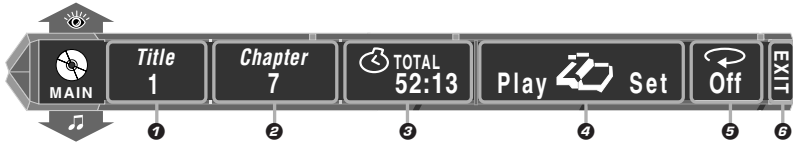
- オンスクリーンディスプレイには"MAIN"、"SOUND"、"VISUAL"があります。
- 停止中は"MAIN"オンスクリーンディスプレイだけ選べます。再生中は、全てのオンスクリーンディスプレイが選べます。

❸ カーソルキー（◄ ►）を押してアイコンを選び、ENTERキーを押す

- サブメニューが表示されます。
- 操作できないアイコンは、飛び越されます。
- 端のアイコンを選んでいるとき、外側のカーソルキー（◄ ►）を押すと反対側のアイコンに移動します。

❹ カーソルキー（▲ ▼）を押して内容を選び、ENTERキーを押す

オンスクリーンディスプレイの表示をやめるとき

EXITアイコンを選んでENTERキーを押す、またはON SCREENキーを押します。

または

オンスクリーンディスプレイでDVDビデオを操作する

"MAIN"オンスクリーンディスプレイ

❶ タイトルアイコン

タイトル番号が表示されます。

タイトル番号を選ぶ

タイトルアイコンを選び、サブメニューからタイトル番号を選びます。

❷ チャプターアイコン

チャプター番号が表示されます。

チャプター番号を選ぶ

チャプターアイコンを選び、サブメニューからチャプター番号を選びます。

❸ 時間表示アイコン

時間表示が表示されます。

時間表示を変える

時間表示アイコンを選び、サブメニューから表示させる時間を選びます。

本体表示部の時間表示も変わります。

Time Search --:--:-- ：タイムサーチをするときに選びます（同一タイトル内）。

Single Time ：再生中のチャプターの経過時間を表示します。

Single Remain Time ：再生中のチャプターの残り時間を表示します。

Total Time ：再生中のタイトルの経過時間を表示します。

Total Remain Time ：再生中のタイトルの残り時間を表示します。

タイムサーチをする

① 再生中に時間表示アイコンを選ぶ
② サブメニューから**"Time Search --：--：--"**を選ぶ
③ 数字キーを使って、再生中のタイトル内の時間を入力し、**ENTER**キーを押す
- 入力した時間の場面から再生が始まります。

❹ メモリープレイアイコン

再生したい地点を登録し、簡単に呼び出すメモリー再生をするときに使います。

メモリー登録する

① メモリー登録したいチャプターを再生中に、メモリープレイアイコンの**"SET"**を選ぶ
② サブメニューから登録するリスト番号を選ぶ
③ メモリー再生を開始する場所で、**ENTER**キーを押す
- 選んだ番号のリストにメモリー再生開始地点情報が入力されます。

メモリー再生する

① メモリープレイアイコンの**"PLAY"**を選ぶ
② サブメニューのリストからメモリー再生する番号を選び、**ENTER**キーを押す
- 選んだリストの再生場所からメモリー再生が始まります。

❺ リピートアイコン

リピート再生モードが表示されます。

リピート再生モードを変える

リピートアイコンを選び、サブメニューからリピート再生モードを選びます。

Off ：リピート再生を解除します。

Chapter ：チャプターを繰り返し再生します。

Title ：タイトルを繰り返し再生します。

A B ：指定した区間を繰り返し再生します（A-Bリピート再生）。

❻ **EXIT**アイコン

オンスクリーンディスプレイ表示を消すときに選びます。

"SOUND"オンスクリーンディスプレイ

7 音声アイコン

ストリーム番号、音声信号、音声言語、チャンネル数が表示されます。

音声言語を切り換える

音声アイコンを選び、サブメニューから音声言語を選びます。

8 バーチャルサラウンドアイコン

バーチャルサラウンドのモードが表示されます。

バーチャルサラウンドを切り換える

バーチャルサラウンドアイコンを選び、サブメニュー（**Off**、**1**、**2**、**HP1**、**HP2**）からモードを選びます。

9 シネマボイスアイコン

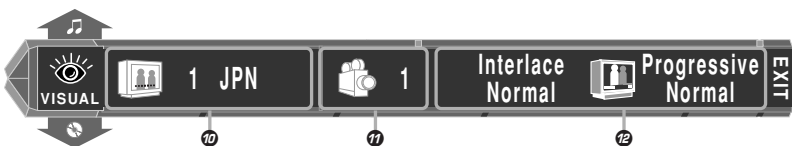
シネマボイスモードのオン／オフが表示されます。

ドルビーデジタルマルチチャンネル音声で収録されているDVDビデオで、台詞が聞き取りにくいときに使います。

シネマボイスモードを切り換える

シネマボイスアイコンを選び、サブメニューから**"On"**または**"Off"**を選びます。

- サンプリング周波数96 kHzでリニアPCM録音されたディスクを再生中、バーチャルサラウンドは自動的にオフになります。

"VISUAL"オンスクリーンディスプレイ

10 字幕アイコン

字幕言語が表示されます。

字幕を切り換える

字幕アイコンを選び、サブメニューから字幕言語を選びます。

11 アングルアイコン

アングル番号が表示されます。

アングルを切り換える

アングルアイコンを選び、サブメニューからアングルを選びます。

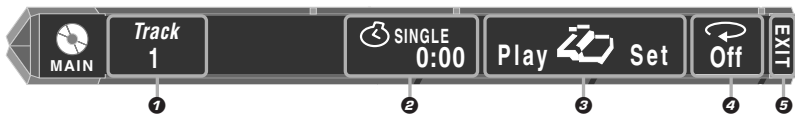
12 画質調整アイコン

画質を調整するときに使います。

画質調整アイコンを選び、サブメニューから画質を選びます。

調整のしかたは**"画質を調整する"**（→54）をご覧ください。

オンスクリーンディスプレイでCD／ビデオCDを操作する

"MAIN"オンスクリーンディスプレイ

❶ **トラックアイコン**
トラック番号が表示されます。

トラック番号を選ぶ(音楽CD/P.B.C.オフ時のビデオCD)
トラックアイコンを選び、サブメニューからトラック番号を選びます。

❷ **時間表示アイコン**
時間表示が表示されます。

時間表示を変える(音楽CD/P.B.C.オフ時のビデオCD)
時間表示アイコンを選び、サブメニューから表示させる時間を選びます。
本体表示部の時間表示も変わります。

Time Search --:--:-- : タイムサーチをするときに選びます(同一トラック内)。
Single Time : 再生中のトラックの経過時間表を表示します。
Single Remain Time : 再生中のトラックの残り時間を表示します。
Total Time : 再生中のディスクの経過時間を表示します。
Total Remain Time : 再生中のディスクの残り時間を表示します。

タイム サーチをする(音楽CD/P.B.C.オフ時のビデオCD)
"オンスクリーンディスプレイでDVDビデオを操作する"の**"タイムサーチをする"**と同じ操作をします(手順③は、再生中のトラック内の時間を入力します。)。→50

❸ **メモリープレイアイコン(音楽CD/P.B.C.オフ時のビデオCD)**
再生したい地点を登録し、簡単に呼び出すメモリー再生をするときに使います。**"メモリー登録""メモリー再生"**の操作については、**"オンスクリーンディスプレイでDVDビデオを操作する"**の❹(→50)を参照してください。

❹ **リピートアイコン**
リピート再生モードが表示されます。

リピート再生モードを変える
リピートアイコンを選び、サブメニューからリピート再生モードを選びます。

Off : リピート再生を解除します。
Track : トラックを繰り返し再生します。(音楽CD/P.B.C.オフ時のビデオCD)
Disc : ディスクを繰り返し再生します。(音楽CD/P.B.C.オフ時のビデオCD)
A B : 指定した区間を繰り返し再生します(A-Bリピート再生)。

❺ **EXITアイコン**
オンスクリーンディスプレイ表示を消すときに選びます。

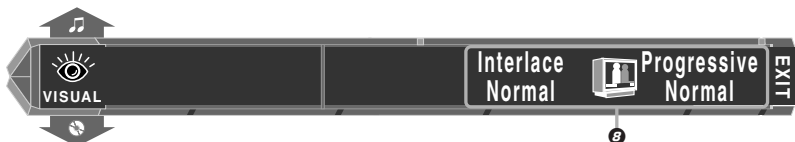
"SOUND"オンスクリーンディスプレイ

❻ **音声アイコン**
音声の属性、再生周波数、ビット数、再生チャンネルが表示されます。

ビデオCDの再生チャンネルを切り換える
音声アイコンを選び、サブメニューから再生チャンネルを選びます。

❼ **バーチャルサラウンドアイコン**
バーチャルサラウンドのモードが表示されます。

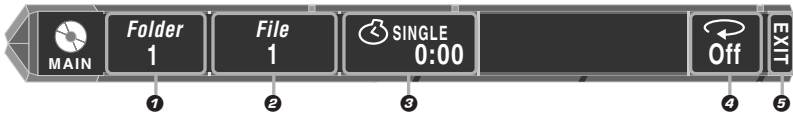
バーチャルサラウンドを切り換える
バーチャルサラウンドアイコンを選び、サブメニュー(**Off**、**1**、**2**、**HP1**、**HP2**)からモードを選びます。

"VISUAL"オンスクリーンディスプレイ

❽ **画質調整アイコン**
画質を調整するときに使います。画質調整アイコンを選び、サブメニューから画質を選びます。

調整のしかたは**"画質を調整する"**(→54)をご覧ください。

オンスクリーンディスプレイでMP3/WMAを操作する

"MAIN"オンスクリーンディスプレイ

❶ **フォルダーアイコン**
フォルダー番号が表示されます。

フォルダーを選ぶ
カーソルキー(▲ ▼)を押してフォルダー番号を選び、**ENTER**キーを押します。

❷ **ファイルアイコン**
ファイル番号が表示されます。

ファイルを選ぶ
カーソルキー(▲ ▼)を押してファイル番号を選び、**ENTER**キーを押します。

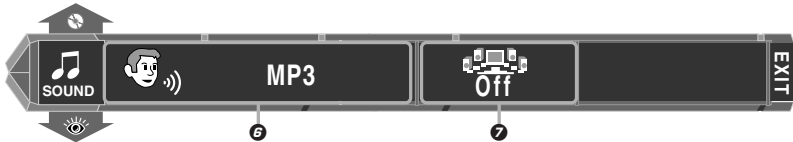
❸ **時間表示アイコン**
時間表示が表示されます。

❹ **リピートアイコン**
リピート再生モードが表示されます。

リピート再生モードを変える
リピートアイコンを選び、サブメニューからリピート再生モードを選びます。

Off **:** リピート再生を解除します。
File **:** ファイルを繰り返し再生します。
Folder **:** フォルダーを繰り返し再生します。
Disc **:** ディスクを繰り返し再生します。

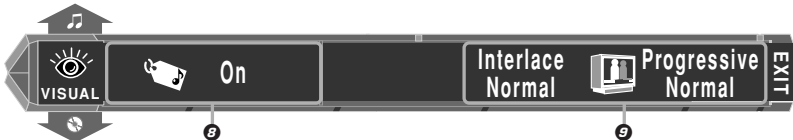
❺ **EXITアイコン**

"SOUND"オンスクリーンディスプレイ

❻ **音声アイコン**
データ形式(MP3またはWMA)が表示されます。

❼ **バーチャルサラウンドアイコン**
バーチャルサラウンドのモードが表示されます。

バーチャルサラウンドを切り換える
バーチャルサラウンドアイコンを選び、サブメニュー(**Off**、**1**、**2**、**HP1**、**HP2**)からモードを選びます。

- モノラル録音されたMP3/WMAファイルを再生中、バーチャルサラウンドは自動的にオフになります。

"VISUAL"オンスクリーンディスプレイ

❽ **タグ表示アイコン**
テレビ画面にアルバム名、曲名、アーティスト名を表示させるタグ表示機能のオン/オフの設定をするときに使います。

タグ表示機能を使う
タグ表示アイコンを選び、サブメニューから**"On"**を選びます。

❾ **画質調整アイコン**
画質を調整するときに使います。画質調整アイコンを選び、サブメニューから画質を選びます。
調整のしかたは**"画質を調整する"**(→54)をご覧ください。

画質を調整する

本機でも画質の調整ができます。

- テレビに画質調整機能があるときは、テレビで画質を調整してください。
- 映像ソフトを再生中に操作します。
- 本機の映像信号出力の設定(プログレッシブまたはインターレース)に関わらず、インターレースとプログレッシブの画質の調整ができます。
- "Noise Reduction"と"GAMMA"の設定は、インターレースとプログレッシブの共通設定項目です。
  画質調整アイコンの"Interlace"または"Progressive"のどちらを選んでも同じ設定ができます。

インターレースの画質調整 →51

❶ "VISUAL"オンスクリーンディスプレイ内の画質調整アイコン"Interlace"を選び、ENTERキーを押す

❷ カーソルキー(▲ ▼)を押して画質を選び、ENTERキーを押す

"Normal" : 通常の画質で再生します。

"Fine" : 輪郭を強調してクッキリとした画質になります。

"Soft" : ノイズの少ない柔らかな画質になります。

"Cinema" : 映画館のスクリーンのイメージに近い画質になります。

"User Mode 1" : User Modeメニューが表示され、詳細な設定ができます。""User Mode 1"または"User Mode 2 "を選んだとき"をご覧ください。

"User Mode 2" : User Modeメニューが表示され、詳細な設定ができます。""User Mode 1"または"User Mode 2 "を選んだとき"をご覧ください。

"Noise Reduction" : Noise Reductionメニューが表示され、詳細な設定ができます。""Noise Reduction"を選んだとき"をご覧ください。

"GAMMA" : 接続するTV画面の色調(明るさ)を補正します。"GAMMA"メニューが表示されます。カーソルキー(▲ ▼)を押して数値を選び、ENTERキーを押して調整します。

- "Normal""Fine""Soft""Cinema"を選んだときは、画質の調整は終了です。

"User Mode 1"または"User Mode 2 "を選んだとき

❶ カーソルキー(▲ ▼)を押して画質を選び、ENTERキーを押す

"Contrast" : ー7〜+7の範囲で映像の明暗の差を調整します。

"Color" : ー7〜+7の範囲で色の濃さの調整をします。

"Sharpness" : ー7〜+7の範囲で映像の輪郭を強調する度合いの調整をします。

"Brightness" : 0〜+15の範囲で映像の明るさを調整します。

❷ カーソルキー(▲ ▼)を押して数値を選び、ENTERキーを押す

- 手順❶と❷を繰り返して画質を調整します。
- RETURNキーを押すと"VISUAL"オンスクリーンディスプレイに戻ります。

"Noise Reduction"を選んだとき

❶ カーソルキー(▲ ▼)を押して設定項目を選び、ENTERキーを押す

"Mosquito NR" : モスキートノイズが低減します。"On 2""On 1""Off"から選びます。

"Block NR" : "On"を選ぶとブロックノイズが低減します。

"3D NR" : "On"を選ぶと映像のノイズが低減します。

"Dot NR" : "On"を選ぶとドットノイズが低減します。

❷ カーソルキー(▲ ▼)を押して設定項目を選び、ENTERキーを押す

- 手順❶と❷を繰り返して画質を調整します。
- RETURNキーを押すと"VISUAL"オンスクリーンディスプレイに戻ります。
- "3D NR"と"Dot NR"は、同時にオンを選べません。

プログレッシブの画質調整 → 51

❶ "VISUAL"オンスクリーンディスプレイ内の画質調整アイコン"Progressive"を選び、ENTERキーを押す

❷ カーソルキー(▲ ▼)を押して画質を選び、ENTERキーを押す

"Normal" ：通常の画質で再生します。
"Fine" ：輪郭を強調してクッキリとした画質になります。
"Soft" ：ノイズの少ない柔らかな画質になります。
"Cinema" ：映画館のスクリーンのイメージに近い画質になります。
"User Mode 1" ：User Modeメニューが表示され、詳細な設定ができます。""User Mode 1"または"User Mode 2 "を選んだとき"をご覧ください。
"User Mode 2" ：User Modeメニューが表示され、詳細な設定ができます。""User Mode 1"または"User Mode 2 "を選んだとき"をご覧ください。
"Noise Reduction"：Noise Reductionメニューが表示され、詳細な設定ができます。""Noise Reduction"を選んだとき"をご覧ください。
"GAMMA" ：接続するTV画面の色調(明るさ)を補正します。"GAMMA"メニューが表示されます。カーソルキー(▲ ▼)を押して数値を選び、ENTERキーを押して調整します。

- "Normal""Fine""Soft""Cinema"を選んだときは、画質の調整は終了です。

"User Mode 1"または"User Mode 2 "を選んだとき

❶ カーソルキー(▲ ▼)を押して設定項目を選び、ENTERキーを押す

"Contrast" ：－7～＋7の範囲で映像の明暗の差を調整します。
"Color" ：－7～＋7の範囲で色の濃さの調整をします。
"Sharpness" ：－7～＋7の範囲で映像の輪郭を強調する度合いの調整をします。
"Brightness" ：0～＋15の範囲で映像の明るさを調整します。
"I/P" ：プログレッシブ接続を利用しているとき(D端子接続)、プログレッシブ変換動作を選びます。

"I/P"を選んだとき

"AUTO" ：自動切換え(VideoまたはFilm)ポジション(初期設定値)
"Film" ：フィルム映像(毎秒24コマ)を、プログレッシブ出力(525p)テレビ映像信号に変換します。
"Video" ：通常のビデオ映像信号(インターレース)で記録されたソフトをプログレッシブ出力(525p)テレビ映像信号に変換します。

❷ カーソルキー(▲ ▼)を押して数値または項目を選び、ENTERキーを押す

- 手順❶と❷を繰り返して画質を調整します。
- RETURNキーを押すと"VISUAL"オンスクリーンディスプレイに戻ります

"Noise Reduction"を選んだとき

❶ カーソルキー(▲ ▼)を押して設定項目を選び、ENTERキーを押す

"Mosquito NR"：モスキートノイズが低減します。"On 2""On 1""Off"から選びます。
"Block NR" ："On"を選ぶとブロックノイズが低減します。
"3D NR" ："On"を選ぶと映像のノイズが低減します。
"Dot NR" ："On"を選ぶとドットノイズが低減します。

❷ カーソルキー(▲ ▼)を押して設定項目を選び、ENTERキーを押す

- 手順❶と❷を繰り返して画質を調整します。
- RETURNキーを押すと"VISUAL"オンスクリーンディスプレイに戻ります。
- "3D NR"と"Dot NR"は、同時にオンを選べません。

P.B.C.付きのビデオCDのメニュー再生をする ビデオCD

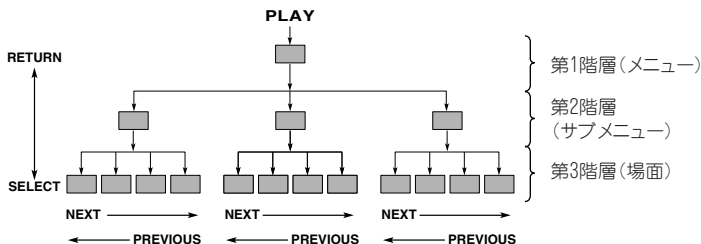
プレイバックコントロール（P.B.C.）機能付きビデオCDは、自動的にメニュー再生を行います。メニュー画面の手順に従って操作をしてください。（詳しい操作方法、操作キーは再生するソフトに付属の説明書をご覧ください）

ビデオCD 再生時に使われる主な操作ボタンと表示例

本機の操作ボタン	ENTER（エンター）	RETURN（リターン）	⏮	⏭
ソフトのジャケットの表示	▶ (SELECT)（セレクト）	(RETURN)（リターン）	⏮ (PREVIOUS)（プレビュアス）	⏭ (NEXT)（ネクスト）

● ジャケットの表示は、ソフトによって上記と異なるものもあります。

ビデオCDメニューの階層構造について：

メニュー画面付きの P.B.C. 付き ビデオCD を再生したとき、メニュー画面で項目を選ぶと、さらに詳細な項目のメニューが表示されることがあります。このように、いくつものメニューが階層的につながり、重なり合っている状態を階層構造といいます。繰り返しメニュー画面で項目を選んでいくことで、目的の場面に到達できます。

進むとき：
ENTER（エンター）（SELECT（セレクト））キー、または数字キーを使ってメニュー画面で項目を選ぶと、一つ下の階層のメニューへ進みます。進んだ先が、再生される「場面」のときは、その内容が再生されます。

戻るとき：
RETURN（リターン） キーを押すたびに、一つ上の階層へ戻っていきます。

● 各階層で選択可能なメニュー（場面）が複数ある場合は、⏮キーまたは⏭キーで画面の切り換えができます。

P.B.C.のオン／オフを切り換える

❶ DVD/CDプレーヤーにP.B.C.機能付きビデオCDを入れる
❷ 入力切り換えを "DVD/CD" にする
❸ DVD/CDプレーヤーを停止させる
❹ FILE（ファイル） SEARCH（サーチ）/MENU（メニュー）/P.B.C.（プレイバックコントロール）キーを押す

押すたびに切り換わります。

- **P.B.C.オン：** テレビに"**P.B.C. On**（オン）"と2秒間表示し、プレイバックコントロール付きのビデオCDをP.B.C.に従って再生します。
- **P.B.C. オフ：** テレビに "**P.B.C. Off**（オフ）" と2秒間表示し、プレイバックコントロール付きのビデオCDをP.B.C.をオフにして、通常の再生をします。

P.B.C.をオンにしたとき

VC-5DVD

P.B.C.

VC-7DVD

P.B.C

外部機器ソースを聞く

本機に接続された外部機器の音を聞きます。

❶ AUXキーを押して、音を聞く機器を選ぶ

本体

VC-5DVD　VC-7DVD

AUX /D-AUX　AUX /USB

リモコン

AUX

❷ 外部機器の再生を始める

押すたびに切り換わります。

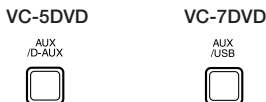
VC-5DVDのとき

- AUX：アナログ入力に接続された機器の音を聞くときに選びます。
- DIGITAL AUX（デジタル）：デジタル入力に接続された機器の信号（16ビットPCMモノラル／ステレオ信号）を再生するときに選びます。

VC-7DVDのとき

- AUX：アナログ入力に接続された機器の音を聞くときに選びます。
- DIGITAL AUX（デジタル）：デジタル入力に接続された機器の信号（16ビットPCMモノラル／ステレオ信号）を再生するときに選びます。
- USB：USB接続したパソコンからの音を聞くときに選びます。→117

AUX入力レベルを調整する

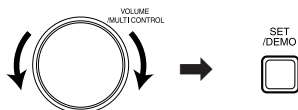
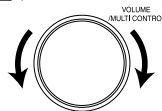
本機のAUX入力端子に接続された外部機器からの入力レベルを調整します。
CDまたはMD等と同じくらいの大きさで聞こえるように、必要に応じて調整します。
本体で操作します。

❶ AUXキーを押して、"AUX"を選ぶ

VC-5DVD　VC-7DVD

AUX /D-AUX　AUX /USB

❷ MODE（モード）キーを押す

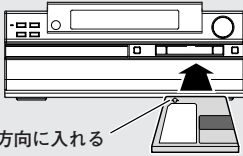
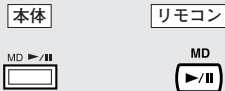
MODE

❸ VOLUME/MULTI CONTROL（ボリューム/マルチ コントロール）つまみを回して"AUX INPUT（インプット）"を選び、SET/DEMO（セット/デモ）キーを押す

❹ VOLUME/MULTI CONTROL（ボリューム/マルチ コントロール）つまみを回して、入力レベルを調整する

- **"+1"** ～ **"－1"** の範囲で調整できます。
- 外部機器からの入力レベルが小さいときは、**"+1"**を選びます。
  外部機器からの入力レベルが大きいときは、**"－1"** を選びます。

❺ SET/DEMO（セット/デモ）キーを押す

AUX入力レベルを調整すると、録音レベルも変化します。

MDを再生する

MDを聞く

❶ MDをMD挿入口へ入れる

> 電源オフ(スタンバイ状態)のときは、MDを入れることはできません。無理にMDを入れないでください。故障の原因となります。

❷ MD►/❚❚キーを押す

● 再生が始まります。

タイトル表示について

MDにディスクタイトルが記録されているときは、MD挿入口へ入れるとディスクタイトルが表示されます。
曲タイトルが記録されているときは、再生中の曲の曲タイトルが表示されます。

● タイトルが記録されていないときは、**"NO TITLE"**(ノー タイトル)と表示されます。
● 1曲も録音されていないときは、**"BLANK DISC"**(ブランク ディスク)と表示されます。

停止中は、ディスクタイトルが表示されます。
MDのグループ再生モード(→62)で停止中は、グループタイトルが表示されます。

時間表示/タイトル表示に変える

(VC-5DVD のみ)

リモコンのみ

押すたびに切り換わります。

タイトルの表示モードを変える

(VC-7DVD のみ)

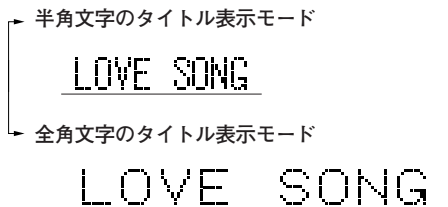
リモコンのみ

押すたびに切り換わります。

半角文字のタイトル表示モード

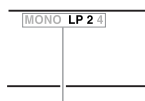
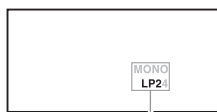
LOVE SONG

全角文字のタイトル表示モード

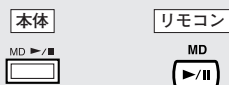
LOVE SONG

● **"カンジ"**表示が点灯します。

MDの再生モード表示について

本機はMDLP＊に対応しています。MDの曲は、録音したときのモードにしたがって再生されます。再生が始まると、再生モード表示が表示されます。停止中は"REC MODE"が表示されます。

消灯　：標準ステレオ録音した曲（MDLPに対応していないMDレコーダーで録音した曲）を再生しているとき
MONO　：モノラル長時間録音した曲を再生しているとき
LP2　：ステレオ2倍長時間録音した曲を再生しているとき
LP4　：ステレオ4倍長時間録音した曲を再生しているとき

＊ MDLPはMD規格に適した新しい音声圧縮方式ATRAC3を採用して、ステレオ2倍（または4倍）の長時間録音、再生モードを持ったMDレコーダーやMDプレーヤー、またはATRAC3により音声録音されているMDメディア（再生専用MD）に表示されています。

一時停止する

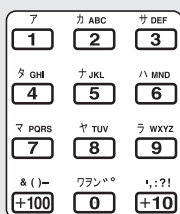
MD▶/❚❚キーを押す

● 一時停止中に **MD▶/❚❚** キーを押すと通常の再生に戻ります。

再生を止める

STOP■キーを押す

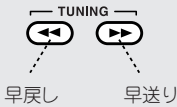
曲を選んで再生する

リモコンのみ

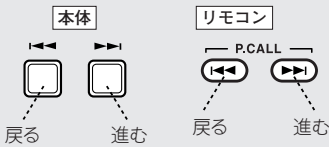
リモコンの数字キーを使って再生したい曲番号を押す

数字キーを押す順序は
23曲目なら ...... +10、+10、3
40曲目なら ...... +10、+10、+10、+10、0
213曲目なら ..... +100、 +100、+10、 3

早送り・早戻しする

リモコンのみ

再生中に◀◀または▶▶キーを押しつづけます

- 指を離したところから再生します。

曲を飛び越す

|◀◀または▶▶|キーを押す

- 戻るときは|◀◀キーを押し、進むときは▶▶|キーを押します。
- 停止中に操作すると、飛び越して選んだ曲の再生が始まります。
- 再生中に|◀◀キーを1回押すと、再生している曲の最初に戻ります。

MDを取り出す

本体のみ

MD⏏キーを押す

表示部の時間表示を変える

本体表示部の時間表示を変えます。

リモコンのみ

TIME/SPACE キーを押す

押すたびに切り換わります。
（表示例：VC-5DVDのとき）

① **曲の経過時間**

T003 2:30

② **曲の残り時間**（"**ー**"で表示されます）

T003 - 4:25

③ **MD／グループの経過時間**
（"**TOTAL**" 点灯）

TOTAL
T003 18:04

④ **MD／グループに録音されてる全ての曲の残り時間**
（"**ー**"で表示されます）
（"**TOTAL**" 点灯）

TOTAL
T003 - 33:20

⑤ **MD の録音可能残り時間**
（"**REMAIN**" 点灯）

REMAIN
T003 28:36

- 一曲リピート再生時（→67）およびランダム再生（→66）のときは、①と②のみ表示します。
- プログラム再生（→64）のとき、③は**プログラム全体の経過時間**、④は**プログラム全体の残り時間**、⑤MDの録音可能残り時間表示は「000：00」を表示します。
  MDグループ再生時、③は**再生しているグループ内での経過時間**を、④は**再生しているグループ内の全ての曲の残り時間**を表示します。
- 時間表示の合計が1000分以上になると "**--- : --**"と表示されます。

MDのグループ再生

MDの曲がグループ登録（→80）されているとき、クループ内の曲だけを再生します。

入力切換を"MD"にする →58

❶ 音源（ソース）がMDで停止していることを確認する

● 再生中は、STOP■キーを押します。

❷ PGMキーを押して、表示部の"GROUP"を点灯させる

VC-5DVD

GROUP

VC-7DVD

GROUP

❸ FOLDER/GROUP SEARCH/TOP MENUキーを押す。

● "GROUP"表示が点滅します。

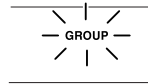
VC-5DVD

GROUP

VC-7DVD

GROUP

❹ カーソルキー（▲▼）を押して、再生するグループを選ぶ

❺ MD▶/❚❚キーを押す

● 選んだグループの曲の再生が始まります。
● グループ内の曲の再生が終わると、停止します。
● リピート再生（→67）と組み合わせると、グループ再生を繰り返すことができます。
● ランダム再生（→66）と組み合わせると、グループ内の曲だけをランダムに再生することができます。

グループ再生中に他のグループを選ぶとき

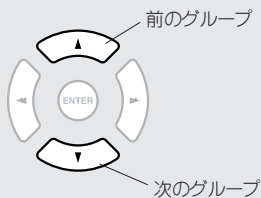
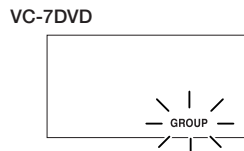
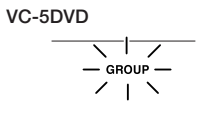
❶ STOP■キーを押して、再生を停止する。

❷ FOLDER/GROUP SEARCH/TOP MENUキーを押す。

FOLDER/GROUP SEARCH
TOP MENU

● "GROUP"表示が点滅します。

VC-5DVD　　VC-7DVD

❸ カーソルキー(▲▼)を押して、グループを選びます。

❹ MD▶/❚❚キーを押す

● 選んだグループの最初の曲の再生が始まります。

グループ再生を解除する

停止中に、PGMキーを2回押して"GROUP"表示を消灯させます。

PGM

MDの曲順を並べ替えて聞く(MDのプログラム再生)

好きな曲を好きな曲順に並べ替えてプログラムし、聞くことができます。
停止中にリモコンを使って操作します。

入力切換を"MD"にする →58

❶ 音源（ソース）がMDで停止していることを確認する

● 再生中は、STOP■キーを押します。

❷ PGMキーを押して、表示部の"PGM"を点灯させる

VC-5DVD

MD P01 T---

VC-7DVD

MD---- P-01

❸ 数字キーを使って曲番号を選ぶ
曲番号が点滅中に手順❹に進みます。

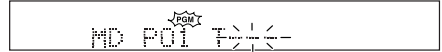
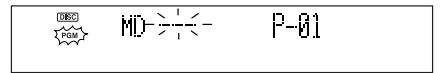
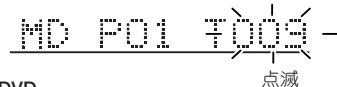
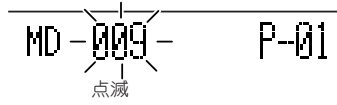
VC-5DVD

MD P01 T009 -

点滅

VC-7DVD

MD -009- P-01

点滅

数字キーを押す順序は

12曲目なら .... +10、2
20曲目なら .... +10、+10、0
120曲目なら .... +100、+10、+10、0

❹ SETキーを押す

● 手順❸と❹を繰り返して、32曲まで選べます。**"MD PGM FULL"**（VC-7DVD：**"PROGRAM FULL"**）と表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。

VC-5DVD

MD PGM FULL

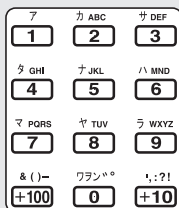
VC-7DVD

PROGRAM FULL

❺ MD►/❚❚キーを押す

● プログラムした曲順に再生が始まります。
● 再生中に❙◄◄または►►❙キーを押すと、プログラムした順に曲の飛び越しができます。❙◄◄キーを1回押すと、再生中の曲の最初に戻ります。
● MDのリピート再生（→67）と組み合わせると、プログラム再生を繰り返すことができます。

曲を追加するには

❶ 停止中に数字キーで追加したい曲番号を選ぶ

曲番号が点滅中に手順❷に進みます。

- 選んだ曲番号が点滅表示されます。

数字キーを押す順序は

12曲目なら .... +10、2
40曲目なら .... +10、+10、+10、+10、0
123曲目なら .... +100、+10、+10、3

❷ SETキーを押す

- 選んだ曲がプログラムの最後に追加されます。
- 32 曲まで選べます。**"MD PGM FULL"**（VC-7DVD：**" PROGRAM FULL"**）と表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。

VC-5DVD

MD PGM FULL

VC-7DVD

PROGRAM FULL

プログラムした曲を取り消すには

リモコンのみ

停止中にCLEAR/DEL.キーを押す

- 押すたびに、最後の曲から1曲ずつ消えていきます。

プログラムを解除するには

リモコンのみ

停止中にPGMキーを押す

- **"PGM"** 表示が消灯し、プログラム再生のモードが解除され、プログラムした内容が全て消去されます。
- 本体の**MD⏏**キーを押してMDを取り出すか、リモコンの**POWER**　キーを押して電源をオフ（スタンバイ状態）にしたときも、プログラム再生が解除され、プログラムした内容が全て消去されます。

MDの曲順を順不同に楽しむ（MDのランダム再生）

毎回曲がランダム（無作為）に選曲されます。

- プログラム再生モードのときは、ランダム再生はできません。解除してから操作してください。→65
- リモコンを使って操作します。

入力切換を"MD"にする→58

❶ 音源（ソース）がMDで停止していることを確認する

- 再生中は、STOP■キーを押して停止させます。
- "PGM"表示が点灯しているときは、停止中にPGMキーを押して消灯させます。

❷ RANDOMキーを押す

- "RANDOM"表示が点灯し、ランダム再生が始まります。
- 全曲の再生が1回終わると停止します。
- MDのリピート再生（→67）と組み合わせると、ランダム再生を繰り返すことができます。
- MDのグループ再生（→62）の操作をしてからRANDOMキーを押すと、グループ内の曲だけをランダムに再生することができます。

曲の途中で別の曲を選ぶには

►►|キーを押す

- |◄◄キーを1回押すと、再生している曲の初めに戻ります。

ランダム再生をやめるには

STOP■キーを押す

- "RANDOM"表示が消灯します。

ランダムリピート再生する

ランダム再生中にREPEATキーを押す

- 全曲のランダム再生が繰り返されます。

プログラム再生モードのときは、ランダム再生はできません。プログラム再生を解除してから操作してください。→65

繰り返し再生する（MDのリピート再生）

お気に入りの曲を繰り返し再生することができます。

- 再生中または停止中にリモコンを使って操作します。

入力切換を"MD"にする →58

REPEATキーを押してリピートモードを選ぶ

REPEATキーを押すたびに次のように変わります。

VC-5DVDのとき

" "（1曲リピート）： 再生中の曲だけを繰り返します。

⊂1

- プログラム再生のときは、"⊂1"は選べません。

"⊂"（全曲リピート）： MDの全曲を繰り返し再生します。グループ再生のときは、グループ内の曲を繰り返します。プログラム再生のときは、プログラムした全ての曲を繰り返します。

⊂

解除（消灯）： リピート再生を解除します。

VC-7DVDのとき

"REPEAT ONE"（1曲リピート）：

REPEAT ONE

再生中の曲だけを繰り返します。

- プログラム再生のときは、"REPEAT ONE"は選べません。

"REPEAT"（全曲リピート）：

REPEAT

MDの全曲を繰り返します。グループ再生のときは、グループ内の曲を繰り返します。プログラム再生のときは、プログラムした全ての曲を繰り返します。

解除（消灯）： リピート再生を解除します。

1曲だけ繰り返し再生するとき、あらかじめ数字キーまたは⏮、⏭キーを使って曲を選んで再生しておくと、簡単にその曲だけの繰り返し再生ができます。

リピート再生をやめるには

REPEATキーを押して表示部のリピート表示を消灯させ、リピートモードを解除します。

- STOP■キーを押して再生を停止したときは、リピートモードは解除されません。

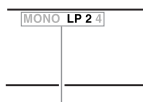
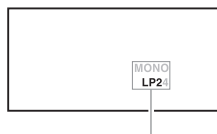
MDに録音する前に

録音モードについて(MDLP)

本機は、MDのステレオ長時間録音に対応しています(MDLP対応)。
録音モードにはステレオ録音、ステレオ2倍長時間録音、ステレオ4倍長時間録音、モノラル長時間録音があり、本機のMDで録音できる全ての音源(ソース)に使用できます。
また、同じMDに異なる録音モードの曲を混在させることもできます。

録音モードの種類

ステレオ録音(STEREO) : 標準のステレオ録音です。MD80で最大80分の録音ができます。
ステレオ2倍長時間録音(LP2) : 音声はステレオで録音されます。MD80で最大160分の録音ができます。
ステレオ4倍長時間録音(LP4) : 音声はステレオで録音されます。MD80で最大320分の録音ができます。
モノラル長時間録音(MONO) : 音声はモノラルで録音されます。MD80で最大160分の録音ができます。

録音モードは、表示部に表示されます。

スタンプ(STAMP)機能

本機でステレオ2倍長時間録音(LP2)またはステレオ4倍長時間録音(LP4)で録音された曲の曲タイトルの始めの部分に"LP:"を自動的につける機能です。スタンプ機能を使っているときは、曲タイトルの頭の部分に"LP:"が表示されます。
"LP:"は、MDLPに対応していない機器でステレオ長時間録音された曲を再生しているときだけ、表示されます。
本機では、スタンプ(STAMP)機能のオン(「LP:」をつける)またはオフ(「LP:」をつけない)の設定ができます。
設定の方法は→73をご覧ください。

MDLPに対応していない機器で再生した場合

ステレオ長時間録音(MDLP)に対応していない機器で、ステレオ長時間録音した曲を再生すると、再生状態にはなりますが音は出ません。ステレオ録音またはモノラル録音された曲とステレオ長時間録音された曲が混在するMDを、MDLPに対応していない機器で再生するとステレオ録音またはモノラル録音された曲だけが音が出ます。このような場合、音が出ていないときに音量を上げすぎると、突然大きな音が出ることになります。音量の上げすぎに注意してください。

グループ録音

あらかじめ設定しておくと、1回の録音を1つのグループとして録音することができます。
1枚のMDには最大99のグループを登録することができます。
設定の方法は→73**をご覧ください。**

- グループ録音の設定をしていても、すでに99グループ登録されているときは、グループ録音されません。
- グループは、録音した後に編集機能を使って、グループを登録することができます。→80

CDの4倍速録音

本機では、CDをMDに録音するときに4倍速で録音することができます。→76

録音する曲によっては、その曲の4倍速録音を始めてから74分以内に同じ曲の4倍速録音およびその曲を含むディスクの全曲4倍速録音ができないことがあります。
このような場合、再び4倍速で録音できるまでの時間が表示部に表示されます。

VC-5DVD

WAIT 74MIN.

続けて録音したいときは、通常速度で録音してください。

CDの状態によっては、音飛びが起きたり、MDにノイズが録音されたり、不要な曲ができたりすることがあります。このような場合は、通常速度で録音してください。

CDの録音形式（デジタル／アナログ）

CDの録音形式の設定を必要に応じてデジタル録音またはアナログ録音に切り換えることができます。
初期設定ではデジタル録音に設定されていますが、SCMS（→139**）などでデジタル録音できないCDを録音するとき、アナログ録音に設定すると録音が可能になります。**
設定を変更するときは、→72**をご覧ください。**

- CDの4倍速録音をするときは、デジタル録音に設定してください。
- CD以外のディスク（DVDビデオ、ビデオCD、MP3/WMA、DTS-CD）のときは、設定にかかわらずアナログで録音されます。

録音レベルについて

カセットデッキなどの外部機器の音声レベルが小さすぎる場合や大きすぎる場合、適正な録音レベルで録音されない場合があります。このような場合は、あらかじめ録音レベルの調整を行なってから録音します。
設定方法は→73をご覧ください。

トラックマークについて

MDでは曲の頭にトラックマークがつき、このトラックマークとトラックマークの間が曲とみなされます。
本機では、このトラックマークを自動で付ける"AUTO"モードと録音中にMD EDITキーを押してトラックマークをつける"MANUAL"モードがあります。
初期設定は、"AUTO"モードになっています。
トラックマークのモード変更するときは、→72をご覧ください。

"AUTO"モード　：　DVDビデオ音声やCDのアナログ録音では、曲の変わり目に合わせてトラックマークがつきます。ラジオからの録音では、10分に1回トラックマークがつきます（MD EDITキーを押してトラックマークをつけることもできます。）。外部機器からの録音では、一定のレベル以下の入力信号が約2秒間続くと、トラックマークがつきます。ただし、ノイズが多いときやライブ演奏の観客のざわめきなどで音が途切れないときは、トラックマークはつきません。また、クラシック音楽などで極端に小さい音が続くときなどは、トラックマークがつくことがあります。CDのデジタル録音のときは、デジタル信号の情報をもとにトラックマークをつけます。

"MANUAL"モード　：　録音中にトラックマークをつけたいところで、リモコンのMD EDITキーを押します。

テキストコピー機能

テキストコピー機能がオンのとき、CD-TEXTディスクなどのテキスト情報が入っているディスクの録音と同時にテキスト情報（曲名）もMDにコピーされます。
初期設定は、"OFF"になっています。
テキストコピー機能の設定を変更するときは、→73をご覧ください。

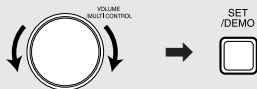
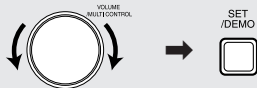
短い曲（約10秒以下）が録音する曲に含まれているとき、正しくトラック番号が繰り上がらずに録音される場合があります。

録音時のご注意

- MDの誤消去防止つまみが録音可能な状態になっている録音可能なMDをお使いください。
- 電源オフ（スタンバイ状態）のときは、MDの出し入れはできません。無理にMDを入れないでください。故障の原因となります。
- "WRITING"表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"WRITING"が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。
- MD録音中に、USBケーブルを抜き差ししないでください。

録音の設定

録音を始める前の設定について説明します。録音を始める前の設定には、"トラックマークの設定"、"CDの録音形式の設定"、"録音レベルの設定"、"テキストコピー機能の設定"、"グループ録音とLPスタンプ機能の設定"があります。
本体を使って設定します。

操作手順	トラックマークの設定→70	CDの録音形式の設定→69
❶ MODEキーを押す 	● いつでも設定できます。	● 音源（ソース）が**"DVD/CD"**のとき設定できます。
❷ VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回してモードを選び、SET/DEMOキーを押す 	**"TRACK MARK"を選ぶ** VC-5DVD TRACK MARK ● **"A.TNO"**表示が点滅します。	**"REC INPUT"を選ぶ** VC-5DVD REC INPUT ● **"DIGITAL"**表示が点滅します。
❸ VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して設定し、SET/DEMOキーを押す 	**"AUTO"または"MANUAL"を選ぶ** **"AUTO"**　：自動でトラックマークをつけるとき（初期設定） **"MANUAL"**　：リモコンの**MD EDIT**キーを押してトラックマークをつけるとき ● **"AUTO"**を選んだとき、**"A.TNO"**表示が点灯します。	**"ANALOG"または"DIGITAL"を選ぶ** **"ANALOG"**　：アナログ録音をするとき **"DIGITAL"**　：デジタル録音をするとき（初期設定） ● **"DIGITAL"**を選んだとき、**"DIGITAL"**表示が点灯します。
❹ VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して設定し、SET/DEMOキーを押す 	 **設定前の表示に戻り、設定が終了します。**	 **設定前の表示に戻り、設定が終了します。**

DTS-CDを録音するときは、アナログ録音に固定されます。

録音レベルの設定→70

- いつでも設定できます。

"REC LEVEL"を選ぶ

VC-5DVD

REC LEVEL

- ー∞,ー11〜＋12の範囲で調整する

VC-5DVD

–3

ときどき点灯するように調節します。

アナログ録音時、AUX 入力レベル調整が必要な場合があります。→57

設定前の表示に戻り、設定が終了します。

"DIGITAL AUX"の録音レベルを調整したときは、音量も変化します。

テキストコピー機能の設定→70

- いつでも設定できます。

"TEXT COPY"を選ぶ

VC-5DVD

TEXT COPY

"ON"または"OFF"を選ぶ

"ON"：CD-TEXT の文字情報を録音と同時に MD にコピーするとき
"OFF"：CD-TEXT の文字情報を録音と同時に MD にコピーしないとき（初期設定）

設定前の表示に戻り、設定が終了します。

グループ録音（→69）とLPスタンプ機能の設定

- いつでも設定できます。

"REC OPTION"を選ぶ

VC-5DVD

REC OPTION

グループ録音の"ON"または"OFF"を選ぶ

"ON"：グループ録音するとき
"OFF"：グループ録音しないとき（初期設定）

録音モードが"LP2 "または"LP4 "のとき設定できます。→68

LPスタンプ機能の"ON"または"OFF"を選ぶ

"ON"：曲タイトルの頭に **"LP："** をつけるとき（初期設定）
"OFF"：曲タイトルの頭に **"LP："** をつけないとき

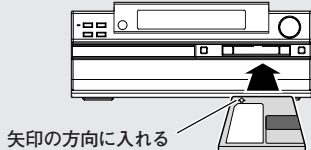
設定前の表示に戻り、設定が終了します。

MDに録音する(基本操作)

あらかじめ必要な設定をしてから、録音してください。
設定方法は→72 〜→73 をご覧ください。

本体のみ

❶ 録音用MDを入れる

MD録音中に、USBケーブルを抜き差ししないでください。

❷ 録音するソース(音源)を選ぶ

CD(DVD、ビデオCD、MP3):
録音するディスクを入れ、**DVD/CD▶/II**キーを押して一時停止状態にする

ラジオ: **TUNER/BAND**キーを押し、録音する放送局を受信する

AUX(外部アナログ機器):
AUXキーを押して**"AUX"**を選ぶ

DIGITAL AUX(外部デジタル機器):
AUXキーを押して**"DIGITAL AUX"**を選ぶ

❸ REC MODEキーを押して、録音モードを選ぶ

押すたびに切り換わります。

→ STEREO
LP2
LP4
MONO

❹ MD RECキーを押す

- 表示部の**"●II"**が点灯(VC-7DVD:**"REC"**が点滅)し、録音一時停止状態になります。
- リモコンの**REC**キーでも操作できます。

❺ MD RECキーを押し、ソース(音源)機器の再生を始めます。

- 録音が始まります。
- リモコンの**REC**キーでも操作できます。
- DVD/CDの音を録音するときは、**DVD/CD▶/II**キーを押して再生を始めます。

サンプリングレートコンバーターについて

本機は、サンプリングレートコンバーターを内蔵しています。MDのサンプリング周波数(44.1kHz)と異なるサンプリング周波数のデジタル機器の音もコンバートして録音できます。

サンプリング周波数の種類
32kHz ：BSチューナーのAモード放送など
44.1kHz ：CD、MDなど
48kHz ：CSチューナー、BSチューナーのBモード放送など

録音を一時停止する

MD►/❚❚キーを押す

- 表示部の"●❚❚"が点灯(VC-7DVD："REC"が点滅)し、録音一時停止状態になります。
- 録音を再開するときは、**MD►/❚❚**キーまたは**MD REC**(レコーディング)キーを押します。

録音を停止する

STOP(ストップ)■キーを押す

- DVD/CDの音を録音しているときは、DVD/CDも停止します(シンクロ機能)。

CDの録音したいところからMDにシンクロ録音する

CDの録音を始めたいところから、CDの再生とMDの録音が同時に始まるシンクロ録音します。

本体のみ

❶ **録音用MDを入れる**

❷ **録音するCDを入れる**

❸ **DVD/CD►/❚❚キーを押し、録音を始めたいところで一時停止にする**

- CDの最初から録音を始めたいときは、**DVD/CD►/❚❚**キーを2回連続して押します。

❹ **REC(レコーディング) MODE(モード)キーを押して、録音モードを選ぶ**

押すたびに切り換わります。

STEREO(ステレオ)
LP2
LP4
MONO(モノラル)

❺ **MD RECキーを押す**

- 表示部の"●❚❚"が点灯(VC-7DVD："REC"が点滅)し、録音一時停止状態になります。
- リモコンの**REC**(レコーディング)キーでも操作できます。

❻ **DVD/CD►/❚❚キーを押す**

- CDの再生とMDの録音が同時に始まります(シンクロ録音)。
- CDの最後の曲の録音が終わると、CDとMDが停止します。

MDを操作する

O.T.E.機能を使ってCDの4倍速録音をする

CDの曲をMDに4倍速で録音します。通常の録音の1/4の時間で録音することができます。
- CD以外のディスクは4倍速で録音することはできません。
- CDを4倍速で録音するときは、CDの録音形式をデジタル録音に設定してください。→72
- 4倍速録音のときは、スピーカーから音は出ません。
- O.T.E.機能を使ってCDを通常速度で録音したいときは、手順❻で"NOR. SPEED"（VC-7DVD："NORMAL SPEED"）を選んでください。

1枚のCDを4倍速録音する

❶ 録音用MDを入れる

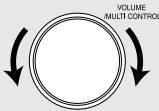
❷ 録音するCDを入れる

❸ DVD/CD►/❚❚キーを押してから、STOP■キーを押す

❹ REC MODEキーを押して、録音モードを選ぶ

❺ MODEキーを押す

❻ VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して"O.T.E. MODE"を選び、SET/DEMOキーを押す

❼ VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して"HIGH SPEED"を選ぶ

VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回すと次のように切り換わります。

HIGH SPEED：4倍速録音するとき選びます。
NOR. SPEED (NORMAL SPEED)*：通常速度で録音するとき選びます。

＊（　）はVC-7DVD

❽ SET/DEMOキーを押す
- CDの再生とMDの録音が同時に始まります。

- CDの最後の曲を録音すると、CDは停止状態になります。
- CDまたはMDのどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。

CDの1曲を4倍速録音する

❶ 録音用MDを入れる

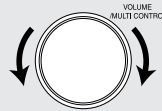
❷ 録音するCDを入れる

❸ 録音したい曲を再生する

❹ REC MODEキーを押して、録音モードを選ぶ

❺ MODEキーを押す

❻ VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して"O.T.E. MODE"を選び、SET/DEMOキーを押す

❼ VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して"HIGH SPEED"を選ぶ

VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回すと次のように切り換わります。

HIGH SPEED：4倍速録音するとき選びます。
NOR. SPEED (NORMAL SPEED)*：通常速度で録音するとき選びます。

＊（　）はVC-7DVD

❽ SET/DEMOキーを押す
- 再生中の曲の最初に戻り、録音が始まります。

- 1曲録音が終了すると、CDは次の曲の始めで一時停止状態になります。
- CDまたはMDのどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。

CDのプログラム再生を4倍速録音する

❶ 録音用MDを入れる

❷ 録音するCDを入れる

❸ プログラム再生の操作をし、停止状態にする

- プログラムの方法は、➝43をご覧ください。

❹ REC MODEキーを押して、録音モードを選ぶ

REC MODE

押すたびに次のように切り換わります。

- STEREO
- LP2
- LP4
- MONO

❺ MODEキーを押す

MODE

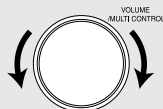
❻ VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して"O.T.E. MODE"を選び、SET/DEMOキーを押す

❼ VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して"HIGH SPEED"を選ぶ

VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回すと次のように切り換わります。

- HIGH SPEED：4倍速録音するとき選びます。
- NOR. SPEED (NORMAL SPEED)*：通常速度で録音するとき選びます。

＊(　)はVC-7DVD

CDを4倍速録音したとき、74分以内に再度同じ曲またはCDの録音ができない場合があります。➝69
このようなときは、通常速度で録音してください。

❽ SET/DEMOキーを押す

- プログラム録音が始まります。

- プログラム録音が終了すると、CDは停止状態になります。
- CDまたはMDのどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。

O.T.E.機能を使ってディスクを録音する

O.T.E.機能を使って、音楽CD、ビデオCD、MP3/WMAのディスクを録音します。

- DVDビデオ/ビデオCDの音声や、DTS-CD、MP3/WMAディスクは、CDの録音形式の設定に関わらず、アナログで録音されます。
- ビデオCDの音声を録音するときは、P.B.C.をオフにします。 →56
- O.T.E.機能によるDVDビデオ音声の録音は、一曲録音になります。ディスクによっては、O.T.E.機能による録音ができない場合があります。
- 本体を使って操作します。

❶ 録音用MDを入れる

❷ 録音するディスクを入れ、ディスクの準備をする

1枚のディスクを録音するとき

- **DVD/CD▶/II**キーを押してから **STOP■**キーを押して停止状態にします。

音楽CDとビデオCDのプログラム再生を録音するとき

- プログラム操作をし、停止状態にします。
  プログラムの方法は、→43をご覧ください。

1曲録音をするとき

- **DVD/CD▶/II**キーを押して、録音する曲を再生します。
- ランダム再生中は、1曲録音できません。

❸ REC MODEキーを押して、録音モードを選ぶ

REC MODE

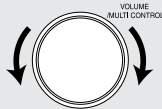
押すたびに次のように切り換わります。

→ STEREO
LP2
LP4
MONO

❹ MODEキーを押す

MODE

❺ VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して"O.T.E. MODE"を選び、SET/DEMOキーを押す

❻ VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して"NOR. SPEED"(VC-7DVD:NORMAL SPEED)を選ぶ

- ビデオCD、DTS-CD、MP3/WMAのディスクは、**"HIGH SPEED"**は選べません。

❼ SET/DEMOキーを押す

- ディスクの再生とMDの録音が同時に始まります。
- 1枚のディスクの録音が終わると、ディスクは停止状態に、一曲録音が終わると、ディスクは次の曲の始めで一時停止状態になります。
  DVDビデオの場合（1曲録音）、MDは録音を停止し、ディスクは待機状態または再生を続けます。
- ディスクまたはMDのどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。

リモコンのO.T.E.キーを使って簡単に録音する

リモコンのO.T.E.を押すだけで簡単にディスクを録音することができます。

- 録音速度は、通常速度で録音されます。
- ビデオCDの音声を録音するときは、P.B.C.をオフにします。 →56

❶ 録音用MDを入れる

❷ 本体のREC MODEキーを押して、録音モードを選ぶ

押すたびに次のように切り換わります。

→ STEREO
LP2
LP4
MONO

❸ 録音するディスクを入れ、ディスクの準備をする

1枚のディスクを録音するとき

- DVD/CD▶/❚❚キーを押してから STOP■キーを押して停止状態にします。

音楽CDとビデオCDのプログラム再生を録音するとき

- プログラム操作をし、停止状態にします。
  プログラムの方法は、→43をご覧ください。

1曲録音をするとき

- DVD/CD▶/❚❚キーを押して、録音する曲を再生します。
- ランダム再生中は、1曲録音できません。

❹ リモコンのO.T.E.キーを押す

- ディスクの再生とMDの録音が同時に始まり、通常速度で録音されます。
- 1枚のディスクの録音が終わると、ディスクは停止状態に、一曲録音が終わると、ディスクは次の曲の始めで一時停止状態になります。
  DVDビデオの場合（1曲録音）、MDは録音を停止し、ディスクは待機状態または再生を続けます。
- ディスクまたはMDのどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。

MP3/WMAのフォルダー録音をするとき

MP3/WMAのフォルダー録音をするときは、以下の録音操作をします。上記"リモコンのO.T.E.キーを使って簡単に録音する"の手順❸で次の操作をしてから、手順❹の操作をしてください。

❶ 録音するディスクが停止していることを確認する

- 再生中は、STOP■キーを押して停止させます。

❷ FOLDER/GROUP SEARCH/TOP MENUキーを押し、カーソルキー（▲ ▼）を押して録音するフォルダーを選ぶ

MDの編集機能

市販の録音用MDを使うと、録音後に各種の編集を行うことができます。再生専用の一般市販ソフトのMDは編集できません。

編集をするときは、MDの誤消去防止つまみを録音可能側にしてください。→139

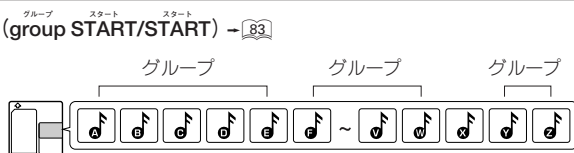
MD規格上の機能制限について

MDのいくつかの機能には、規格上の制限があります。故障とお考えになる前に、"MD規格上の症状"をご確認ください。→144

編集の種類について

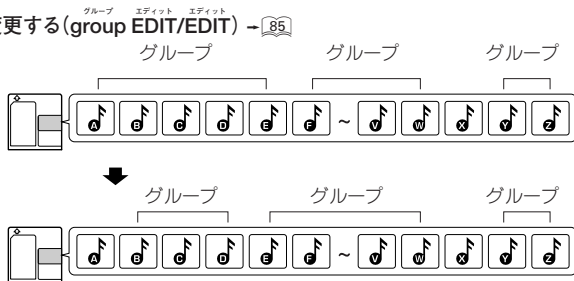
MDの編集には、大きく分けてグループ編集とトラック（曲）編集があります。

グループ編集

グループを登録する（group START/START） →83

- 1曲または連続した曲番号の曲をグループとして登録することができます。（最大99グループ）

グループを解除する（group CANCEL/CANCEL） →84

- 登録したグループを個別にまたは一括して解除することができます。

グループの範囲を変更する（group EDIT/EDIT） →85

- グループ登録した曲の範囲を変更することができます。

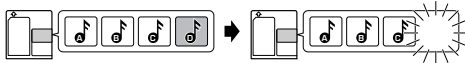
- 1つの曲を複数のグループに登録することはできません。
- グループ登録済の曲を他のグループに登録しなおすときは、次のいずれかの操作で、その曲をいったんグループ登録されていない状態に戻してください。
  group CANCELでグループを解除する →84
  group EDITでグループの範囲を変更する →85

トラック(曲)編集

曲順の入れ替え

曲順を1曲ずつ入れ替える(MOVE) →87

曲の分割と結合

曲を分ける(DIVIDE) →89

曲をつなぐ(COMBINE) →90

曲の消去

1曲消す(ERASE) →91

全曲消す(ALL ERASE) →91

MDの編集のご注意

"WRITING" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"WRITING" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

- グループ登録したMDのグループ情報は、ディスクタイトル情報を書き込む場所に記録されます。グループ編集･登録されたMDをグループ機能に対応していないMD機器で再生すると、ディスクタイトル表示にグループ管理のための情報(数字･記号)が表示されます。
- グループ機能に対応した他のMD機器でグループ編集･登録されたMDを本機で使用すると、正しく動作しないことがあります。
- 「Mulia」からチェックアウトした曲にトラック(曲)編集(**COMBINE**/**DIVIDE**/**ERASE**)を行うと、「Mulia」にチェックインできなくなります。ご注意ください。

グループ編集の操作

グループ編集の基本操作手順

- 編集するMDを入れソース（音源）をMDにし、停止中にリモコンを使って操作します。
- MDのプログラム再生またはグループ再生のモードのときは、グループ編集の操作はできません。それぞれの再生モードを解除（→63、→65）してから操作してください。

❶ MD EDITキーを押す

- 操作を途中で止めるときは、MD EDITキーを押します。

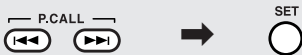
❷ |◀◀または▶▶|キーを押して"GROUP EDIT"（VC-7DVD:"GROUP"）を選ぶ

押すたびに切り換わります。

TRACK EDIT （TRACK）*
GROUP EDIT （GROUP）
CANCEL （CANCEL）

＊（　）はVC-7DVD

❸ SETキーを押す

❹ |◀◀または▶▶|キーを押してグループ編集のモードを選び、SETキーを押す

|◀◀または▶▶|キーを押すたびに切り換わります。

group START（START）：グループ登録するとき選びます。→83
group CANCEL（CANCEL）：グループ解除するとき選びます。→84
group EDIT（EDIT）：グループの範囲を変えるとき選びます。→85

- グループ編集ができない条件にある編集項目は選択できません。

❺ 選んだグループ編集の操作をする

- "グループを登録する"→83の手順❷〜❸
  "グループを解除する"→84の手順❷
  "グループの範囲を変更する"→85の手順❷〜❹

❻ ENTERキーを押す

- 編集中は"EDIT NOW"と表示され、編集が完了すると"COMPLETE"と表示されます。
- 編集できないときは、"CAN'T EDIT"と表示されます。
- MDの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、MDを入れた状態まで戻すことができます。MDを取り出す前に操作してください。→92

❼ 本体のMD▲キーを押して、MDを取り出す

- 編集の情報をMDに書き込んでから、MDが出てきます。
- MDに書き込み中は、"WRITING"が点滅表示されます。

グループを登録する(group START/START)

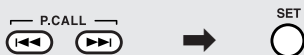
連続した曲または1曲をグループとして登録します。最大99グループまで登録することができます。

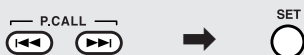
- 編集するMDを入れソース(音源)をMDにし、停止中にリモコンを使って操作します。
- MDのプログラム再生またはグループ再生のモードのときは、グループ編集の操作はできません。それぞれの再生モードを解除(→63、→65)してから操作してください。

❶ グループ編集のモードを"group START"(VC-7DVD:"START")にする →82

① MD EDITキーを押す
② ⏮または⏭キーを押して"GROUP EDIT"(VC-7DVD:"GROUP")を選ぶ
③ SETキーを押す
④ ⏮または⏭キーを押して"group START"(VC-7DVD:"START")を選び、SETキーを押す

- 全ての曲がグループ登録されているときは、"group START"(VC-7DVD:"START")は選ぶことができません。
- 操作の途中で20秒間放置すると編集は中止されます。

❷ ⏮または⏭を押してグループ登録したい最初の曲番号を選び、SETキーを押す

- すでにグループに登録されている曲は選べません。

❸ ⏮または⏭を押してグループ登録したい最後の曲番号を選び、SETキーを押す

- 1曲だけグループ登録するときは、最初の曲と最後の曲を同じ曲番号にします。

❹ ENTERキーを押す

- "EDIT NOW"、"COMPLETE"、"CAN'T EDIT" →82

❺ 本体のMD⏏キーを押してMDを取り出す

- "WRITING" →82

グループを解除する（group CANCEL/CANCEL）

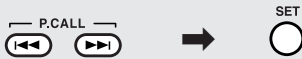
1つのグループまたは全てのグループを解除します。

- 編集するMDを入れソース（音源）をMDにし、停止中にリモコンを使って操作します。
- MDのプログラム再生またはグループ再生のモードのときは、グループ編集の操作はできません。それぞれの再生モードを解除（➝63、➝65）してから操作してください。

❶ グループ編集のモードを"group CANCEL"（VC-7DVD:"CANCEL"）にする ➝82

① MD EDITキーを押す
② ⏮または⏭キーを押して"GROUP EDIT"（VC-7DVD:"GROUP"）を選ぶ
③ SETキーを押す
④ ⏮または⏭キーを押して"group CANCEL"（VC-7DVD:"CANCEL"）を選び、SETキーを押す

- 操作の途中で20秒間放置すると編集は中止されます。

❷ ⏮または⏭を押して解除したいグループを選び、SETキーを押す

⏮または⏭キーを押すたびに切り換わります。

CANCEL ALL	：全てのグループの解除
012-020 GROUP 01	：最初のグループの例
021-058 GROUP 02	：次のグループの例
：	

❸ ENTERキーを押す

- "EDIT NOW"、"COMPLETE"、"CAN'T EDIT" ➝82

❹ 本体のMD⏏キーを押してMDを取り出す

- "WRITING" ➝82

グループの範囲を変更する(group EDIT/EDIT)

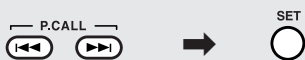
登録したグループの曲の範囲を変えます。

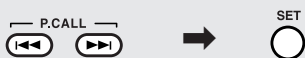
- 編集するMDを入れソース(音源)をMDにし、停止中にリモコンを使って操作します。
- MDのプログラム再生またはグループ再生のモードのときは、グループ編集の操作はできません。それぞれの再生モードを解除(→63、→65)してから操作してください。

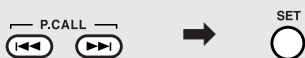
例: 曲番号12～20が登録されているグループの範囲を、曲番号3～18が登録されるグループに変更すると、曲番号19と20はどのグループにも登録されていない曲になります。

❶ グループ編集のモードを"group EDIT" (VC-7DVD: "EDIT")にする →82
① MD EDITキーを押す
② ⏮または⏭キーを押して"GROUP EDIT" (VC-7DVD:"GROUP")を選ぶ
③ SETキーを押す
④ ⏮または⏭キーを押して"group EDIT" (VC-7DVD:"EDIT")を選び、SETキーを押す

- 操作の途中で20秒間放置すると編集は中止されます。

❷ ⏮または⏭を押して範囲を変更したいグループを選び、SETキーを押す

⏮または⏭キーを押すたびに次のように変わります。
012-020 GROUP 01 : 最初のグループの例
021-058 GROUP 02 : 次のグループの例
:

❸ ⏮または⏭を押してグループの最初の曲番号を変更し、SETキーを押す

- 最初の曲番号を変更しないときは、SETキーのみ押し、手順❹に進みます。
- 他のグループに登録されている曲は選べません。

❹ ⏮または⏭を押してグループの最後の曲番号を変更し、SETキーを押す

- 最後の曲番号を変更しないときは、SETキーのみ押し、手順❺に進みます。
- 他のグループに登録されている曲は選べません。

❺ ENTERキーを押す

- "EDIT NOW"、"COMPLETE"、"CAN'T EDIT" →82

❻ 本体のMD⏏キーを押してMDを取り出す

- "WRITING" →82

MDを操作する

トラック（曲）編集の操作

トラック（曲）編集の基本操作手順

- 編集するMDを入れソース（音源）をMDにします。リモコンを使って操作します。
- MDのプログラム再生またはグループ再生のモードのときは、トラック（曲）編集の操作はできません。それぞれの再生モードを解除（→63、→65）してから操作してください。
- 操作の途中で20秒間放置すると編集は中止されます。

❶ MD EDITキーを押す

MD EDIT

- 操作を途中で止めるときは、MD EDITキーを押します。

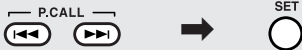
❷ |◀◀または▶▶|キーを押して"TRACK EDIT"（VC-7DVD："TRACK"）を選ぶ

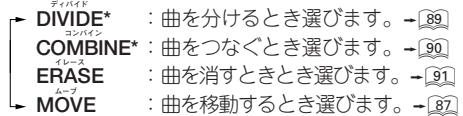
押すたび切り換わります。

- TRACK EDIT （TRACK）*
- GROUP EDIT （GROUP）
- CANCEL （CANCEL）

*（　）はVC-7DVD

❸ SETキーを押す

❹ |◀◀または▶▶|キーを押してトラック（曲）編集のモードを選び、SETキーを押す

|◀◀または▶▶|キーを押すたびに切り換わります。

- DIVIDE* ：曲を分けるとき選びます。→89
- COMBINE* ：曲をつなぐとき選びます。→90
- ERASE ：曲を消すときとき選びます。→91
- MOVE ：曲を移動するとき選びます。→87

＊ 停止中は選ぶことができません。再生時のみ編集の操作ができます。

❺ 選んだトラック（曲）編集の操作をする

❻ ENTERキーを押す

- 編集中は"EDIT NOW"と表示され、編集が完了すると"COMPLETE"と表示されます。
- 編集できないときは、"CAN'T EDIT"と表示されます。
- MDの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、MDを入れた状態まで戻すことができます。MDを取り出す前に操作してください。→92

❼ 本体のMD▲キーを押して、MDを取り出す

- 編集の情報をMDに書き込んでから、MDが出てきます。
- MDに書き込み中は、"WRITING"が点滅表示されます。

曲を移動する(MOVE)

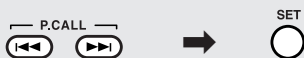
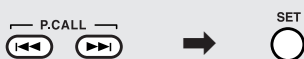
お好みの位置へ曲を移動します。移動が終わると、全ての曲番号が調整されます。
曲の移動を繰り返して、全曲をお好みの曲順に並べ替えることもできます。
停止中または再生中に操作できます。

- 編集するMDを入れソース(音源)をMDにし、リモコンを使って操作します。
- MDのプログラム再生またはグループ再生のモードのときは、トラック(曲)編集の操作はできません。それぞれの再生モードを解除(→63、→65)してから操作してください。ランダム再生は解除してください(→66)。

停止中に曲を選んで移動する

❶ トラック(曲)編集のモードを"MOVE"にする →86
① MD EDITキーを押す
② ⏮または⏭キーを押して"TRACK EDIT"(VC-7DVD:"TRACK")を選ぶ
③ SETキーを押す
④ ⏮または⏭キーを押して"MOVE"を選び、SETキーを押す

- 操作の途中で20秒間放置すると編集は中止されます。

❷ ⏮または⏭を押して移動する曲の曲番号を選び、SETキーを押す

❸ ⏮または⏭を押して移動先の曲番号を選び、SETキーを押す

例:2曲目に移動するとき
VC-5DVD

001/ 1 /002

移動先の曲番号

- 曲をあるグループ内の曲と曲の間に移動したときには、移動した曲はそのグループの曲となります。グループの前後に移動したときには、移動先の1つ前の曲と同じグループになります。1つ前の曲がどのグループにも登録されていないときは、移動した曲もどのグループにも登録されません。

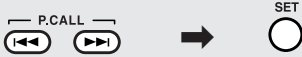
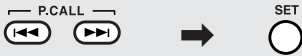
❹ ENTERキーを押す

- "EDIT NOW"、"COMPLETE"、"CAN'T EDIT" →82

❺ 本体のMD⏏キーを押してMDを取り出す

- "WRITING" →82

再生中の曲を移動する

❶ 移動したい曲が再生中にMD EDITキーを押す

● 編集を始めると、曲が一時停止になります。

❷ |◀◀または▶▶|キーを押して"MOVE"を選び、SETキーを押す

❸ |◀◀または▶▶|を押して移動先の曲番号を選び、SETキーを押す

● 曲をあるグループ内の曲と曲の間に移動したときには、移動した曲はそのグループの曲となります。グループの前後に移動したときには、移動先の1つ前の曲と同じグループになります。1つ前の曲がどのグループにも登録されていないときは、移動した曲もどのグループにも登録されません。

❹ ENTERキーを押す

● "EDIT NOW"、"COMPLETE"、"CAN'T EDIT" →82

❺ 本体のMD⏏キーを押してMDを取り出す

● "WRITING" →82

曲を分ける（DIVIDE）

曲の途中にトラックマークを追加して、曲を分割します。聞きたいところにトラックマークを追加しておくと、簡単に選ぶことができます。
曲を分けると、全ての曲の曲番号が調整されます。

- 編集するMDを入れソース（音源）をMDにし、再生中にリモコンを使って操作します。
- MDのプログラム再生またはグループ再生のモードのときは、トラック（曲）編集の操作はできません。それぞれの再生モードを解除（→63、→65）してから操作してください。ランダム再生は解除してください（→66）。

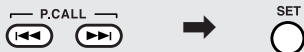
❶ 分割したい曲が再生中に分割したいところでMD EDITキーを押す

- 分割点が設定されます。
- 約2秒より短い曲に分割できないことがあります。曲の始めからまたは曲の終わりまで2秒以上の範囲でMD EDITキーを押してください。

❷ ⏮または⏭キーを押して"DIVIDE"を選び、SETキーを押す

- 編集を始めると、曲が一時停止になります。

❸ SETキーを押す

- 手順 ❶ で設定した分割点から約３秒が繰り返し再生されます。

❹ ⏮または⏭を押して分割点を微調整し、SETキーを押す

VC-5DVD

PREV 0s +13

- 分割点の微調整は、－31～＋31（約4秒）の範囲で調整ができます。
- 分割点を調整しないときは、SET キーだけ押します。

❺ ENTERキーを押す

- 手順❶～❺を繰り返して、最大254まで曲番号を追加できます。
- 分割してできた曲間には、無音部分はありません。
- MD規格の制限で、曲を分けられない場合があります。→144
- グループに登録されている曲を分割したときは、分割した曲も同じグループの曲になります。グループに登録されていない曲を分割したときは、分割した曲もグループに登録されていない曲になります。

❻ 本体のMD⏏キーを押してMDを取り出す

- "EDIT NOW"、"COMPLETE"、"CAN'T EDIT" →82
- "WRITING" →82

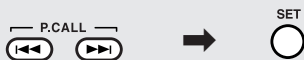
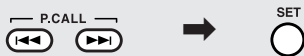
曲をつなげる(COMBINE)

2つの曲をつなげて1つの曲にします。分割した曲をつなげることもできます。
曲をつなげると、全ての曲の曲番号が調整されます。

- 編集するMDを入れソース(音源)をMDにし、再生中にリモコンを使って操作します。
- MDのプログラム再生またはグループ再生のモードのときは、トラック(曲)編集の操作はできません。それぞれの再生モードを解除(→63、→65)してから操作してください。ランダム再生は解除してください(→66)。
- 録音モードの異なる曲("LP2"の曲と"LP4"の曲など)は、つなげることができません。

❶ つなげたい曲が再生中に MD EDIT キーを押す

❷ |◀◀または▶▶|キーを押して"COMBINE"を選び、SETキーを押す

- 編集を始めると、曲が一時停止になります。

❸ |◀◀または▶▶|を押してつなぐ曲を選び、SETキーを押す

❹ ENTERキーを押す

- MD規格の制限で、曲をつなぐことができない場合があります。→144
- つないで新しくできた曲のはじめで一時停止になります。
- 手順❶の曲がグループに登録されているときは、つないで新しくできた曲もそのグループに登録されます。手順❶の曲がグループに登録されていないときは、つないで新しくできた曲もグループに登録されていない曲になります。
- "EDIT NOW"、"COMPLETE"、"CAN'T EDIT" →82
- "WRITING" →82

❺ 本体のMD⏏キーを押してMDを取り出す

曲を消す（ERASE）

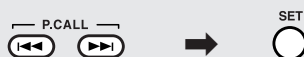
1曲またはMDの全曲を消します。再生中の曲を消すこともできます。
曲を消すと、その曲以降の曲番号が調整されます。
停止中または再生中に操作できます。

- 編集するMDを入れソース（音源）をMDにし、リモコンを使って操作します。
- MDのプログラム再生またはグループ再生のモードのときは、トラック（曲）編集の操作はできません。それぞれの再生モードを解除（→63、→65）してから操作してください。ランダム再生は解除してください（→66）。
- グループ内の全ての曲を消したときは、そのグループも消去されます。

停止中に1曲をまたは全曲を消す

❶ トラック（曲）編集のモードを"ERASE"にする→86
① MD EDITキーを押す
② |◀◀または▶▶|キーを押して"TRACK EDIT"（VC-7DVD:"TRACK"）を選ぶ
③ SETキーを押す
④ |◀◀または▶▶|キーを押して"ERASE"を選び、SETキーを押す

- 操作の途中で20秒間放置すると編集は中止されます。

❷ |◀◀または▶▶|キーを押して消す曲を選び、SETキーを押す

|◀◀または▶▶|キーを押すたびに切り換わります。

all ERASE　：MD 全曲を消すとき
（ALL ERASE）*
001 ERASE　：1 曲目を消すとき
002 ERASE　：2 曲目を消すとき
:

*（　）はVC-7DVD

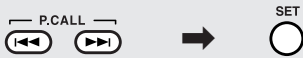
❸ ENTERキーを押す

- 手順❶～❸を繰り返して、続けて曲を消すこともできます。
- 全曲を消したMDは、ブランクディスクになります。
- "EDIT NOW"、"COMPLETE"、"CAN'T EDIT" →82

❹ 本体のMD⏏キーを押してMDを取り出す

- "WRITING" →82

再生中の曲を消す

❶ 消したい曲が再生中にMD EDITキーを押す

● 編集を始めると、曲が一時停止になります。

❷ |◀◀または▶▶|キーを押して"ERASE"を選び、SETキーを押す

❸ ENTERキーを押す

● "EDIT NOW"、"COMPLETE"、"CAN'T EDIT" →82

❹ 本体のMD⏏キーを押してMDを取り出す

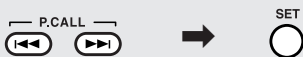
● "WRITING" →82

編集した内容を取り消す(CANCEL)

グループ編集およびトラック(曲)編集した後でもMDを取り出す前に、編集の内容を取り消して入れたときのMDに戻すことができます。

- MDを取り出したり新たに録音をすると、編集した内容の取消しはできません。
- MDを取り出す前、停止中にリモコンを使って操作します。

❶ MD EDITキーを押す

❷ |◀◀または▶▶|キーを押して"CANCEL"を選び、SETキーを押す

● 編集した内容を取り消すことができないとき、"CANCEL"を選択できません。

● 編集した内容を取り消すことができない場合として、①編集後MDを取り出した後や録音操作した場合② "UTOC ERROR"(→146)が表示された後に編集した場合などです。

❸ ENTERキーを押す

● 編集した内容の取り消し中は"EDIT NOW"と表示され、完了すると"COMPLETE"と表示されます。

VC-5DVDのとき

- 英大文字・英小文字・数字・記号・半角カナの半角文字を使ったタイトル入力ができます。

VC-7DVDのとき

- 英大文字・英小文字・数字・記号・半角カナの半角文字を使ったタイトル入力ができます。
- 漢字・ひらがな・カタカナ・英大文字・英小文字・数字・記号の全角文字を使ったタイトル入力ができます。
- Net MD機能を使って、パソコンからタイトル入力ができます。→120

- 全角文字と半角文字を一緒に使ったタイトルはつけることができません。
- 漢字・ひらがな・カタカナ・英大文字・英小文字・数字・記号の全角文字を使ったタイトルの入力のしかたは、「全角文字（ひらがな・漢字）を使ってMDにタイトルをつける」→114をご覧ください。

入力できる文字数について

MD全体で最大1792文字、1曲につき最大80文字まで入力できます（英・数・記号の場合）。カタカナを使用した場合は、1文字あたりのデータ量が多いため、入力できる文字数が少なくなります。
スペース（1文字分の空白）も、文字と同じ量のデータを必要とします。
タイトル消去のときは、スペースは入力せずに文字の削除（CLEAR/DELETE）を利用してください。

タイトルをつけるときのご注意

- プログラム再生およびランダム再生のときは、タイトルをつけることができません。プログラム再生およびランダム再生のモードを解除してから操作してください。→65、→66
- グループ登録したMDのグループ情報は、記号「/」「-」「;」と数字0〜9を使って、ディスクタイトル情報を書き込む場所に記録されます。ディスクタイトル名にこれらの記号を使用することは避けてください。グループ機能に対応したMD機器がグループ情報を誤認識することがあります。
- 録音モード（"LP2"または"LP4"）のスタンプ機能で"LP:"をつける設定にしているとき、曲タイトルの頭の部分に「LP:」が表示されます。→73

MDを操作する

タイトル(半角文字)をつける

ディスク、グループ、曲を選んでタイトルをつけます。つけたタイトルは、同じ手順で変更や消すことができます。

- プログラム再生のときは、タイトルをつけることができません。プログラム再生のモードを解除してから操作してください。→65
- リモコンを使って操作します。

VC-7DVDは、全角文字のタイトルをつけることができます。手順❸で"漢字エリア"を選び、手順❻の「文字の入力方法」は→115をご覧ください。

ディスクや曲にタイトルをつける

❶ タイトルを入力するMDを入れ、ソース(音源)をMDにする

❷ TITLE INPUTキーを押す

TITLE INPUT

❸ VC-5DVDのとき、手順❹に進む
VC-7DVDのとき、|◀◀または▶▶|キーを押して"カナエリア"を選び、SETキーを押す

❹ |◀◀または▶▶|キーを押して、"DISC"または曲番号を選ぶ

P.CALL |◀◀ ▶▶|

|◀◀または▶▶|キーを押すたびに切り換わります。

DISC .... ディスクタイトル
001 .... 曲番号(キーを押すたびに変わります)
002
:

❺ SETキーを押す

SET

グループや曲にタイトルをつける

❶ タイトルを入力するMDを入れ、ソース(音源)をMDにする
グループ再生モードにし、タイトルをつけるグループを選ぶ("MDのグループ再生"の手順❶〜❹ →62)

❷ TITLE INPUTキーを押す

TITLE INPUT

❸ VC-5DVDのとき、手順❹に進む
VC-7DVDのとき、|◀◀または▶▶|キーを押して"カナエリア"を選び、SETキーを押す

❹ |◀◀または▶▶|キーを押して、"GROUP"または曲番号を選ぶ

- グループ内の曲番号が選べます。

P.CALL |◀◀ ▶▶|

|◀◀または▶▶|キーを押すたびに切り換わります。

GROUP .... グループタイトル
002 .... 曲番号(キーを押すたびに変わります)
003
:

❺ SETキーを押す

SET

❻ 文字を入力する
「文字の入力方法」は右ページの説明をご覧ください。

手順❼へ

❼ ENTERキーを押す

- 入力したタイトルが書き込まれます。
- 続けてタイトル入力するときは、次の手順から操作します。

ディスクや曲タイトル

- **"ディスクや曲にタイトルをつける"**→94 の手順❹から操作します。

同じグループ内の曲タイトル

- **"グループや曲にタイトルをつける"**→94 の手順❹から操作します。

別のグループタイトル

- 手順❽の操作のあと、タイトル入力したいグループを選びます（**"MDのグループ再生"**の手順❶〜❹→62）。次に**"グループや曲にタイトルをつける"**→94 の手順❷から操作します。

❽ TITLE INPUTキーを押す

- タイトル入力を終了します。

❾ 本体のMD▲キーを押してMDを取り出す

- タイトルがMDに記録されます。

文字入力の方法

❶ DISPLAY/CHARAC.キーを押して文字グループを選ぶ

VC-5DVD

VC-7DVD

入力される場所（カーソル点滅）

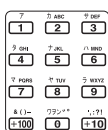
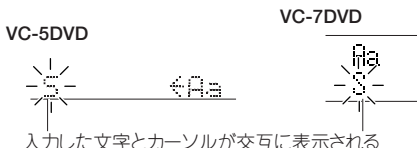
押すたびに、次のように文字グループが切り換わります。

Aa グループ	英大文字・英小文字、記号、
12 グループ	数字、記号
ｱｱ グループ	半角カナ

❷ 数字キーを押して文字を選ぶ

同じキーを繰り返し押すと文字が変わります。
例：[2]を押したとき
A→B→C→a→b→c
と変わります。

VC-5DVD

VC-7DVD

入力した文字とカーソルが交互に表示される

- スペース（1文字分の空白）を入れるときは、TIME/SPACEキーを押します。

❸ SETキーを押して、文字を確定する

❹ 手順❶〜❸を繰り返す

カーソルを移動するとき

◀◀または▶▶キーを押す

TUNING ◀◀ ▶▶

文字を間違えたとき

CLEAR/DEL.キーを押す

CLEAR/DEL

文字を消去するとき

❶ ◀◀または▶▶キーを押して、カーソルを変更したい文字に合わせる

TUNING ◀◀ ▶▶

❷ CLEAR/DEL.キーを押して文字を削除する

文字を挿入するとき

❶ ◀◀または▶▶キーを押して、挿入したい場所の直後の文字にカーソルを合わせる

❷ 文字を入れる

タイトル編集文字一覧表

次のようなカタカナ文字のみやアルファベット文字、および各種記号などを選ぶことができます。

リモコンの数字キーで文字を選ぶとき

キー ＼ グループ	"Aa"	"1 2"	"アァ"
1ア		1	アイウエオァィゥェォ
2カABC	ABCabc	2	カキクケコ
3サDEF	DEFdef	3	サシスセソ
4タGHI	GHIghi	4	タチツテトッ
5ナJKL	JKLjkl	5	ナニヌネノ
6ハMNO	MNOmno	6	ハヒフヘホ
7マPQRS	PQRSpqrs	7	マミムメモ
8ヤTUV	TUVtuv	8	ヤユヨャュョ
9ラWXYZ	WXYZwxyz	9	ラリルレロ
0ワヲン゛゜		0	゛゜ワヲン
+10記号	’ , : ? ! ; . " _ ` $ (スペース)		
+100記号	& ( ) - / + ＊ = < > # % @		

- 「゛」「゜」はカーソル手前の文字によって入力できないことがあります。
- 英字の大文字と小文字が表示される順番は入力する前の状態によって入れ替わります。

本機には、おやすみタイマー（SLEEP）と2種類のプログラムタイマー（"PROG.1"と"PROG.2"）があります。
2種類のプログラムタイマーは、タイマー再生とタイマー録音のどちらにも使うことができ、1回だけまたは繰り返し動作させることができます。

おやすみタイマー（SLEEP）

→97

設定した時間が経過すると、電源がオフ（スタンバイ状態）になります。

タイマー再生（PROG.1、PROG.2）

→98

設定した時間帯に、選んだソース（音源）を再生します。
タイマー再生開始後、一定の音量まで徐々に大きくしていくAIタイマー再生を使うこともできます。

タイマー録音（PROG.1、PROG.2）

→100

設定した時間帯に、ラジオまたは外部機器の音をMDに録音します。

おやすみタイマー（SLEEP）

本機で再生中に、リモコンを使って操作します。

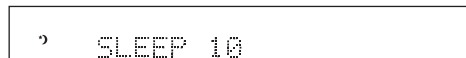
SLEEPキーを押して、電源が切れるまでの時間を設定する

SLEEP

押すたび10分ずつ増加していきます。最大90分まで設定できます。

10→20→30…70→80→90→解除

VC-5DVD

SLEEP 10

電源が切れるまでの時間

- 設定した時間が経過すると、電源がオフ（スタンバイ状態）になります。
- **SLEEP**キーを1回押すと、電源がオフ（スタンバイ状態）になるまでの残り時間が表示されれます。

タイマー再生の設定をする

プログラムタイマー(PROG.1、PROG.2)にタイマー再生の設定をします。
1回だけ動作するタイマー再生の設定または毎日動作するタイマー再生の設定をすることができます。
タイマー再生開始後、一定の音量まで徐々に大きくしていくAIタイマー再生の設定もできます。
本体を使って操作します。

- 本機の時刻を合わせてから、タイマーを設定してください。
- PROG.1とPROG.2はどちらかまたは両方にタイマーの設定ができます。両方にタイマーの設定をするときは、設定する時間帯に1分以上の間隔をあけてください。

DVDビデオやビデオCDの場合、メニュー画面でいずれかの操作が行われるまで待機状態になるものがあります。このようなディスクをタイマー再生すると、連続して映像・音声が再生されないのでお勧めできません。

❶ ソース(音源)の準備をする

ディスクをタイマー再生するとき

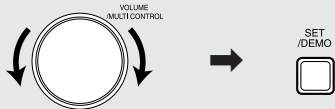
再生するディスクをディスクトレイに入れる

- プログラム再生はできません。

MDをタイマー再生するとき

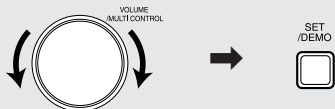
再生するMDをMD挿入口に入れる

外部機器の音をタイマー再生するとき

タイマー機能つきの機器をお使いください。

❷ MODEキーを押す

MODE

- 操作を途中で間違えたときは、MODEキーを押して解除し、手順❸からやり直してください。

❸ VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して"TIMER SET"を選び、SET/DEMOキーを押す

❹ VOLUME/MULTI CONTROLつまみとSET/DEMOキーを使ってタイマー再生の設定をする

VOLUME/MULTI CONTROLつまみ:回して選びます。
SET/DEMOキー:選んだ内容を確定します。

「設定するタイマーを選ぶ→タイマーオン／オフの設定→タイマー動作の設定→開始時刻→終了時刻→タイマーの種類→音量の設定→再生するソース（音源）の設定」の順に設定します。

① **設定するタイマーを選ぶ**
"PROG.1"または**"PROG.2"**を選び、**SET/DEMO**キーを押す

② **タイマーオン／オフの設定**
"ON"を選び、**SET/DEMO**キーを押す

- タイマー動作を解除するときに**"OFF"**を選びます。

③ **タイマー動作の設定**
"ONETIME"または**"EVERYDAY"**を選び、**SET/DEMO**キーを押す

ONETIME：　1回だけ動作させるとき
EVERYDAY：　毎日動作させるとき

④ **開始時間の設定**
「時」を設定してから「分」を設定する

⑤ **終了時刻の設定**
「時」を設定してから「分」を設定する

⑥ **タイマーの種類を選ぶ**
"PLAY"または**"AI PLAY"**を選び、**SET/DEMO**キーを押す

PLAY：タイマー再生開始後、設定した音量で再生されます。
AI PLAY：タイマー再生開始後、設定した音量まで徐々に大きくなります。
REC：タイマー録音のときに選びます。

⑦ **音量の設定**

⑧ **再生するソース（音源）の設定**
"TUNER"、**"DVD/CD"**、**"MD"**、**"AUX"**、**"DIGITAL AUX"**から選びます。

"TUNER"を選んだとき
続いて再生する放送局のプリセット番号を設定します。
プリセット番号の設定が終わると、タイマーの設定が終了します。

"TUNER"以外を選んだとき
タイマーの設定が終了します。

❺ **⏻（電源）キーを押して、電源をオフ（スタンバイ状態）にする**

- **STANDBY/TIMER**インジケーターが緑色の点灯になります。
- **ONETIME**（1回動作）タイマーを選んだときは、1度タイマー動作を行うと解除されますが、設定は残ります。
- **EVERYDAY**（毎日動作）タイマーを選んでいて、一時的にタイマーを解除したいときは、手順❷～❹-②の操作をし、手順❹-②で**"OFF"**を選びます。再度タイマーを動作させるときは**"ON"**を選びます。また、タイマーの解除と再設定はリモコンを使って簡単に設定することができます。→102

タイマー録音の設定をする

プログラムタイマー(PROG.1、PROG.2)にタイマー録音の設定をします。
1回だけ動作するタイマー録音の設定または毎日動作するタイマー録音の設定をすることができます。
本体を使って操作します。

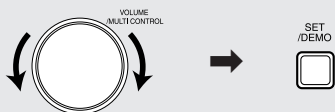
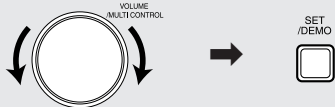
- 本機の時刻を合わせてから(→25)、タイマーを設定してください。
- PROG.1とPROG.2はどちらかまたは両方にタイマーの設定ができます。両方にタイマーの設定をするときは、設定する時間帯に1分以上の間隔をあけてください。

❶ 録音可能なMDをMD挿入口に入れる

❷ MODEキーを押す

- 操作を途中で間違えたときは、MODEキーを押して解除し、手順❸からやり直してください。

❸ VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して"TIMER SET"を選び、SET/DEMOキーを押す

❹ VOLUME/MULTI CONTROLつまみとSET/DEMOキーを使ってタイマー再生の設定をする

VOLUME/MULTI CONTROLつまみ:回して選びます。
SET/DEMOキー:選んだ内容を確定します。

「設定するタイマーを選ぶ→タイマーオン/オフの設定→タイマー動作の設定→開始時刻→終了時刻→タイマーの種類→録音するソース(音源)の設定→録音モードの設定」の順に設定します。

① 設定するタイマーを選ぶ
"PROG.1"または"PROG.2"を選び、SET/DEMOキーを押す

- ラジオの放送などをタイマー録音するとき、録音したい番組の放送開始時間にあわせて本機のタイマー開始時間を設定すると、番組の最初の部分が頭切れになります。
頭切れしないように録音するときは、本機の録音開始時間を番組の放送開始時間よりも1分程度早く設定してください。
録音開始時の不要部分は、MDの編集機能を使って録音終了後に消去できます。

② タイマーオン/オフの設定
"ON"を選び、SET/DEMOキーを押す

- タイマー動作を解除するときに"OFF"を選びます。

③ タイマー動作の設定
"ONETIME"または"EVERYDAY"を選び、SET/DEMOキーを押す

ONETIME : 1回だけ動作させるとき
EVERYDAY: 毎日動作させるとき

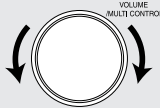
④ 開始時間の設定
「時」を設定してから「分」を設定する

⑤ 終了時刻の設定
「時」を設定してから「分」を設定する

⑥ **タイマーの種類を選ぶ**
"REC"を選び、SET/DEMOキーを押す

- PLAY：タイマー再生開始後、設定した音量で再生されます。
- AI PLAY：タイマー再生開始後、設定した音量まで徐々に大きくなります。
- REC：タイマー録音のときに選びます。

⑦ **VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して録音するときのモニター音（再生音）を調整する（現在聞いている音量は変わりません）。**

- 留守録をするときや夜中に録音をするときは、音量を"0"にしておきます。

⑧ **録音するソース（音源）の設定**
"TUNER"、"AUX"、"DIGITAL AUX"から選びます。

"TUNER"を選んだとき
続いて録音する放送局のプリセット番号を設定してから、手順❹-⑨に進みます。

"TUNER"以外をえらんだとき
手順❹-⑨に進みます。

⑨ **録音モードの設定**
"STEREO"、"LP2"、"LP4"、"MONO"から選びます。録音モードの設定が終わると、タイマーの設定が終了します。

- 録音モードについては、→68をご覧ください。

❺ **⏻（電源）キーを押して、電源をオフ（スタンバイ状態）にする**

- STANDBY/TIMERインジケーターが緑色の点灯になります。
- タイマー録音しているときは、音は出ません。音を聞くときは、音量を調整してください。
- ONETIME（1回動作）タイマーを選んだときは、1度タイマー動作を行うと解除されますが、設定は残ります。
- EVERYDAY（毎日動作）タイマーを選んでいて、一時的にタイマーを解除したいときは、手順❷～❹-②の操作をし、手順❹-②で"OFF"を選びます。再度タイマーを動作させるときは"ON"を選びます。また、タイマーの解除と再設定はリモコンを使って簡単に設定することができます。→102

タイマーの解除と再設定

一度設定したタイマーの解除と再設定を、リモコンを使って簡単に切り換えることができます。

電源がオンのとき、TIMER(タイマー)キーを押す

押すたびに切り換わります。

- ◷ 1 (VC-7DVD: ◷1):
  PROG.1(プログラム)のタイマーを動作させます。
- ◷ 2 (VC-7DVD: ◷ 2):
  PROG.2(プログラム)のタイマーを動作させます。
- ◷ 1 2 (VC-7DVD: ◷12):
  PROG.1(プログラム)とPROG.2(プログラム)のタイマーを動作させます。
- タイマー解除(タイマー表示消灯):
  設定されているタイマーを解除します。

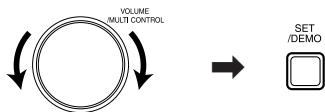
- タイマーの設定は解除しても残ります。
- 停電や電源プラグをコンセントから抜き差しすると、STANDBY/TIMER(スタンバイ/タイマー)インジケーターが緑色の点滅になります。このような場合は、もう一度時刻を合わせてから設定をやり直してください。

オートパワーセーブ機能について (Auto Power Save=A.P.S.)

電源がオンで、録音も再生もしていない状態のとき、約30分以上放置すると自動的に電源がオフ(スタンバイ)になる機能です。次の操作で、使う(ON)/使わない(OFF)を選びます。

❶ MODE(モード)キーを押す

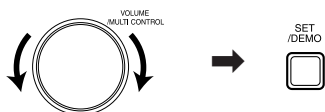
MODE

❷ VOLUME/MULTI CONTROL(ボリューム/マルチ コントロール)つまみを回して、"A.P.S." (VC-5DVD) または"AUTO POWER SAVE"(オート パワー セーブ) (VC-7DVD) を選び、SET/DEMO(セット/デモ)キーを押す

VC-5DVD

A.P.S.

VC-7DVD

AUTO POWER SAVE

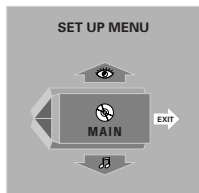
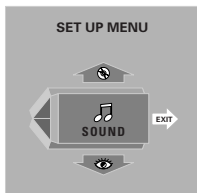
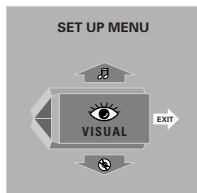
❸ VOLUME/MULTI CONTROL(ボリューム/マルチ コントロール)つまみを回して、"ON"(オン)または"OFF"(オフ)を選び、SET/DEMO(セット/デモ)キーを押す

ON(オン) : オートパワーセーブ機能が働きます。"A.P.S."表示が点灯します。
OFF(オフ): オートパワーセーブ機能は働きません。

- ソース(音源)が"TUNER"(チューナー)または"AUX"または"D-AUX"場合、音量が"0"のときに限りオートパワーセーブが働きます。
- お買い上げ時のオートパワーセーブ機能は、オフに設定されています。

DVDの初期設定を変更する

SETUP MENUを使ってDVDの初期設定を変更します。
SETUP MENUには、次の3種類があります。

"MAIN" →105

"SOUND" →107

"VISUAL" →109

視聴制限
DVDビデオの視聴制限を設定します。(視聴制限に対応したDVDビデオソフトのみ機能します。)

TV アスペクト
接続したテレビに合わせて、ワイド画面(16:9)または従来サイズ画面(4:3)の設定をします。

TV モード
接続したテレビが従来サイズ(4:3)のとき、ワイド画面で収録されているソフトを表示させる方式を設定します。

OSD 位置
OSD(On Screen Display)の表示位置を設定します。

オンスクリーンメッセージ
オンスクリーンメッセージのオン／オフを切り換えます。

IPB 表示
IPB 表示のオン／オフを切り換えます。

デジタル出力 PCMダウンサンプリング変換
96kHzのハイサンプリングレートのデジタル出力するとき、ダウンサンプリング変換する/しないを設定します。

デジタル出力 DOLBY DIGITAL
DOLBY DIGITAL 出力を設定します。

デジタル出力 DTS
DTS 出力を設定します。

デジタル出力 MPEG
MPEG 出力を設定します。

サーチ音声
サーチ中の音声のオン／オフを切り換えます。

ダイナミックレンジコントロール
ダイナミックレンジコントロール機能の切り換えをします。

プレーヤーメニュー言語
本機のメニュー画面などの表示言語を設定します。

ディスクメニュー言語
ディスクのメニュー画面の表示言語を設定します。

音声言語
ディスクの音声言語を設定します。

字幕言語
ディスクの字幕言語を設定します。

スチルモード
スチル画像のブレを押さえるときに選びます。

S 端子モード
本機の **映像出力 S1/S2ビデオ** 端子の出力信号を設定します。

SET UP MENUの基本操作

SET UP MENUの基本的な操作方法について説明します。
SET UP MENUの各画面("MAIN"、"SOUND"、"VISUAL")を使って、必要な設定を行ってください。
ソース(音源)をDVD/CDにし、停止中にリモコンを使って操作します。

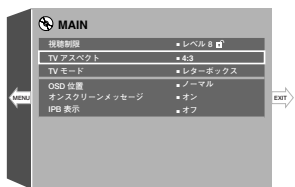
❶ SET UPキーを押す

- "SET UP MENU"画面表示中に、RETURNキーを押すか、カーソル(►)キーを押すと設定モードをキャンセルできます。
- リジューム機能が働いているときSET UPキーを押すとリジューム機能が解除されます。

❷ カーソル(▲ ▼)キーを押し変更する画面を選び、ENTER キーを押す

押すたびに切り換わります。

MAIN → 105
SOUND → 107
VISUAL → 109

❸ カーソル(▲ ▼)キーを押し変更する項目を選び、ENTER キーを押す

- Sub MENU画面表示中に、カーソル(►)キーを押すと"SET UP MENU"画面に戻ります。(RETURNキーを押すか、カーソル(◄)キーを押しても同様です)

❹ カーソル(▲ ▼)キーを押して内容を変更し、ENTER キーを押す

- 画面の"↩"を選びENTERキーを押すとSub MENU画面に戻ります。(RETURNキーを押すか、カーソル(◄)キーを押してもSub MENU画面に戻ります)
- SET UP MENUの操作を終えるときは、SET UPキーを押します。

"MAIN"の設定

接続したテレビに合わせる設定や視聴制限、オンスクリーンディスプレイの位置、オンスクリーンメッセージ 、IPB 表示の設定を行います。
操作方法は、→104 をご覧ください。

設定項目	設定内容
" 視聴制限 " （視聴レベルを変更すると暗証番号入力画面になります。→106） 初期設定値:8制限なし	**"8 制限なし" :** 成人向け、一般向け、子供向けなどすべてのDVDソフトを再生したいとき選びます。 **"7"～"1" :** 制限レベルが記録されている DVD ソフト（成人向けや暴力シーンを含むもの）は、その制限レベルに応じて再生を制限します。 **"0 すべて不可":** すべてのDVDソフトの再生を禁止したいとき選びます。たとえば、視聴制限が記録されていない成人向けDVDソフトの再生を禁止したいときなど。 **"暗証番号変更":** 暗証番号を登録した後、視聴制限の暗証番号を変更するとき選びます。（暗証番号を登録していないときは選べません） **"一時解除":** 暗証番号を登録した後、視聴制限を一時的にやめたいとき選びます。（暗証番号を登録していないときは選べません）
"TV アスペクト " 初期設定値:4:3	**"4 : 3" :** アスペクト比が4:3の従来サイズのテレビと接続したとき選びます。 **"16 : 9" :** アスペクト比が16:9のワイドサイズのテレビと接続するとき選びます。ワイドソフトはフル画面で再生されます。（テレビ側の画面モードをフルに設定してください）
"TV　モード " 初期設定値:レターボックス	**"パン & スキャン" :** パン＆スキャン指定されたワイドソフトを、パン＆スキャン画面（両側または片側の切れた画面）で再生します。ただしパン＆スキャン指定のないソフトは、レターボックスで再生します。 **"レターボックス" :** パン＆スキャン指定のないワイドソフトは、レターボックス画面（上下に黒い帯のある画面）で再生します。
"OSD 位置 " 初期設定値: ノーマル	**"ノーマル" :** テレビ画面の上部に表示させます。通常はこの設定を選びます。 **"シネマ" :** テレビ画面のやや下に表示させます。オンスクリーンディスプレイやオンスクリーンメッセージがテレビ画面からはみだしてしまうとき選びます。

設定項目	設定内容
"オンスクリーンメッセージ" 初期設定値:オン	**"オン":** オンスクリーンメッセージを表示させるときに選んでください。 **"オフ":** オンスクリーンメッセージを表示させたくないときに選んでください。
"IPB表示" 初期設定値:オフ	**"オン":** IPB表示をするときに選びます。 **"オフ":** IPB表示をしないときに選びます。

暗証番号を入力する

- **プログラム再生モードのとき、"視聴制限"を設定することができません。プログラム再生を解除(→44)してから、"視聴制限"操作を行ってください。**

暗証番号を設定していないとき:

❶ カーソルキー(▲ ▼)を押して、視聴レベル"0"～"7"を選び、ENTER(エンター)キーを押す

❷ 数字キーで暗証番号を入力し、ENTER(エンター)キーを押す

- 数字を間違って入力したときは、CLEAR(クリアー)/DEL.(デリート)キーを押し、最初から入力し直します。

❸ 登録した暗証番号はメモをとり大切に保管してから、ENTER(エンター)キーを押す

- 暗証番号が登録されました。

暗証番号を変更するとき:

❶ カーソルキー(▲ ▼)を押して"暗証番号変更"を選びENTER(エンター)キーを押す

❷ 数字キーで現在設定されている暗証番号を入力し、ENTER(エンター)キーを押す

- 数字を間違って入力したときは、CLEAR(クリアー)/DEL.(デリート)キーを押し、最初から入力し直します。

❸ 新しい暗証番号4桁を入力し、ENTER(エンター)キーを押す

❹ 入力した暗証番号はメモをとり大切に保管してから、ENTER(エンター)キーを押す

- 暗証番号が変更されました。

"SOUND"の設定

本機のデジタル音声出力端子に関連システム機器を接続したときの音声出力方式を設定します。またDVDやビデオCDのサーチ中の音声出力、ダイナミックレンジコントロール機能の設定を行います。

設定項目	設定内容
"デジタル出力 PCM ダウンサンプリング変換" 初期設定値:オン	**"オン":**96kHzのハイサンプリングレートのデジタル出力をするとき、48 kHz/16bitのPCMにダウンコンバージョンして出力します。接続したAVアンプが96 kHzのデジタル入力に対応していないとき選びます。 **"オフ":**ダウンコンバージョンしません。接続したAVアンプが96 kHzのデジタル入力に対応しているとき選びます。ただし、ディスクが96 kHzのデジタル出力を禁止している場合は、ダウンコンバージョンして出力します。
"デジタル出力 DOLBY DIGITAL" *1 初期設定値:ビットストリーム	**"ビットストリーム":**ビットストリームで出力します。ドルビーデジタルデコーダーと接続するとき選びます。 **"PCM" :** 48 kHz(2ch.)のPCMに変換をして出力します。ドルビーデジタルデコーダーと接続していないとき選びます。
"デジタル出力 DTS" *1 初期設定値:ビットストリーム	**"ビットストリーム":**ビットストリームで出力します。DTSデコーダーと接続するとき選びます。 **"PCM":**48 kHz(2ch.)のPCMに変換をして出力します。DTSデコーダーと接続していないとき選びます。
"デジタル出力MPEG"*1 初期設定値:ビットストリーム	**"ビットストリーム":**ビットストリームで出力します。MPEGデコーダーと接続するとき選びます。 **"PCM":**48 kHz(2ch.)のPCMに変換して出力します。MPEGデコーダーと接続していないとき選びます。

***1** ドルビーデジタルデコーダー/DTSデコーダー/MPEGコーダー以外の機器を接続するときは、**"PCM"**に設定してください。**"ビットストリーム"** に設定すると、耳を刺激するような雑音が発生し、スピーカーを破損するおそれがあります。

設定項目	設定内容
" サーチ音声 " 初期設定値:オン	**"オン"**:早送りの速度が一段階のとき、音声が出力されます。 **"オフ"**:早送り中に音声を出力しないとき選びます。
" ダイナミックレンジコントロール " 初期設定値:ノーマル	**"ワイド"**:ディスクの音声レベルで再生します。 **"ノーマル"**:最大音量と最小音量の差が少なくなります。 **"ミッドナイト"**:最大音量と最小音量の差がさらに少なくなります。深夜など、小音量で再生するとき選んでください。

"VISUAL"の設定

本機の"SET UP MENU"画面の表示言語やディスクのメニュー画面の表示言語、音声言語、字幕言語などを変更するとき選びます。(選んだ言語がそのDVDディスクにないときは、ディスクで決められている言語になります。また、ディスクのメニュー画面で各言語設定を行うソフトの場合は、ディスクのメニュー画面で設定にした言語になります。)
また、スチルモード、S 端子モードの設定を行います。
操作方法は →104 をご覧ください。

設定項目	設定内容
"プレーヤーメニュー言語" 初期設定値:日本語	**"英語":** 英語で表示するとき選びます。 **"フランス語":** フランス語で表示するとき選びます。 **"スペイン語":** スペイン語で表示するとき選びます。 **"ドイツ語":** ドイツ語で表示するとき選びます。 **"イタリア語":** イタリア語で表示するとき選びます。 **"日本語":** 日本語で表示するとき選びます。 **"簡体字中国語":** 簡体字中国語で表示するとき選びます。 **"繁体字中国語":** 繁体字中国語で表示するとき選びます。
"ディスクメニュー言語" 初期設定値:日本語	**"英語":** 英語で表示するとき選びます。 **"日本語":** 日本語で表示するとき選びます。 **"その他 _ _ _ _":"ディスクの言語コード表"** のコード番号で言語を指定するとき選びます。→111
"音声言語" 初期設定値:日本語	**"オリジナル":** ディスク側で設定されている優先言語で再生するとき選びます。 **"英語":** 英語で再生するとき選びます。 **"日本語":** 日本語で再生するとき選びます。 **"その他 _ _ _ _":"ディスクの言語コード表"** のコード番号で言語を指定するとき選びます。→111

設定項目	設定内容
" 字幕言語 " 初期設定値:オート	**"オート" : "音声言語"**の設定に応じて、字幕言語を自動設定するとき選びます。 **音声言語と字幕言語の設定が一致するとき** **"音声言語"**で設定した言語で再生されたときは、字幕を表示しません。 **音声言語と字幕言語の設定が異なるとき** **"音声言語"**で設定した言語で再生されなかったときは、**"音声言語"**で設定した言語の字幕を表示します。 **"英語" :** 英語字幕を表示します。 **"日本語" :** 日本語字幕を表示します。 **"その他 _ _ _ _" : "ディスクの言語コード表"**のコード番号で言語を指定するとき選びます。 →111
" スチルモード " 初期設定値:オート	**"オート" :** フレームスチルまたはフィールドスチルを自動的に切り換えるとき選びます。通常はこの設定にしてください。 **"フレーム" :** スチル映像の画質を良くしたいとき選びます。(フィールド、スチル映像が交互に映し出されます。映像はブレます) **"フィールド" :** スチル映像をブレないようにするとき選びます。(映像情報はフレームの半分になります。画質は荒くなります)
"S 端子モード " 初期設定値:ノーマル	**"ノーマル" :** Sビデオで接続したとき選びます。 Sビデオ接続するときは、本機の**映像出力S1/S2 ビデオ**端子に接続し、**"ノーマル"**に切り換えてください。 **"S1" :** S1ビデオで接続したとき選びます。 S1ビデオ接続するときは、本機の**映像出力S1/S2 ビデオ**端子に接続し、**"S1"** に切り換えてください。 **"S2" :** S2ビデオで接続したとき選びます。 S2ビデオ接続するときは、本機の**映像出力S1/S2 ビデオ**端子に接続し、**"S2"** に切り換えてください。

ディスクの言語コード表

コード番号	言語
6565	アファル
6566	アブハジア
6570	アフリカーンス
6577	アムハラ
6582	アラビア
6583	アッサム
6588	アイマラ
6590	アゼルバイジャン
6665	バシキール
6669	ベルロシア（白ロシア）
6671	ブルガリア
6672	ビハール
6678	ベンガル（バングラ）
6679	チベット
6682	ブルターニュ
6765	カタロニア
6779	コルシカ
6783	チェコ
6789	ウェールズ
6865	デンマーク
6869	ドイツ
6890	ブータン
6976	ギリシャ
6978	英語
6979	エスペラント
6983	スペイン
6984	エストニア
6985	バスク
7065	ペルシャ
7073	フィンランド
7074	フィジー
7079	フェロー
7082	フランス
7089	フリジア
7165	アイルランド
7168	スコットランド（ゲール）
7176	ガリチア
7178	グアラニー
7185	グジャラト
7265	ハウサ
7273	ヒンディー
7282	クロアチア
7285	ハンガリー
7289	アルメニア
7365	インターリングア
7378	インドネシア
7383	アイスランド

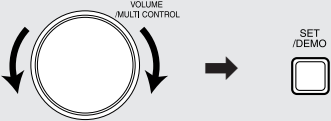
コード番号	言語
7384	イタリア
7387	ヘブライ
7465	日本語
7473	イディッシュ
7487	ジャワ
7565	グルジア
7575	カザフ
7576	グリーンランド
7577	カンボジア
7578	カンナダ
7579	韓国（朝鮮）語
7583	カシミール
7585	クルド
7589	キルギス
7665	ラテン
7678	リンガラ
7679	ラオ
7684	リトアニア
7686	ラトビア（レット）
7771	マダガスカル
7773	マオリ
7775	マケドニア
7776	マラヤーラム
7778	モンゴル
7779	モルダビア
7782	マラッタ
7783	マライ（マレー）
7784	マルタ
7789	ビルマ
7865	ナウル
7869	ネパール
7876	オランダ
7879	ノルウェー
7982	オーリャ
8065	パンジャブ
8076	ポーランド
8083	パトシュ
8084	ポルトガル
8185	ケチュア
8277	レトロマンス
8279	ルーマニア
8285	ロシア
8365	サンスクリット
8368	シンド
8372	セルボクロアチア
8373	シンハラ
8375	スロバキア
8376	スロベニア
8377	サモア

コード番号	言語
8378	ショナ
8379	ソマリ
8381	アルバニア
8382	セルビア
8385	スンダ
8386	スウェーデン
8387	スワヒリ
8465	タミル
8469	テルグ
8471	タジク
8472	タイ
8473	ティグリニア
8475	トルクメン
8476	タガログ
8479	トンガ
8482	トルコ
8484	タタール
8487	トウイ
8575	ウクライナ
8582	ウルドゥー
8590	ウズベク
8673	ベトナム
8679	ヴォラピュック
8779	ウォロフ
8872	コーサ
8979	ヨルバ
9072	中国語
9085	ズールー

VC-7DVDだけの機能

VC-7DVDだけの機能について説明します。

VC-7DVDだけの機能には、次のようなものがあります。

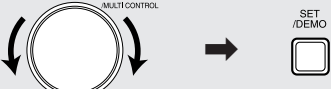
- 表示部のバックライトの調整 →112
- 表示部のコントラストの調整 →113
- サラウンドチャンネルの調整 →113
- 全角文字（ひらがな・漢字）を使ってMDにタイトルをつける →114
- USB接続したパソコンからの音を聞く →117
- Net MD機能 →120

バックライトを調整する

表示部のバックライトを調整します。本体を使って操作します。

❶ MODEキーを押す

❷ VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して"BACK LIGHT"を選び、SET/DEMOキーを押す

❸ VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して"HIGH"または"LOW"を選ぶ

"HIGH"　：バックライトを明るくします。
"LOW"　：バックライトを暗くします。

❹ SET/DEMOキーを押す

コントラストを調整する

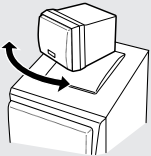
表示部の色合いの濃さを調整します。本体を使って操作します。

❶ MODEキーを押す

❷ VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して"CONTRAST"を選び、SET/DEMOキーを押す

❸ VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して表示部の色合いの濃さを調整する

❹ SET/DEMOキーを押す

● "0"～"15"の範囲で調整できます。

サラウンドチャンネルを調整する（V.F.S.）

VC-7DVDのスピーカーの上部は、左右45°ずつ回転が可能なサラウンドスピーカーがついています。
サラウンドスピーカーの角度や音量を調整して、お好みのサラウンド効果をお楽しみください。
音声を聞きながら操作してください。

❶ リモコンのV.F.S.キーを押す

押すたびに切り換わります

CINEMA 1
CINEMA 2
LIVE
OFF

❷ サラウンドスピーカーの角度を調整する

● サラウンドスピーカーは左右45°ずつ90°の範囲で角度を変えることができます。
● サラウンドスピーカーとスピーカーの向きの基本は、正面向きです。本機を設置している状況によって異なります。
左右のスピーカーが本機をはさむように近くに設置されているときは、サラウンドスピーカーを外側に向けるとサラウンド効果が得られます。
左右のスピーカーが離れて設置されているときは、サラウンドスピーカーを少し内側に向けるとサラウンド効果が得られます。
よりサラウンド効果が得られる向きに、サラウンドスピーカーを調整してください。

❸ サラウンドスピーカーの音量を調整する
① 本体のMODEキーを押す
② VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して"SURR. VOLUME"を選び、SET/DEMOキーを押す
③ VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回してサラウンドチャンネルの音量を調整する
④ SET/DEMOキーを押す

● サラウンドチャンネルの調整は、リスニングポジションで音を聞きながら行ってください。
● 本体のVOLUME/MULTI CONTROLやリモコンのVOLUMEキーを使って音量を調整するとサラウンドチャンネルの音量も変わります。また、バランスの調整をしたときもサラウンドチャンネルの音量も変わります。

全角文字（ひらがな・漢字）を使ってMDにタイトルをつける

VC-7DVDでは、漢字やひらがななどの全角文字を使ってタイトルをつけることができます。ただし、全角文字と半角文字を一緒に使ったタイトルをつけることができません。

● プログラム再生のときは、タイトルをつけることができません。プログラム再生のモードを解除してから操作してください。→63

❶ タイトルを入力するMDを入れ、ソース（音源）をMDにする

グループにタイトルをつけるとき
グループ再生モードにし、タイトルをつけるグループを選ぶ。（"MDのグループ再生"の手順❶〜❹ →62）

❷ TITLE INPUT（タイトル インプット）キーを押す

❸ |◀◀または▶▶|キーを押して、"漢字エリア"を選び、SET（セット）キーを押す

❹ |◀◀または▶▶|キーを押して、"DISC（ディスク）"または曲番号を選ぶ

押すたびに次のように変わります。

DISC（GROUP）.... ディスクタイトル（グループタイトル）
001 .... 曲番号（キーを押すたびに変わります）
002
:

❺ SET（セット）キーを押す

❻ 文字を入力する
「全角文字の入力方法」右ページの説明をご覧ください。

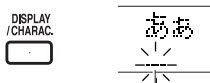
❼ ENTER（エンター）キーを押す

入力したタイトルが書き込まれます。
● 続けてタイトル入力するときは、次の手順から操作します。
ディスクや曲タイトル
手順❹から操作します。
別のグループタイトル
手順❽の操作のあと、タイトル入力したいグループを選びます。（"MDのグループ再生"の手順❶〜❹ →62）

❽ TITLE INPUT（タイトル インプット）キーを押す
タイトル入力を終了します。

❾ 本体のMD▲キーを押してMDを取り出す
タイトルがMDに記録されます。

全角文字の入力方法

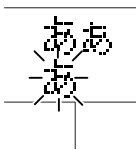
❶ DISPLAY/CHARAC.キーを押して文字グループを選ぶ

入力される場所(カーソル点滅)

キーを押すたびに、次のように文字クループが切り換わります。

あぁグループ	全角ひらがなと全角記号
アァ グループ	全角カタカナと全角記号
Aa グループ	全角アルファベットと全角記号
12 グループ	全角数字と全角記号
区点コード[*****]	区点コードを使った文字入力

❷ 数字キーを押して文字を選ぶ

同じキーを繰り返し押すと文字が変わります。
例:[2]を押したとき
A→B→C→a→b→c
と変わります。

スペース(1文字分の空白)を入れるときは、TIME/SPACEキーを押します。

入力した文字とカーソルが交互に表示される

❸ SETキーを押して、文字を確定する

❹ 手順❶〜❸を繰り返す

全角文字で入力できる文字については、**"タイトル編集全角文字一覧表"**(→116)をご覧ください。

ひらがなから漢字を入力する

例:「加」をいう漢字を入力するとき

① DISPLAY/CHARAC.キーを押して"あぁ"(全角ひらがな)文字グループを選ぶ

② 数字キー(2キー)を押して、「か」を選ぶ
- 入力したい漢字の音読みの最初の文字を選びます。

③ ⏮または⏭キーを押して「加」を選ぶ
- ⏮または⏭キーを押すたびに、「か」で始まる漢字が表示されます。

区点コードから漢字を入力する

① DISPLAY/CHARAC.キーを押して"区点コード[*****]"文字グループを選ぶ

② 入力したい漢字の区点コード5桁を数字キーを使って入力する
- 区点コードについては、区点コード表(→129〜→136)を参照してください。
  漢字以外の文字も区点コードを使って入力することができます。

カーソルを移動するとき

◀◀または▶▶キーを押す。

文字を間違えたとき

CLEAR/DEL.キーを押す。

文字を消去するとき

❶ ◀◀または▶▶キーを押して、カーソルを変更したい文字に合わせる

❷ CLEAR/DEL.キーを押して文字を削除する

文字を挿入するとき

❶ ◀◀または▶▶キーを押して、挿入したい場所の直後の文字にカーソルを合わせる

❷ 文字を入れる

タイトル編集全角文字一覧表

次のようなカタカナ文字やアルファベット文字、各種記号などを選ぶことができます。

グループ / キー	“Aa”	“1 2”	“アァ”	“あぁ”
1ア		1	ア イ ウ エ オ ァ ィ ゥ ェ ォ	あ い う え お ぁ ぃ ぅ ぇ ぉ
2カABC	A B C a b c	2	カ キ ク ケ コ	か き く け こ
3サDEF	D E F d e f	3	サ シ ス セ ソ	さ し す せ そ
4タGHI	G H I g h i	4	タ チ ツ テ ト ッ	た ち つ て と っ
5ナJKL	J K L j k l	5	ナ ニ ヌ ネ ノ	な に ぬ ね の
6ハMNO	M N O m n o	6	ハ ヒ フ ヘ ホ	は ひ ふ へ ほ
7マPQRS	P Q R S p q r s	7	マ ミ ム メ モ	ま み む め も
8ヤTUV	T U V t u v	8	ヤ ユ ヨ ャ ュ ョ	や ゆ よ ゃ ゅ ょ
9ラWXYZ	W X Y Z w x y z	9	ラ リ ル レ ロ	ら り る れ ろ
0ワヲン゛゜		0	゛ ゜ ワ ヲ ン	゛ ゜ わ を ん
+10 記号	’ , : ? ! ; . ” _ ‘ $ ^			
+100 記号	& ( ) - / + * = < > # % @			

USB接続したパソコンからの音を聞く

USBケーブルで接続したパソコンからの音を聞きます。

- 使用できるパソコンは、"接続するパソコンの環境"をご覧ください。→122
- USB端子を使って初めて本機とパソコンに接続したときだけドライバのインストールが必要です。"ドライバをインストールする"をご覧ください。→117
- 本機は、48kHz、44.1kHz、32kHzのサンプリング周波数に対応し、16bitリニアPCMステレオおよびモノラル信号の再生ができます。

❶ 本機とパソコンの電源を入れる

❷ 本機とパソコンをUSBケーブルで接続する

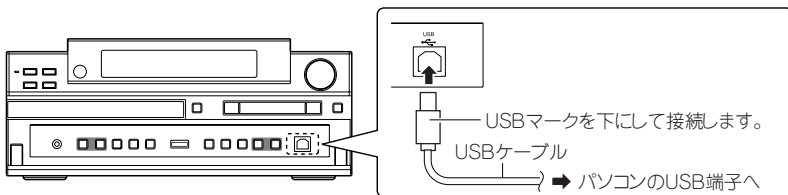
- USBケーブルは、本機およびパソコンの電源のオン／オフに関わらず抜き差しできます

❸ 本機のソース（音源）を"USB"にする →57

❹ パソコンで再生操作をし、本機で音量などの調整をする

パソコンとの接続

パソコンのUSB端子とVC-7DVDのUSB端子をUSBケーブルで接続します。

- USB HUBを経由せずに、直接USB端子間を接続してください。
- MD録音中に、USBケーブルを抜き差ししないでください。

ドライバをインストールする

USB端子を使って初めて本機とパソコンを接続したときだけドライバのインストールが必要です。ドライバのインストールはパソコンを操作して行います。

Windows®日本語版が、正しく起動できることを確認してください。

本機に対応するソフトウェアドライバはWindows®に標準添付されていますので、Windows®のCD-ROMが必要になる場合があります。あらかじめWindows®のCD-ROMを用意しておいてください。

また、CD- ROM ドライブも使用できることを確認してください。（Windows®プリインストールモデルでは、ハードディスクの中に用意されていることもあります）

インストールする前に、パソコンのBIOS 設定の次の項目を確認してください。

- USB 機能が「使用する」に設定されている。
- USB IRQ が「AUTO」または使用可能なIRQ 番号に設定されている。
  上記の設定が正しく行われていないと、本機が正しく認識されず、動作しないことがあります。

パソコン本体、マザーボードによっては上記の設定項目がないものもあります。設定項目の有無や設定方法については、パソコン本体またはマザーボードの取扱説明書をご覧ください。

ドライバのインストール

❶ パソコンの電源を入れWindowsを起動する

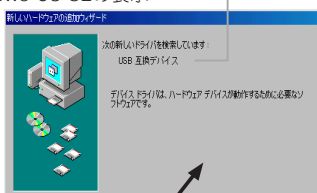
❷ 本機の電源を入れ、USBケーブルを使ってパソコンと接続する →117

- 自動的に本機が検出されます。
- パソコンが本機を検出中は、USBケーブルを抜き差ししないでください。
- 数秒間待っても本機が検出されないときは、USBケーブルをもう一度接続し直します。それでも検出されないときは、Windowsを再起動します。
- Windows®98SEをお使いの方は手順❸に進んでください。それ以外のOSをお使いの方は、自動的にインストールされて終了します。

❸ 画面の指示にしたがってインストールする

- 「USB 互換デバイス」→「USB ヒューマンインターフェイスデバイス」→「USBオーディオデバイス」のインストールが続けて行われます。

USB互換デバイス、またはUSBオーディオデバイスと表示されます。

例：Windows®98 SEの表示

[次へ] をクリックしていきます。
[次へ] がクリックできないときやパソコンの画面に指示が出ているときは、その指示にしたがった操作をしてください。

必要条件を満たすパソコンでも、パソコン固有の仕様やお客様の使用環境の違いにより、本機が正常に動作しなかったり、正しい音質で再生されない場合があります。

正しくインストールできているか確認する

「USB オーディオデバイス」、「USB 互換デバイス」がインストールされていることを確認します。
ここでは、Windows®98 SEで説明しています。

❶ [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]→[デバイスマネージャ]を開く

- パソコンによっては、BIOS設定にて、USBを有効にする必要があります。詳しくはお使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

❷ 各項目の「十」をクリックして、それぞれの項目内のデバイスを確認する

- 「サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ」項目の中に「USBオーディオデバイス」があること、「ユニバーサルシリアルバス コントローラ」項目の中に「USB互換デバイス」があることを確認してください。

例：Windows®98 SEの表示

「+」

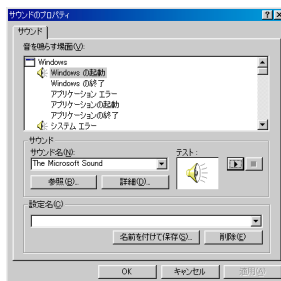
インストールした2種類のUSB デバイスは、本機の電源が入っていてUSB ケーブルで接続しているときだけ「デバイスマネージャ」に現れます。本機を接続していないときは、「デバイスマネージャ」には現れないのでご注意ください。

パソコンからの音声信号が再生されるか確認する

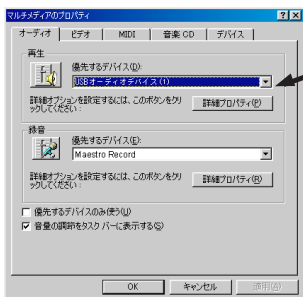
❶ 本機の音量を適当な音量に合わせる

❷ [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[サウンド]を開く

❸「Windows の起動」を選んでから、再生ボタンをクリックする

例：Windows®98 SEの表示

● 本機から「Windows の起動」音が聞こえてくれば、ドライバのインストールは終了です。

「Windows の起動」音が聞こえてこないときは、次のことを確認してみてください。

● [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[マルチメディア]を開き、「優先するデバイス」が「USBオーディオ デバイス」になっているか確認します。
「USB オーディオ デバイス」になっていないときは、▼をクリックしてプルダウンメニューの中から「USBオーディオ デバイス」を選びます。

他のサウンドカードから音を出すときもここを変更します。

● [スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[エンターテイメント]→[ボリュームコントロール]を開き、音量が最小になっていたり、「ミュート」にクリックマークがついていないかを確認します。
音量が最小になっているときは音量を上げ、「ミュート」にクリックマークが付いているときは、マークをクリックしてクリックマークをはずします。

使用中に問題があるときは、次のことを確認してみてください。

本機が認識されない：
● USBケーブルで本機とパソコンをしっかり接続します。
● USBハブを使って接続しているときは、ハブが正しく動作しているか確認してください。または接続するポートを変えてみてください。

音が出ないまたは小さい：
● ボリュームコントロールの設定が違っていないか、優先するデバイス、ミュートを確認してください。

音が途切れる：
● 音声出力中、CPUに負担のかかる作業をしているときは、音が途切れることがあります。CPUに負担のかかる作業は控えてください。
● 音声出力中に他のUSBケーブルの抜き差しをすると、音が途切れることがあります。音声の再生中に、他の機器のUSBケーブルを抜き差ししないでください。

雑音が多い：
● 本機が強い電磁波を発生するもの（テレビなど）の近くに置かれていると雑音が多くなることがあります。強い電磁波を発生するものから十分に離して設置してください。

MuliaとNet MD

付属ソフトウェア「Mulia」は、デジタル音楽コンテンツの利用と音楽著作権管理をするソフトウェアです。
パソコンのCDドライブを使って音楽CDの再生・録音や、音楽配信サービスを利用して収集した音楽ファイルをパソコンのハードディスクに保存、また保存した音楽ファイルの再生、編集のほかに外部機器やメディアへ転送することもできます。
VC-7DVDと組み合わせると、Net MD機能が働きます。
Net MD機能は、パソコンに保存した音楽ファイルをVC-7DVDのMDに転送（チェックアウト機能）したり、MDに転送された音楽ファイルをパソコンの「Mulia」のライブラリーに戻す（チェックイン機能）ことができます。
音楽著作権管理機能は、チェックイン／チェックアウト時に働きます。
また、Net MD機能がオンのとき「Mulia」を操作すると、VC-7DVDのMDに次の操作ができます。

- タイトル入力（半角/全角文字）、タイトル編集
- トラック編集、グループ編集
- 本体MD再生機能の操作

「Mulia」および「Mulia」を利用したNet MD機能の詳しい使い方は、オンラインヘルプを参照してください。

- 「Mulia」を使って、VC-7DVDのディスク（CDなど）の音声をパソコンに録音することはできません。
- 市販MDソフトや録音済みMDの記録内容（曲）をパソコンに取り込みことはできません。

Net MDを使う

準備

- あらかじめパソコンに「Mulia」のインストールが必要です。→123
- 接続するパソコンのUSBに関する設定を確認します。→119

Net MD機能をオンにする操作

❶ パソコン側の準備を確認

❷ パソコンのソフト「Mulia」を起動する

- Muliaが起動してから手順❸の操作をしてください。

❸ パソコンと本体をUSBケーブルで接続する

- 本体表示部の"（USBマーク）"（USBマーク）表示が点灯します。

❹ MD ▶/❚❚キーを押して、ソース（音源）をMDにする

❺ STOP（ストップ）■キーを押してMDを停止させる

❻ 本体のMD RECキーを押す

- Net MDインジケーターが点灯します。
- 本体表示部に"Net MD"と表示されます。

❼「Mulia」を使って操作する

- 「Mulia」を使ってMDを操作するときは、MDを本体に入れておきます。

Net MD機能をオフにする操作

本体のMD RECキーを押す

Net MD（Mulia）の注意

USB接続について

- 必ず「Mulia」をパソコンにインストールしてからVC-7DVDに接続してください。
- 本体表示窓に「Net MD」が点滅中は、コードは抜かないでください。
- USBハブや延長ケーブルは使用しないでください。
- パソコンがVC-7DVDを認識するまでに、時間がかかることがあります。
- MD録音中に、USBケーブルを抜き差ししないでください。

電源について

- 「Mulia」が起動中は、VC-7DVDの電源は切らないでください。

パソコンの省電力モード設定について

- 「Mulia」起動中、Net MD機能がオンで、MDがVC-7DVDに入ってるとき、パソコンは省電力モードに移りません。

他のアプリケーションを使う

- 他の音楽管理アプリケーションと「Mulia」を同時に使用すると、正しく動作しないことがあります。

格納ディレクトリについて

- 「Mulia」をインストールしたフォルダや音楽データを格納しているフォルダは、エクスプローラーなどで操作しないでください。
- 「Mulia」をインストールしたフォルダや音楽データを格納しているフォルダがあるハードディスクのドライブ名は、変更しないでください。
- 静電気などのノイズの影響を受けるところで使用すると、データが破損する可能性があります。

接続するパソコンの環境（Net MD）

「Mulia」を使用するには、次のハードウェアとソフトウェアが必要です。インストールをする前に確認してください。

	必要条件	備考
オペレーティングシステム	Windows 98 Second Edition/ Windows Millennium Edition/ Windows 2000 Professional/ Windows XP Home Edition/ Windows XP Professional	Windows 95 / Windows 98 / Windows NT / Windows 2000（Serverなど）では動作保証しません。
本体	上記オペレーティングシステムのいずれかを正式にサポートしているIBM PC/AT互換機（日本語版のみ）	Macintoshでは動作しません。
CPU	MMX Pentium 233MHz以上 PentiumⅡ400MHz以上推奨	CD録音やファイルをインポートしているとき、またはチェックイン/チェックアウト（用語説明→127）をしているときは、パソコンの処理能力によって再生音が途切れることがあります。
メモリ	64MB以上	
ハードディスク空き容量	150MB以上	Windowsのバージョンによって異なります。 音楽データを記録・再生するための空き容量が別途必要です。
ディスプレイ	High Color（16bit）以上 800×600ドット以上	256色以下では、正常に動作しない場合があります。
サウンドボード	Windows 98 Second Edition/ Windows Millennium Edition/ Windows 2000 Professional/ Windows XP Home Edition/ Windows XP Professional 対応のサウンドボード	
その他	USBポート （USB規格Ver.1.1に準拠）	USBハブで拡張されたUSBポートは動作保証しません。
	CD-ROMドライブ	CD-ROMドライブによっては、CDからの録音が正しくできない場合があります。 USBで接続したCD-ROMドライブからの録音は動作保証しません。
	Internet Explorer 5.0以降、 Windows Media Player 7.0以降	Windows Media Player 7.0以前のものをお使いの場合は、アップグレードを行ってください。

上記環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。

Windows 2000 Professional/Windows XP Home Edition/Windows XP Professionalをお使いの場合
Windows 2000 Professional/Windows XP Home Edition/Windows XP Professionalで「Mulia」を動作させる場合は、以下の制限があります。

- Windowsドメインユーザーアカウントから、ログオンして使用することはできません。
- インストールは、管理者権限（Administrator）の権限で行ってください。
  管理者権限（Administrator）のあるユーザーでも、全角のユーザー名でログオンすると、インストールが失敗することがあります。その場合は、いったんログオフして管理者権限（Administrator）のユーザー名でログオンし、「Mulia」をアンインストール（→124）してから、再度、管理者権限（Administrator）のユーザー名でログオンして、インストールを実行してください。
- 「Mulia」を使用するときは、管理者権限（Administrator）および標準ユーザー権限（Power User）のユーザー名でログオンして実行してください。
- Windows 98 Second Edition、またはWindows Millennium Editionとデュアルブート環境にしている場合に、両方のOSに「Mulia」をインストールすると、データが正しく記録・再生できません。
- NTFSフォーマットは標準インストール（お買い上げ時）でのみお使いになれます。

付属アプリケーション「Mulia」のインストール

使用中のソフトウェアは、全て終了します。
付属アプリケーション「Mulia」のインストールは、本機とパソコンをUSBケーブル接続しない状態でおこないます。
Net MDドライバーのインストールは、付属アプリケーション「Mulia」をインストールしたあとに自動的におこなわれます。

❶ 添付の「Muliaインストール用CD-ROM」をCD-ROMドライブに入れる

- インストーラーが自動的に起動して、[Muliaインストール]画面が表示されます。
  [Muliaインストール]画面が表示されないときは、デスクトップの[マイコンピュータ]アイコンをダブルクリックし、「Muliaインストール用CD-ROM」が挿入されているCD-ROMドライブをダブルクリックしてください。
- 「古いバージョンのOpenMG JukeboxまたはSonicStageが検出されました。」と画面に表示された場合は、[はい]ボタンをクリックし、次ページの「OpenMGのアップグレード」を参照して「OpenMG Jukebox」、または「SonicStage」のアップグレードを行ってください。

❷ 「Muliaインストール」画面の[開始]ボタンをクリックする

- ウィザードが起動します。

❸ ウィザード画面に表示される指示に従って操作する

- ウィザード画面は以下のように切り換わります。
  「セットアップステータス」画面
  「Mulia用のInstallShieldウィザードへようこそ」画面
  「使用許諾契約」画面
  「インストール先の選択」画面
  「セットアップステータス」画面
  「InstallShieldウィザードの完了」画面
  「Net MDドライバ用のInstallShieldウィザードへようこそ」画面
  「セットアップステータス」画面
  「InstallShieldウィザードの完了」画面
- 「Mulia」インストール先は「Program Files」に設定されます。変更する場合はウィザード画面「インストール先の選択」にて行います。同画面内の「参照」ボタンをクリックし、画面の指示に従ってください。

❹ 「インストールが完了しました。PCを再起動します。」と画面に表示されたら、[OK]ボタンをクリックし、再起動する

- Windows 2000 Professional/Windows XP Home Edition/Windows XP Professionalをお使いの場合は、管理者権限(Administrator)のユーザー名でログオンして実行してください。
- 「Mulia」をインストールすると、以下のモジュールが追加されます。
  Microsoft® Data Access Components 2.5
  ©1981-1997 Microsoft Corporation.
  All rights reserved.
  Microsoft® DirectX® Media Runtime
  ©1998 Microsoft Corporation.
  All rights reserved.
  「Mulia」をアンインストールしても、上記のモジュールは削除されません。
- 「Mulia」をアンインストールしても、「Mulia」データの保存先として指定したフォルダには、「Mulia」で編集したデータが残ります。

OpenMGのアップグレード

古いバージョンの「OpenMG Jukebox」または「SonicStage」がインストールされている場合は、OpenMGのアップグレードを行います。

❶「OpenMG Jukebox Ver.1.X／2.0／2.1」でチェックアウトした曲をチェックインする

❷ バックアップツールで、曲データのバックアップを行う

- バックアップの方法は、「OpenMG Jukebox」のオンラインヘルプを参照してください。

❸ 添付の「Muliaインストール用CD-ROM」をCD-ROMドライブに入れる

- インストーラーが自動的に起動して、[Muliaインストール]画面が表示されます。
- [Muliaインストール]画面が表示されないときは、デスクトップの[マイコンピュータ]アイコンをダブルクリックし、「Muliaインストール用CD-ROM」が挿入されているCD-ROMドライブをダブルクリックしてください。

❹[Open MG Jukebox 2.2へのアップグレード]ボタンをクリックする

❺[はい]ボタンをクリックする

- 「ロックされたファイルの検出」と画面に表示された場合は、[無視]ボタンをクリックしてください。

❻以降、画面に表示される指示に従って操作する

❼アップグレードが終了したら、"付属アプリケーション「Mulia」のインストール"(→ 123)を実行する

付属アプリケーション「Mulia」のアンインストール（削除）

「Mulia」が不要になった場合は、プログラムを削除します。

❶ [スタート]ー[プログラム]ー[Mulia]ー[アンインストール]をクリックする

- アンインストーラが起動します。

❷ 以降、画面に表示される指示に従って、アンインストールを実行する

Windows 2000 Professional/Windows XP Home Edition/Windows XP Professionalをお使いの場合は、管理者権限（Administrator）のユーザー名でログオンして実行してください。

商標について

- Copyright 2001-2002 KENWOOD CORPORATION
- MuliaおよびSupremeは、株式会社ケンウッドの商標です。
- OpenMG
  OpenMG および Sonic Stage はソニー株式会社の商標です。
  (Sonic Stageはソニー株式会社製パーソナルコンピュータ「バイオ」にプリインストールされているソフトウェアです)
  その他のシステム名、製品名は、一般的に各開発メーカーの商標または登録商標です。なお、本文中では ™、® マークは明記していません。
- MicrosoftおよびWindows, Windows NT, Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
- MMXおよびPentiumはIntel Corporationの商標または登録商標です。

- **libdes version 3.18**

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in thedocumentation and／or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by Eric Young. (eay@mincom.oz.au)
   This software is provided by Eric Young "As is" and any express or implied warranties, including, but not limited to, the implied warranties of merchantability and fitness for a particular purpose are disclaimed. In no event shall the author or contributors be liable for any direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages (including, but not limited to, procurement of substitute goods or services; loss of use, data, or profits; or business interruption) however caused and on any theory of liability, whether in contract, strict liability, or tort (including negligence or otherwise) arising in any way out of the use of this software, even if advised of the possibility of such damage.

Gracenote is CDDB, Inc. d/b/a "Gracenote".CD and music- related data from Gracenote CDDB®,Music Recognition Service℠ © 2000, 2001, 2002 Gracenote. Gracenote CDDB Client Software © 2000, 2001,2002 Gracenote. U.S. Patents Numbers #5,987,525; #6,061,680; #6,154,773, and other patents issued or pending.
CDDB is a registered trademark of Gracenote.The Gracenote logo and logotype,the Gracenote CDDB logo and logotype,and the "Powered by Gracenote CDDB" logo are trademarks of Gracenote. Music Recognition Service and MRS are service marks of Gracenote.Music recognition technology and related data are provided by Gracenote and the Gracenote CDDB® Music Recognition Service℠. Gracenote is the industry standard in music recognition technology and related content delivery. For more information visit www.gracenote.com.

Gracenote は、CDDB, Inc. であり、Gracenote として営業しています。(d/b/a "Gracenote")
Gracenote CDDB® Music Recognition Service℠ から取得する CD および音楽関連データ © 2000、2001、2002 Gracenote。Gracenote CDDB クライアントソフトウェア © 2000、2001、2002。米国特許番号 #5,987,525、#6,061,680、#6,154,773。その他の特許も取得済または申請中。
CDDBはGracenoteの登録商標です。Gracenote ロゴおよびロゴタイプ、Gracenote CDDB ロゴおよびロゴタイプ、ならびに "Powered by Gracenote CDDB" ロゴは、Gracenote の商標です。音楽認識サービスと MRS は Gracenote のサービスマークです。
音楽認識技術および関連データは、GracenoteおよびThe Gracenote CDDB® Music Recognition Service℠ により提供されています。Gracenote は、音楽認識技術および関連コンテンツ配信分野での業界標準です。より詳しい情報は、Web サイト "www.gracenote.com." をご覧ください。

用語説明

オープン　エムジー
OpenMG

音楽配信サービスや音楽コンテンツをパソコンに取り込んで管理するための著作権保護技術。パソコンにインストールしたOpenMG対応ソフトウェアで、音楽コンテンツをハードディスクに暗号化して記録し、そのパソコン上での音楽の再生を楽しむことができます。また、インターネットなどへの不正な配信を防止することができます。

マジック　ゲート
Magic Gate

OpenMGを搭載したパソコンと「マジックゲート」対応機器との相互認証により、データ通信の暗号化を行い、著作権を保護する技術。デジタル音楽データの不正なコピーや再生を防ぎます。

チェックイン／チェックアウト

パソコン上でOpenMG対応ソフトウェアで管理している音楽データを、Net MDなどの外部機器・メディアに転送することを「チェックアウト」と言い、チェックアウトした音楽データを元のパソコンへ戻すことを「チェックイン」と言います。（チェックアウトしたデータを他のパソコンにチェックインすることはできません。）
1度チェックアウトしたデータをチェックインによりパソコンに戻した後、再びチェックアウトすることも可能です。特別に利用方法に関する条件が付加された音楽データを除き、SDMIの基本ルールでは音楽データは1回のコピーで4部まで作 成可能なため、1部はパソコンの内部に保存され、残りの3部は外部機器、メディアへチェッアウトできます。

セキュア　デジタル　ミュージック　イニシアティブ
SDMI（Secure Digital Music Initiativeの略）

全世界に共通して使用できる著作権保護技術の統一方式を開発するために、レコード業界・コンピュータ業界・民生用エレクトロニクス業界など約130社以上の企業・団体が集まり、構成されたフォーラム。音楽ファイルの違法な使用を阻止し、合法な音楽配信サービスを促進するための枠組み作りを行っています。

サプリーム
Supreme

ケンウッドが開発したデータ音質向上技術。
MP3をはじめとする圧縮形式の音楽データフォーマットは、データ容量を小さくできる反面、再生時に音質が劣化します。これは、圧縮の際に高音域を中心としたデータが間引かれることが原因であり、「Supreme」は、その高音域帯を補完することで、原音に近い音楽データの再生ができます。

付属アプリケーション「Mulia」での著作権保護による制限

付属アプリケーション「Mulia」は、音楽コンテンツをパソコンに取り込んで管理するための著作権保護技術「OpenMG」を採用しています。「OpenMG」は、著作権保護されたデータをパソコンで取り扱うために、SDMIの取り決めに従って高度な暗号化技術を用いています。
お使いいただくときに、以下のような制限がありますのでご了承ください。

- 付属アプリケーション「Mulia」を使ってパソコンのハードディスクに入れられた音楽は、他のパソコンにコピーしても再生することはできません。
- パソコンから外部機器またはメディアにチェックアウトした音楽データは、そのデータを他のパソコン等にコピーしても再生できません。
- 外部機器またはメディアにチェックアウトした音楽データは、転送元であるパソコン以外にチェックインすることはできません。
- 複数のパソコンに同一の付属アプリケーション「Mulia」をインストールすることはできません。
- 付属アプリケーション「Mulia」は、SDMIの取り決めにより、コピー禁止信号が埋め込まれている音楽データを取り扱うことはできません。
- 著作権者やサービス事業者の意志により、音楽データに、利用方法に関する条件が付加される場合があります。この場合、その条件に沿った操作のみが可能になります。
- 音楽CD等で利用方法に関する条件が付加されていないとき、SDMIの基本ルールに沿った操作のみが可能です。（用語解説 → 127 チェックイン / チェックアウト）
- 付属アプリケーション「Mulia」は、SDMIの取り決めに基づいて作られています。将来この規定が改訂される場合、改訂内容によっては、一部の機能が使えなくなる可能性があります。

サポートについて

「Mulia」および「Mulia」の取り扱いに関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用下さい（裏表紙）

「Mulia」サポートおよび製品情報に関するホームページアドレス
http://www.kenwood.com/j/download/mulia/index.html

「OpenMG Jukebox」についてのお問い合わせは、OpenMGテクニカルインフォメーションセンターをご利用下さい
お問い合せ先電話番号　電話（045）650-2774
サポート時間　土・日・祝日を除く　平日 10:00 ～ 17:00　（電話での対応のみ）

区点コード表

区点コード表の検索のしかた

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
あ	01600		亜	唖	娃	阿	哀	**愛**	挨	姶	逢
	01610	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
	01620	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
	01630	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
	01640	鞍	杏								

区点コード表を使って、目的となる文字のコードを探します。

（例）愛

（1）　表から"愛"の文字を探す。

（2）　区点番号"01600"の行の6番目の文字であるので、区点番号"01606"をメモなどに控える。

（3）　**"MDのタイトル入力"**（→93）を参照して、文字を入力する。

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
記号	00100			、	。	，	．	・	：	；	？
	00110	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
	00120	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
	00130	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
	00140	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
	00150	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
	00160	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
	00170	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
	00180	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
	00190	★	○	●	◎	◇					
	00200		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
	00210	→	←	↑	↓	〓					
英・数字	00310							0	1	2	3
	00320	4	5	6	7	8	9				
	00330				A	B	C	D	E	F	G
	00340	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
	00350	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
	00360						a	b	c	d	e
	00370	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
	00380	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
	00390	z									
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ひらがな	00400		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
	00410	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
	00420	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
	00430	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
	00440	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
	00450	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
	00460	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
	00470	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
	00480	ゐ	ゑ	を	ん						
カタカナ	00500		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
	00510	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
	00520	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
	00530	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
	00540	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
	00550	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
	00560	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
	00570	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
	00580	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ギリシャ	00600		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
	00610	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
	00620	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
	00630				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
	00640	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
	00650	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
ロシア	00700		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
	00710	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
	00720	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
	00730	Ь	Э	Ю	Я						
	00740										а
	00750	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
	00760	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
	00770	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
	00780	ю	я								
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
あ	01600		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
	01610	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
	01620	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
	01630	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
	01640	鞍	杏								
い	01640			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
	01650	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
	01660	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
	01670	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
	01680	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
	01690	引	飲	淫	胤	蔭					
	01700		院	陰	隠	韻	吋				
う	01700							右	宇	烏	羽
	01710	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
	01720	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
	01730	云	運	雲							
え	01730				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
	01740	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
	01750	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
	01760	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
	01770	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
	01780	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
お	01780								於	汚	甥
	01790	凹	央	奥	往	応					
	01800		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
	01810	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
	01820	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
か	01820									下	化
	01830	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
	01840	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
	01850	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
	01860	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
	01870	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
	01880	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
	01890	恢	懐	戒	拐	改					
	01900		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
	01910	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
	01920	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
	01930	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
	01940	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
	01950	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
	01960	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
	01970	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
	01980	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
	01990	噛	鴨	栢	茅	萱					
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
か	02000		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
	02010	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
	02020	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
	02030	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
	02040	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
	02050	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
	02060	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
	02070	贋	雁	頑	顔	願					
き	02070						企	伎	危	喜	器
	02080	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
	02090	旗	既	期	棋	棄					
	02100		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
	02110	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
	02120	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
	02130	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
	02140	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
	02150	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
	02160	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
	02170	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
	02180	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
	02190	禦	魚	亨	享	京					
	02200		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
	02210	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
	02220	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
	02230	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
	02240	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
	02250	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
	02260	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
く	02260										九
	02270	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
	02280	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
	02290	串	櫛	釧	屑	屈					
	02300		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
	02310	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
	02320	郡									
け	02320		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
	02330	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
	02340	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
	02350	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
	02360	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
	02370	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
	02380	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
	02390	建	憲	懸	拳	捲					
	02400		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
	02410	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
け	02420	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
	02430	絃	舷	言	諺	限					
こ	02430						乎	個	古	呼	固
	02440	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
	02450	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
	02460	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
	02470	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
	02480	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
	02490	効	勾	厚	口	向					
	02500		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
	02510	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
	02520	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
	02530	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
	02540	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
	02550	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
	02560	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
	02570	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
	02580	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
	02590	忽	惚	骨	狛	込					
	02600		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
	02610	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
さ	02610										些
	02620	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
	02630	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
	02640	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
	02650	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
	02660	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
	02670	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
	02680	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
	02690	鮭	笹	匙	冊	刷					
	02700		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
	02710	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
	02720	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
し	02730	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
	02730								仕	仔	伺
	02740	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
	02750	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
	02760	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
	02770	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
	02780	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
	02790	字	寺	慈	持	時					
	02800		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
	02810	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
	02820	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
	02830	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
し	02840	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
	02850	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
	02860	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
	02870	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
	02880	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
	02890	綬	需	囚	収	周					
	02900		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
	02910	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
	02920	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
	02930	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
	02940	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
	02950	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
	02960	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
	02970	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
	02980	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
	02990	恕	鋤	除	傷	償					
	03000		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
	03010	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
	03020	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
	03030	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
	03040	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
	03050	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
	03060	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
	03070	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
	03080	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
	03090	醸	錠	嘱	埴	飾					
	03100		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
	03110	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
	03120	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
	03130	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
	03140	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
	03150	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
す	03150									笥	諏
	03160	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
	03170	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
	03180	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
	03190	椙	菅	頗	雀	裾					
	03200		澄	摺	寸						
せ	03200					世	瀬	畝	是	凄	制
	03210	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
	03220	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
	03230	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
	03240	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
	03250	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
	03260	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
せ	03270	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
	03280	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
	03290	煽	旋	穿	箭	線					
	03300		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
	03310	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
	03320	全	禅	繕	膳	糎					
そ	03320						噌	塑	岨	措	曾
	03330	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
	03340	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
	03350	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
	03360	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
	03370	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
	03380	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
	03390	霜	騒	像	増	憎					
	03400		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
	03410	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
	03420	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
た	03430	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
	03440	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
	03450	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
	03460	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
	03470	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
	03480	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
	03490	諾	茸	凧	蛸	只					
	03500		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
	03510	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
	03520	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
	03530	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
	03540	暖	檀	段	男	談					
ち	03540						値	知	地	弛	恥
	03550	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
	03560	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
	03570	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
	03580	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
	03590	丁	兆	凋	喋	寵					
	03600		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
	03610	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
	03620	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
	03630	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
つ	03630								津	墜	椎
	03640	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
	03650	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
	03660	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
て	03660							亭	低	停	偵
	03670	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
て	03680	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
	03690	艇	訂	諦	蹄	逓					
	03700		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
	03710	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
	03720	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
	03730	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
と	03730									兎	吐
	03740	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
	03750	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
	03760	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
	03770	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
	03780	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
	03790	答	筒	糖	統	到					
	03800		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
	03810	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
	03820	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
	03830	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
	03840	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
	03850	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
	03860	頓	呑	曇	鈍						
な	03860					奈	那	内	乍	凪	薙
	03870	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
	03880	軟	難	汝							
に	03880				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
	03890	虹	廿	日	乳	入					
	03900		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
ぬ	03900									濡	
ね	03900										禰
	03910	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
	03920	粘									
の	03920		乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
	03930	脳	膿	農	覗	蚤					
は	03930						巴	把	播	覇	杷
	03940	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
	03950	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
	03960	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
	03970	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
	03980	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
	03990	爆	縛	莫	駁	麦					
	04000		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
	04010	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
	04020	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
	04030	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
	04040	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
	04050	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

VC-7DVDだけの機能

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ひ	04050										匪
	04060	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
	04070	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
	04080	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
	04090	枇	毘	琵	眉	美					
	04100		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
	04110	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
	04120	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
	04130	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
	04140	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
	04150	敏	瓶								
ふ	04150			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
	04160	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
	04170	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
	04180	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
	04190	伏	副	復	幅	服					
	04200		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
	04210	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
	04220	粉	糞	紛	雰	文	聞				
へ	04220							丙	併	兵	塀
	04230	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
	04240	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
	04250	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
	04260	鞭									
ほ	04260		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
	04270	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
	04280	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
	04290	抱	捧	放	方	朋					
	04300		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
	04310	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
	04320	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
	04330	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
	04340	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
	04350	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
	04360	本	翻	凡	盆						
ま	04360					摩	磨	魔	麻	埋	妹
	04370	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
	04380	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
	04390	繭	麿	万	慢	満					
	04400		漫	蔓							
み	04400				味	未	魅	巳	箕	岬	密
	04410	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
む	04410										務
	04420	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
め	04420										冥
め	04430	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
	04440	免	棉	綿	緬	面	麺				
も	04440							摸	模	茂	妄
	04450	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
	04460	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
	04470	紋	門	匁							
や	04470				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
	04480	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
	04490	鑓									
ゆ	04490		愉	愈	油	癒					
	04500		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
	04510	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
	04520	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
よ	04520										予
	04530	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
	04540	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
	04550	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
	04560	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
ら	04560										羅
	04570	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
	04580	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
り	04580									利	吏
	04590	履	李	梨	理	璃					
	04600		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
	04610	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
	04620	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
	04630	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
	04640	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
	04650	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
る	04660	瑠	塁	涙	累	類					
れ	04660						令	伶	例	冷	励
	04670	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
	04680	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
	04690	漣	煉	簾	練	聯					
	04700		蓮	連	錬						
ろ	04700					呂	魯	櫓	炉	賂	路
	04710	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
	04720	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
	04730	肋	録	論							
わ	04730				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
	04740	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
	04750	碗	腕								
一	04800		弌	丐	丕						
丨	04800					个	丱				
丶	04800							丶	丼		
丿	04800									丿	乂
	04810	乖	乘								
乙	04810			亂							
亅	04810				亅	豫	亊	舒			
二	04810								弍	于	亞
	04820	亟									
亠	04820		亠	亢	亰	亳	亶				
人	04820							从	仍	仄	仆
	04830	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
	04840	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
	04850	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
	04860	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
	04870	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
	04880	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
	04890	傀	傚	傅	傴	傲					
	04900		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
	04910	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
	04920	儡	儺	儷	儼	儻					
儿	04920						儿	兀	兒	兌	兔
	04930	兢	競								
入	04930			兩	兪						
八	04930					兮	冀				
冂	04930							冂	囘	册	冉
	04940	冏	冑	冓	冕						
冖	04940					冖	冤	冠	冢	冩	冪
冫	04950	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
几	04960	几	處	凩	凭	凰					
凵	04960						凵	凾			
刀	04960								刄	刋	刔
	04970	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
	04980	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
	04990	劒	剱	劈	劑	辨					
	05000		辧								
力	05000			劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
	05010	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸			
勹	05010								勹	匆	匈
	05020	甸	匍	匐	匏						
匕	05020					匕					
匚	05020						匚	匣	匯	匱	匳
匸	05030	匸	區								
十	05030			卆	卅	丗	卉	卍	凖		
卜	05030									卞	

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
卩	05030										卩
	05040	卮	夘	卻	卷						
厂	05040					厂	厖	厠	厦	厥	厮
	05050	厰									
厶	05050		厶	參	簒						
又	05050					雙	叟	曼	燮		
口	05050									叮	叨
	05060	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
	05070	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
	05080	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
	05090	咥	咬	哄	哈	咨					
	05100		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
	05110	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
	05120	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
	05130	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
	05140	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
	05150	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
	05160	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
	05170	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
	05180	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓		
囗	05180									囗	囮
	05190	囹	圀	囿	圄	圉					
	05200		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	
土	05200										圦
	05210	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
	05220	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
	05230	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
	05240	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
	05250	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
	05260	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟			
士	05260								壯	壺	壹
	05270	壻	壼	壽							
夂	05270				夂						
夊	05270					夊	夐				
夕	05270							夛	梦	夥	
大	05270										夬
	05280	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
	05290	奢	奠	奧	奬	奩					
女	05300		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
	05310	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
	05320	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
	05330	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
	05340	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
	05350	孀									
子	05350		孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
子	05360	學	斈	孺							
宀	05360				宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
	05370	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
	05380	寳									
寸	05380		尅	將	專	對					
小	05380						尓	尠			
尢	05380								尢	尨	
尸	05380										尸
	05390	尹	屁	屆	屎	屓					
	05400		屐	屏	孱	屬					
屮	05400						屮				
山	05400							乢	屶	屹	岌
	05410	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
	05420	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
	05430	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
	05440	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
	05450	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
	05460	巓	巒	巖							
巛	05460				巛						
工	05460					巫					
已	05460						已	巵			
巾	05460								帋	帚	帙
	05470	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
	05480	幟	幢	幤	幇						
干	05480					幵	并				
幺	05480							幺	麼		
广	05480									广	庠
	05490	廁	廂	廈	廐	廏					
	05500		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
	05510	廬	廱	廳	廰						
廴	05510					廴	廸				
廾	05510							廾	弃	弉	彝
	05520	彜									
弋	05520		弋	弑							
弓	05520				弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
	05530	彎	弯								
彑	05530			彑	彖	彗	彙				
彡	05530							彡	彭		
彳	05530									彳	彷
	05540	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
	05550	徠	徨	徭	徼						
	05550					忖	忻	忤	忸	忱	忝
心	05560	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
	05570	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
	05580	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
心	05590	悁	悍	惧	悃	悚					
	05600		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
	05610	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
	05620	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
	05630	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
	05640	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
	05650	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
	05660	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
	05670	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
	05680	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	
戈	05680										戈
	05690	戉	戍	戌	戔	戛					
	05700		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳		
戸	05700									扁	
手	05700										扎
	05710	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
	05720	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
	05730	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
	05740	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
	05750	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
	05760	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
	05770	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
	05780	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
	05790	撓	撥	撩	撈	撼					
	05800		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
	05810	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
	05820	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	
攴	05820										攴
	05830	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
	05840	敞	敝	敲	數	斂	斃	變			
斗	05840								斛	斟	
斤	05840										斫
	05850	斷									
方	05850		旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	
无	05850										无
	05860	旡									
日	05860		旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
	05870	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
	05880	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
	05890	曁	暹	曉	暾	暼					
	05900		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	
曰	05900										曰
	05910	曵	曷								
月	05910			朏	朖	朞	朦	朧	霸		
木	05910									朮	朿
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
木	05920	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
	05930	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
	05940	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
	05950	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
	05960	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
	05970	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
	05980	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
	05990	椢	椦	棡	椌	棍					
	06000		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
	06010	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
	06020	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
	06030	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
	06040	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
	06050	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
	06060	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
	06070	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
	06080	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
	06090	檍	檠	檄	檢	檣					
	06100		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
	06110	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
	06120	欖	鬱	欟							
欠	06120				欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
	06130	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡			
止	06130								歸		
歹	06130									歹	歿
	06140	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
	06150	殯	殲	殱							
殳	06150				殳	殷	殼	毆			
毋	06150								毋	毓	
毛	06150										毟
	06160	毬	毫	毳	毯	麾	氈				
氏	06160							氓			
气	06160								气	氛	氤
	06170	氣									
水	06170		汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
	06180	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
	06190	泅	泝	沮	沱	沾					
	06200		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
	06210	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
	06220	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
	06230	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
	06240	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
	06250	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
	06260	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
	06270	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
水	06280	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
	06290	滲	漱	滯	漲	滌					
	06300		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
	06310	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
	06320	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
	06330	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
	06340	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
	06350	瀲	灑	灣							
火	06350				炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
	06360	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
	06370	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
	06380	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
	06390	燠	燬	燧	燵	燼					
	06400		燹	燿	爍	爐	爛	爨			
爪	06400								爭	爬	爰
	06410	爲									
爻	06410		爻	爼							
爿	06410				爿	牀	牆				
片	06410							牋	牘		
牛	06410									牴	牾
	06420	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧			
犬	06420								犹	犲	狃
	06430	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
	06440	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
	06450	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
	06460	獺									
玉	06460		珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
	06470	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
	06480	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
	06490	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
瓜	06500		瓠	瓣							
瓦	06500				瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
	06510	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	
甘	06510										甞
生	06520	甦									
用	06520		甬								
田	06520			甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
	06530	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
	06540	疊	疉	疂							
病	06540				疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
	06550	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
	06560	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
	06570	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
	06580	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
	06590	癩	癪	癧	癬	癰					
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
病	06600		癲								
癶	06600			癶	癸	發					
白	06600						皀	皃	皈	皋	皎
	06610	皖	皓	皙	皚						
皮	06610					皰	皴	皸	皹	皺	
皿	06610										盂
	06620	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	
目	06620										盻
	06630	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
	06640	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
	06650	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
	06660	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚				
矛	06660							矜			
矢	06660								矣	矮	
石	06660										矼
	06670	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
	06680	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
	06690	碾	碼	磅	磊	磬					
	06700		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
	06710	礫									
示	06710		祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
	06720	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳			
禸	06720								禹	禺	
禾	06720										秉
	06730	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
	06740	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
	06750	穢	穩	龝	穰						
穴	06750					穹	穽	窈	窗	窕	窘
	06760	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
	06770	竊									
立	06770		竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
	06780	竦	竭	竰							
竹	06780				笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
	06790	笞	笵	笨	笶	筐					
	06800		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
	06810	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
	06820	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
	06830	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
	06840	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
	06850	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
	06860	籘	籟	籤	籖	籥	籬				
米	06860							籵	粃	粐	粤
	06870	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
	06880	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
	06890	糲	糴	糶							
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
糸	06890				糺	紆					
	06900		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
	06910	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
	06920	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
	06930	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
	06940	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
	06950	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
	06960	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
	06970	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
	06980	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
	06990	纎	纛	纜							
缶	06990				缸	缺					
	07000		罅	罌	罍	罎	罐				
网	07000							网	罕	罔	罘
	07010	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
	07020	羇									
羊	07020		羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
	07030	羮	羶	羸	譱						
羽	07030					翅	翆	翊	翕	翔	翡
	07040	翦	翩	翳	翹	飜					
老	07040						耆	耄	耋		
耒	07040									耒	耘
	07050	耙	耜	耡	耨						
耳	07050					耿	耻	聊	聆	聒	聘
	07060	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
聿	07070	聿	肄	肆	肅						
肉	07070					肛	肓	肚	肭	冐	肬
	07080	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
	07090	脛	脩	脣	脯	腋					
	07100		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
	07110	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
	07120	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
	07130	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
	07140	臠									
臣	07140		臧								
至	07140			臺	臻						
臼	07140					臾	舁	舂	舅	與	舊
舌	07150	舍	舐	舖							
舟	07150				舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
	07160	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	
艮	07160										艱
色	07170	艷									
艸	07170		艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
	07180	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
	07190	苞	茆	苜	茉	苙					
艸	07200		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
	07210	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
	07220	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
	07230	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
	07240	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
	07250	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
	07260	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
	07270	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
	07280	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
	07290	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
	07300		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
	07310	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
	07320	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
	07330	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
虍	07340	虍	乕	虔	號	虧					
虫	07340						虱	蚓	蚣	蚩	蚪
	07350	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
	07360	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
	07370	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
	07380	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
	07390	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
	07400		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
	07410	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
	07420	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
	07430	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
血	07440	衄	衂								
行	07440			衒	衙	衞	衢				
衣	07440							衫	袁	衾	袞
	07450	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
	07460	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
	07470	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
	07480	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
	07490	褸	襌	褝	襠	襞					
	07500		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷		
襾	07500									襾	覃
	07510	覈	覊								
見	07510			覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
	07520	覺	覽	覿	觀						
角	07520					觚	觜	觝	觧	觴	觸
言	07530	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
	07540	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
	07550	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
	07560	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
	07570	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
	07580	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
言	07590	證	譖	譛	譚	譫					
	07600		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
	07610	讓	讖	讙	讚						
谷	07610					谺	豁	谿			
豆	07610								豈	豌	豎
	07620	豐									
豕	07620		豕	豢	豬						
豸	07620					豸	豺	貂	貉	貅	貊
	07630	貍	貎	貔	豼	貘					
貝	07630						戝	貭	貪	貽	貲
	07640	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
	07650	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
	07660	賍	贔	贖							
赤	07660				赧	赭					
走	07660						赱	赳	趁	趙	
足	07660										跂
	07670	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
	07680	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
	07690	蹂	踵	踰	踴	蹊					
	07700		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
	07710	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
	07720	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡			
身	07720								躬	躰	軆
	07730	躱	躾	軅	軈						
車	07730					軋	軛	軣	軼	軻	軫
	07740	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
	07750	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
	07760	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤			
辛	07760								辜	辟	辣
	07770	辭	辯								
辶	07770			辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
	07780	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
	07790	逧	逶	逵	逹	迸					
	07800		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
	07810	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
	07820	邊	邉	邏							
邑	07820				邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
	07830	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰				
酉	07830							酊	酖	酘	酣
	07840	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
	07850	醪	醵	醴	醺	釀	釁				
釆	07850							釉	釋		
里	07850									釐	
金	07850										釖
	07860	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬

VC-7DVDだけの機能

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
金	07870	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
	07880	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
	07890	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
	07900		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
	07910	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
	07920	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
	07930	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
	07940	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
	07950	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿			
門	07950								閂	閇	閊
	07960	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
	07970	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
	07980	關	闡	闥	闢						
阜	07980					阡	阨	阮	阯	陂	陌
	07990	陏	陋	陷	陜	陞					
	08000		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
	08010	險	隧	隱	隲	隰	隴				
隶	08010							隶	隷		
隹	08010									隹	雎
	08020	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕			
雨	08020								雹	霄	霆
	08030	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
	08040	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉		
青	08040									靜	
非	08040										靠
面	08050	靤	靦	靨							
革	08050				勒	靫	靱	靭	鞅	靼	鞁
	08060	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
	08070	鞴	韃	韆	韈						
韋	08070					韋	韜				
韭	08070							韭	齏	韲	
音	08070										竟
	08080	韶	韻								
頁	08080			頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
	08090	顏	顋	顫	顯	顰					
	08100		顱	顴	顳						
風	08100					颪	颯	颱	颶	飄	飃
	08110	飆									
食	08110		飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
	08120	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
首	08130	饐	饋	饑	饒	饌	饕				
香	08130							馗	馘		
馬	08130									馥	
	08130										馭
	08140	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
馬	08150	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
	08160	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
	08170	驢	驥	驤	驩	驫	驪				
骨	08170							骭	骰	骼	髀
	08180	髏	髑	髓	體						
高	08180					髞					
髟	08180						髟	髢	髣	髦	髯
	08190	髫	髮	髴	髱	髷					
	08200		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣		
鬥	08200									鬥	鬧
	08210	鬨	鬩	鬪	鬮						
鬯	08210					鬯					
鬲	08210						鬲				
鬼	08210							魄	魃	魏	魍
	08220	魎	魑	魘							
魚	08220				魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
	08230	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
	08240	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
	08250	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
	08260	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
	08270	鱠	鱧	鱶	鱸						
鳥	08270					鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
	08280	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
	08290	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
	08300		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
	08310	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
	08320	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
	08330	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞					
鹵	08330						鹵	鹹	鹽		
鹿	08330									麁	麈
	08340	麋	麌	麒	麕	麑	麝				
麥	08340							麥	麩	麸	麪
	08350	麭									
麻	08350		靡								
黄	08350			黌							
黎	08350				黎	黏	黐				
黒	08350							黔	黜	點	黝
	08360	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷			
黹	08360								黹	黻	黼
黽	08370	黽	鼇	鼈							
皷	08370				皷	鼕					
鼠	08370						鼡	鼬			
鼻	08370								鼾		
齊	08370									齊	
齒	08370										齒
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
齒	08380	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
	08390	齲	齶								
	08390			龕							
龍	08390				龜						
龜	08390					龠					
龠	08400		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
10700			¡	¢	£	¤	¥	¦	§	♪
10710	©	ª	«	¬	Ⓟ	®	¯	°	±	^{2}
10720	^{3}	´	µ	¶	•	‡	^{1}	º	»	¼
10730	½	¾	¿	À	Á	Â	Ã	Ä	Å	Æ
10740	Ç	È	É	Ê	Ë	Ì	Í	Î	Ï	Ð
10750	Ñ	Ò	Ó	Ô	Õ	Ö	×	Ø	Ù	Ú
10760	Û	Ü	Ý	Þ	ß	à	á	â	ã	ä
10770	å	æ	ç	è	é	ê	ë	ì	í	î
10780	ï	ð	ñ	ò	ó	ô	õ	ö	÷	ø
10790	ù	ú	û	ü	ý					
10800		þ	ÿ	ɑ	ɔ	ʌ	ə	ɚ	ɛ	θ
10810	ʃ	ʒ	ŋ	ǽ	ɑ́	ɔ́	ʌ́	ə́	ɚ́	ɛ́
10820	æ̀	ɑ̀	ɔ̀	ʌ̀	ə̀	ɚ̀	ɛ̀	ː		
10830				Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ
10840	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
10850	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
10860	⑱	⑲	⑳	♧	♡	♤	◇	♣	♥	♠
10870	◆	㊤	㊥	㊦	㊧	㊨	(大)	(小)	㊙	㊞
10880	㊟	(新)	(再)	(禁)	⇄	↔	↗	↙	↘	↖
10890	☞	☜	☝	☟						
10900		^{1}	^{2}	^{3}	^{4}	^{5}	^{6}	^{7}	^{8}	^{9}
10910	™	♯	♭	$_{1}$	$_{2}$	$_{3}$	$_{4}$	$_{5}$	$_{6}$	$_{7}$
10920	$_{8}$	$_{9}$	♫	𝄞	𝄢	𝄽	♮	m	maj	sus
10930	aug	dim	add	♨	⛩	卍	〒	☎	FAX	
区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
11000										
11010	COPY	KEEP	MST							
11020										
11030										
11040										
11050										
11060										
11070										
11100			!	"	#	$	%	&	'	(
11110	)	*	+	,	-	.	/	0	1	2
11120	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<
11130	=	>	?	@	A	B	C	D	E	F
11140	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
11150	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z
11160	[	\	]	^	_	`	a	b	c	d
11170	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n
11180	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x
11190	y	z	{	|	}					
11200		~								
区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

知ってておきましょう

メンテナンス

セットのお手入れ

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

接点復活剤について

接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させせることがあります。

参考

結露にご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴（露）が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。このようなときには、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。

次のような状態のときには、特に結露にご注意ください。
気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋など。

輸送時または移動時のご注意

本機を輸送するときや、移動するときは、下記の操作を行ってください。

❶ ディスク、MDを取り出す

❷ MD ▶/❚❚ キーを押す

MD NO DISC

❸ DVD/CD ▶/❚❚ キーを押す

❹ しばらく待って、ディスプレイ部が図の表示になったことを確かめてください。

NO DISC

❺ 数秒間待って、電源をオフにします。

メモリーバックアップ

電源プラグをコンセントから抜くとすぐ消えるメモリーの内容：
時計表示

電源プラグをコンセントから抜いて最低1日で消えるメモリーの内容：

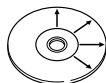
照明表示部
DIMMER（ディマー）値（VC-5DVD）
LCDのバックライト値とコントラスト値（VC-7DVD）

アンプ部
電源の状態（オンまたはスタンバイ）、インプットセレクタ、ボリューム値、トーンコントロール値
AUX インプット値、オートパワーセーブの設定

チューナー部
受信バンド、周波数、プリセット放送局、AUTO（オート）/MONO（モノラル）の設定、タイマーの設定内容

ディスク取扱上のご注意

取り扱い
再生面にふれないように持ってください。

再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。

お手入れ
ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。

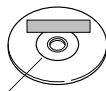
保存
長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

異常なディスクは使用しない

再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

ディスクアクセサリーについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー（スタビライザー、保護シート、保護リングなど）およびレンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

レンタルディスク、中古ディスクの取り扱いについて

図の様にクランピングエリアにシールが貼られているディスクはご使用にならないでください。
シールから糊がはみ出したり金属板が貼られている場合があり、ディスクが取り出せなくなる恐れがあります。
シール類をはがした後、糊がレーベル面に残っていると、故障の原因になります。糊のベタつきがある場合、必ずふき取ってからご使用ください。

CD-R/CD-RWディスクについて

レーベル面に印刷可能なCD-R/CD-RWを使用すると､レーベル面が張り付いてディスクの取り出しができないことがあります。
本機の故障の原因となるため､このようなディスクは使用しないでください。

本機は､マクロビジョンコーポレーションおよび他の権利保有者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された､著作権保護技術を搭載しています｡この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり､同社の許可がない限りは一般家庭およびそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています｡解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

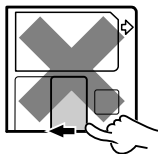
「DTS」はデジタルシアターシステムズの商標です。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。DOLBY（ドルビー）及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

TruSurroundと (●) 記号は SRS Labs, Inc. の商標です。TruSurround技術は SRS Labs, Inc. からのライセンスに基づき製品化されています。

MDの取り扱いかた

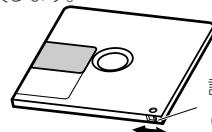
MDのディスクはカートリッジに入っているため、ゴミや指紋を気にしないで、手軽に扱うことができます。ただし、カートリッジの汚れやそりなどは、誤動作の原因になります。いつまでも美しい音を楽しむため、次のことにご注意ください。

ディスクに直接触れない
シャッターを手で開けて、ディスクに直接触れないでください。無理に開けるとこわれます。

置き場所について
極端に温度の高いところ（直射日光の当たるようなところ）や、湿度の高いところには置かないでください。

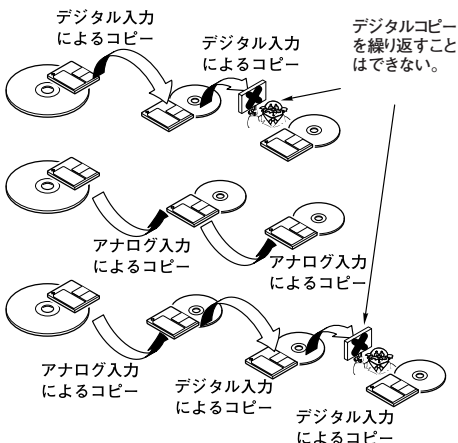
ほこり対策について
本機の中では、MD のシャッターは常に開いています。従って MD にほこりが入るのを防ぐため、録音、再生が終わりましたら、速やかにMDを本機から取り出してください。

お手入れのしかた
定期的に、カートリッジについたホコリやゴミを乾いた布でふき取ってください。

ディスクアクセサリーについて
レンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

誤消去防止つまみ
録音した内容を誤って消さないためには、MDの誤消去防止つまみ（WRITE PROTECT）を開いた状態にしておきます。再び録音する場合は、つまみを元の状態に戻します。

カートリッジラベルについて
ラベルははがれないように端のほうまでしっかりと貼り付けてください。またラベルエリアよりはみだしてラベルを貼らないでください。

デジタル録音と SCMS について

SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）とは、著作権保護のため、各種のデジタルオーディオ機器の間でデジタル信号をデジタル信号のまま録音できるのは、一世代だけと規定したものです。

ドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品

MD - Clip データについて

MD-Clipデータ（静止画等）を書き込んだディスクは、本機で録音・編集を行わないでください。Clipのデータ内容が失われることがあります。

あなたが録音、録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、デジタル録音機器（この商品）の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
なお、私的録音補償金に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

社団法人私的録音補償金管理協会
東京都新宿区西新宿 3 丁目 20 番 2 号
東京オペラシティータワー 11F
電話（03）5353-0336（代表）
FAX.（03）5353-0337

ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

用語解説

DVD（Digital Versatile Disc）： DVDビデオは、映画ソフトなど映像と音声を大きな記録容量とデジタル信号処理が可能にした高画質・高音質パッケージメディアなどが収録されているディスクです。

ビデオCD（VCD）： 動画の収録されているCDです。画像情報を約1/120に、音声情報を約1/6に圧縮することにより、一般の音楽用CDと同じ直径12cmのディスクに、動画および音声を最大約74分間収録できます。

単に再生だけが可能なP.B.C.なしのディスク（バージョン1.1）と、メニューや各種の特殊再生（プレイバックコントロール）が可能な、P.B.C.付き（バージョン2.0）に対応しています。

MPEG（Moving Picture Expert Group）（DVD、VCD）： デジタル画像および音声の圧縮と、復元の国際標準規格とされている方式のことをいいます。

デコーダー： DVDなどに符号化して記録した音声データを通常の音声信号に戻す装置。この処理をデコードといいます。

ダウンミックス： DVDのマルチチャンネルの音声信号を2チャンネルに集約して変換することをいいます。

サンプリング周波数： サンプリングとは、デジタル信号を作るためアナログ信号を一定の時間で細かく刻み、1つ1つの波の高さを数値化すること。1秒間に刻む回数をサンプリング周波数といいます。

量子化ビット数： 量子化とは、デジタル信号を作るためアナログ信号を一定の時間で細かく刻み、1つ1つの波の高さを数値化することです。数値化したときの段階数を量子化ビット数といいます。サンプリング周波数と量子化ビット数が高いほど、源音を忠実に再現できます。

リニアPCM（Pulse Code Modulation）： 圧縮処理を用いない音声信号のこと。DVDではディスク容量が格段に多くなり、サンプリング周波数の高いリニアPCM信号を収録できます。

Bitstream（DVD）： ドルビーデジタル、DTS、MPEGなどのいろいろな規格に従ったデータの流れの総称をBitstreamといいます。

ドルビーデジタル： ドルビー社が開発したデジタル音声の圧縮技術です。ステレオ（2ch）はもちろん、5.1chのサラウンド音声にも対応しており、大量の音声データを効率良くディスクに収めることができます。

DTS： Digital Theater Systems, Incが開発したデジタルサラウンド方式です。

タイトル／タイトル番号（DVDビデオ）： タイトルとはDVDビデオに記録されている映像や曲の一番大きい単位をいいます。通常は映像ソフトでは映画1作品、音楽ソフトではアルバム1枚（あるいは1曲）に相当します。それぞれのタイトルに順番につけられた番号をタイトル番号といいます。

チャプター／チャプター番号（DVDビデオ）： DVDビデオに記録されている映像や曲の区切りで、タイトルより小さい単位をチャプターといいます。1つのタイトルはいくつかのチャプターで構成されています。それぞれのチャプターに順番につけられた番号をチャプター番号といいます。

トラック／トラック番号（VCD、CD）： トラックとはディスクに記録されている内容の区切り（「曲」や「章」など）のことです。この区切りには番号が割り当てられ、この番号をトラック番号といいます。一般の音楽用CDでは1曲に1トラックが割り当てられる場合がほとんどですが、VCDの場合、内容的な区切りとトラック番号は、必ずしも対応関係にありません。曲の飛び越しやプログラムなど、音楽用CDで行われる再生は、すべてトラック番号の情報に基づいているため、VCDではこのような再生が不可能な場合があります。

シネマボイス機能（DVD）： ドルビーデジタルサラウンドで収録されたDVDで、セリフが聴き取りにくいときなどに使います。

字幕言語（DVD）： DVDディスクによっては複数の字幕言語が記録されているものがあります。

アングル（DVD）： DVDディスクによっては複数のアングルが記録されているものがあります。

音声言語（DVD）： DVDディスクによっては複数の音声言語が記録されているものがあります。

アスペクト比：テレビ画面に表示される映像の縦横比をいいます。通常のテレビの横：縦の比率は4：3、ワイドテレビは16：9の比率を持っています。

パン＆スキャン（DVD）：アスペクト比16：9で記録された横長の映像を4：3のテレビ画面に映し出すために、画面の一部を切り取り表示し、トリミングすることをいいます。一般にこのパン＆スキャンの切り取り位置は、再生する機器によって一様に定められますが、DVDディスクはこの位置を、ソフト制作者が指定し記録することができます。

レターボックス（DVD）：アスペクト比16：9で記録された横長の映像を4：3のテレビ画面に映し出すために、画面の上下に黒などの帯を付け、画面中央部にこの横長映像を映し出すことをいいます。

フレーム（DVD/VCD）：動画の1コマ1コマのこと。テレビでは、1秒間にNTSC方式では30コマ、PAL方式では25コマの静止画像を連続して映し出すことで、動きのある映像を作っています。

フィールド（DVD/VCD）：1フレームの映像情報を2つに分けたもの。通常のテレビでは、このフィールドを交互に映し出すことで1フレームを構成します。

フレームスチル／フィールドスチル（DVD/VCD）：画を一時停止して静止画像にすることをスチルといいます。フレームスチルでは、2フィールドを交互に映し続けるため、画像にブレが生じることがありますが画質は良くなります。フィールドスチルでは、画像情報が半分のため画質は荒くなりますが画面のブレはありません。

IPB表示（DVD）：DVDでの映像方式のMPEG2では、1画面を以下の3つのピクチャータイプに分けデジタル信号に符号化しています。

I-ピクチャー（フレーム内符号化）：基準の映像であり、単独で画面を構成します。画質が最もよく、画質を調整する場合はこの静止映像が適しています。

P-ピクチャー（前方向予測符号化）：過去の映像（I-ピクチャーまたはP-ピクチャー）から算出される映像です。

B-ピクチャー（両方向予測符号化）：前後の映像（I-ピクチャーまたはP-ピクチャー）の比較から算出されるもので、映像情報がもっとも少ない画面です。

P.B.C.（Play（プレイ） Back（バック） Control（コントロール））（VCD）：「プレイバックコントロール付き」などとディスクやジャケットに書かれているビデオCDは、テレビに表示されるメニュー画面を見ながら、見たい場所や情報を階層構造を用いて対話方式で再生する方式をいいます。

OSD（On（オン） Screen（スクリーン） Display（ディスプレイ））：OSDとは、テレビ画面にメニューやアイコンなどを表示し、対話方式で操作する方法をいいます。

On（オン） Screen（スクリーン） Message（メッセージ）：操作をしたときにテレビ画面に表示される表示をいいます。

故障かな?と思ったら...

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に、症状にあわせて一度チェックしてみてください。

マイコンをリセットするには

電源がオンのときの接続コードの抜き差しや、あるいは外部からの要因により、マイコンが誤動作（操作できない、ディスプレイの誤表示など）することがあります。この場合、次の手順をお試しください。
マイコンがリセットされ、通常の状態に戻ります。

電源プラグをコンセントから抜き、STOP■ キーを押しながら、差し込み直す。

- リセットにより、各種の記憶内容は消滅し、工場出荷時の状態となります。ご了承ください。

アンプ部・スピーカー部

症　状	処　置
音が出ない。	● **"接続のしかた"**を参照して正しく接続し直す。 →12, →13 ● 音量を上げる。 →26 ● **MUTE**をオフ（解除）にする。 →26 ● ヘッドホンが差し込まれているときはプラグを抜く →28 ● スピーカーコードがショートしている。電源を切ってスピーカーコードを接続し直す。 →12, →13
STANDBY/TIMERの表示が赤色に点滅し、音が出ない。	● スピーカーコードがショートしている。電源を切ってスピーカーコードを接続し直す。 →12, →13
STANDBY/TIMERの表示が緑色に点滅する。	● 時刻合わせをやり直す。 →25
ヘッドホンから音がでない。	● ヘッドホンプラグが正しく差し込まれているか確認する。 →28 ● 音量を上げる。 →26
スピーカーの片側から音が出ない。	● **"接続のしかた"**を参照して正しく接続し直す。 →12, →13 ● 左右のバランスを調節する。 →26
時刻表示が、ある時間で止まったまま点滅している。	● **"時刻合わせ"**を参照して現在時刻をもう一度合わせる。 →25
タイマーが作動しない。	● **"時刻合わせ"**を参照して現在時刻を合わせる。 →25 ● タイマーのオン時刻とオフ時刻を設定する。 →99, →100 ● リモコンの**TIMER**キーで実行指定する。 →102

チューナー部

症　状	処　置
放送局が受信できない。	● アンテナを接続する。 →14 ● 放送バンドを合わせる。 →32 ● 受信したい放送局の周波数に合わせる。 →32
雑音が入る。	● 外部アンテナを道路から離して設置する。 ● 電気器具の電源を切ってみる。 ● テレビから離す。
プリセットしたあと、P.CALLキーを押しても受信できない。	● 受信できる周波数の放送局をプリセットする。 →29, →33 ● 長い間、電源コンセントを抜いていたため、メモリーが消えてしまった。もう一度プリセットする。 →29, →33

DVD/ CDプレーヤー部

症　状	処　置
再生がはじまっても、映像が出ない。	● TVなどの入力切換えが合っていない、または電源が入っていない。 ● 接続コード類が正しく接続されていない。 →15, →16
早送り・早戻しで画像が乱れる。	● 早送り、早戻し時は、多少画面が乱れます。故障ではありません。
画質／音質がよくない。	● 接続コード類が正しく接続されていない。 →12, →13 →15, →16 ● 雑音源と思われる機器が、そばにある。 ● ディスクに汚れやキズがついている。汚れは拭き取り、ディスクはキズをつけないように大切に扱ってください。 →138 ● 光学レンズが結露している場合があります。このようなときには、本機の電源を切った状態で、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。 →137
再生がはじまるまでに時間がかかる。	● ディスクの種類の検出、モーターの回転を安定させるためで、故障ではありません。
テレビ画面に警告が表示され再生ができない。	● ディスク表面に指紋や汚れがついていると再生映像が乱れたり音飛びをする場合があります。やわらかい布などで、汚れを放射状にふきとってください。 →138 ● ディスクを斜めに置いたり、重ねて置いているときは、ディスクを正しく入れ直してください。 →39 ● 視聴制限または、リージョンコードにより再生できない。 →35, →105
画面が乱れる。	● 再生したいディスクのビデオフォーマットと接続したテレビのビデオフォーマットが合っていない。 →35
VCDのメニュー再生ができない。	● P.B.C.をオフにしているときはメニュー再生できません。 →56 ● プレイバックコントロール付きのビデオCD以外は、メニュー再生できません。
字幕がでない。	● 字幕の入っていないDVDディスクは字幕が表示されません。 ● 字幕言語の設定を変える。 →110
音声（または字幕）言語が切り換えられない。	● 複数の音声（または字幕）言語の入っていないDVDディスクは、言語を切り換えられません。
アングルが切り換えられない。	● 複数のアングルの入っていないDVDディスクは、アングルを切り換えられません。またアングルの記録されていない部分では、アングルを切り換えられません。
視聴制限（Rating（レーティング））が変更できない。	● パスワードを紛失してしまった場合は、初期設定の内容を工場出荷状態に戻してください。 →142
設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない。	● 再生しようとしているDVDディスクに、初期設定で選んだ言語が入っていないときは、ディスクの優先言語が選ばれます。

症　状	処　置
操作をしたときにテレビ画面にメッセージがでない。	● **"オンスクリーンメッセージ"**が **"オフ"**になっている場合は、**"オン"**にします。 →106
希望の言語でメニュー画面のメッセージがでない。	● 再生しようとしているDVDディスクに、初期設定で選んだ言語が入っていないときは、ディスクの優先言語が選ばれます。
禁止アイコンが表示され、操作を受け付けない。	● DVDやVCDは、ソフト制作者の意図により、操作が制限されていることがありますのでソフトに従った操作をしてください。また本機の状態により操作が制限されている場合もあります。 →34
字幕が欠ける。	● 接続するTVの画面サイズの切り換え／画面の縦方向サイズ調整を確認してください。

MDレコーダー部（MD規格上の症状）

症　状	原　因
まだ録音可能時間があるのに"DISC FULL"と表示される。	● 256曲以上（トラック番号256以上）は録音できません。（トラック番号256未満でも録音できないことがあります。）このとき、ディスプレイのリメインタイム表示は、**"0:00"**になります。
短い曲を消しても、記録可能時間が増えない。	● MD全体の残り時間が12秒未満の場合は、ディスプレイのリメインタイム表示は、**"0:00"**になります。消去された曲の合計時間が12秒を超えると録音可能時間の表示が変化します。*1 ● 編集を繰り返したMDの場合、短い曲を消しても、残量時間が増えないことがあります。
曲をつなぐことができない。	● 編集処理の結果として生まれた曲は、つなげない場合があります。 ● 異なる録音モードの曲同士はつなげません。*2
録音済みの時間と、録音可能時間の合計がMD全体の記録時間（60分、74分、80分）と一致しない。	● 2秒間を最小単位として録音が行われるため、表示時間が一致しないことがあります。*3
編集でできた曲で早送り、早戻しをすると、音が途切れる。	● さまざまな条件の組み合わせにより、音切れを発生する場合がありますが、故障ではありません。
トラック（曲）番号が正しく付かない。	● 録音したソース（CDほか）の内容によっては、短い曲ができることがあります。
"READING"が表示される時間が異常に長い。	● 新品の録音用MD（全く録音されていないもの）を入れた場合、通常よりも長い間 **"READING"**が表示されます。
モノラル録音されたMDのとき、時間表示が不正確になる。	● モノラル録音とステレオ録音が、それぞれ異なるフォーマットで行われるためで、故障ではありません。
タイトルが1792文字入らない。	● タイトルの記録エリアは、7文字単位で使用されているため1792文字入りきらない場合があります。

*1 録音モードがSTEREOモードの場合（LP2/MONOモードの場合：24秒　LP4モードの場合：48秒）
*2 STEREO（ステレオ録音モード）、LP2（ステレオ2倍長時間録音モード）、LP4（ステレオ4倍長時間録音モード）、MONO（モノラル録音モード）
*3 録音モードがSTEREOモードの場合（LP2/MONOモードの場合：4秒　LP4モードの場合：8秒）

MDレコーダー部（その他の症状）

症　状	処　置
再生キーを押しても音が出ない。	● 録音済MDまたは再生用MDを入れる。
録音ができない。	● 誤消去防止つまみを元に戻すか、録音可能なMDに取り換える。 →139 ● 入力切換を録音したいソースにする。 →74
録音レベルが低い。 音がひずむ。（AUX、DIGITAL AUX使用時）	● 録音レベルの設定をしていない。AUX入力レベルを調節する。 →73
雑音が大きい。	● 電気器具、テレビなどから離す。
外部アナログ機器からの録音でトラック番号が繰り上がらない、または正しく繰り上がらない。	● AUX入力レベル（AUX INPUT）を調整する。 →57 ● トラックマーク（TRACK MARK）を**"MANUAL"**に設定する。 →72
グループ登録ができない。	● すでにグループ登録されている曲をグループ登録しようとした。 ● 100以上のグループを登録することはできません。

リモコン部

症　状	処　置
リモコンで操作できない。	● 新しい電池に入れ換える。 →22 ● 操作範囲内で操作する。 →22

PC接続トラブルシューティング

症　状	意　味	処　置
パソコン側が、接続を認識しない。	● USBコネクタが抜けている。	● 接続を確認する。 →117
	● 付属ソフト"Mulia"がインストールされていない。	● インストールする。 →123
	● パソコン側の問題。	● パソコンを再起動する。
接続動作が不安定。	● USBハブ、USB延長ケーブルを使用している。	● USBハブ、USB延長ケーブルの使用をやめる。

メッセージ表示の一覧

ディスプレイ表示	意　味
BLANK DISC	● 何も録音されていないMDです。
BUFFER OVER	● 74分以内に201曲以上のCDを倍速録音しようとしている。
CAN'T EDIT	● 長さが短すぎる曲などを編集しようとしている。 ● プログラムモードまたはランダム再生のときにMDの編集をしようとしている。プログラムモードまたはランダム再生を解除する。 →65,→66 ● 再生専用のMDに録音しようとしている。録音用のMDを入れる。 ● CDランダムモードのときにO.T.E.録音をしようとしている。ランダムモードを解除する。 →45,→46
UTOC ERROR	● UTOC*の内容が異常である。("ALL ERASE")を行う。 →91 それができないときは、MDを取り換える。
DISC FULL	● 録音可能なエリアがないか、256曲目を録音しようとしている。録音用のMDを入れ換える。一枚のディスクには256曲以上録音できません。
MD WRITING	● 編集や録音したときの各種の情報を書き込んでいる。
NO TRACKS	● 曲は録音されていないが、MDタイトルが書かれている。
PGM FULL	● CDまたはMDのプログラムで33曲目を選択しようとしている。 →43,→64
PROTECTED	● MDが"録音禁止"されている。"録音可能"にする。 →139 ● チェックアウトした曲を編集しようとしている。
READING	● TOC* 情報を読み込んでいる。
SCMS	● SCMS によりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。録音できません。
TEXT FULL	● 3Kバイト以上のテキスト情報があるCD TEXTのテキスト情報を表示しようとしている。
TITLE FULL	● 最大文字数の制限を超えて、タイトルを入力しようとしている。 入力できる文字数は、全体で1792文字、1曲につき80文字(**"LP:"**も含む)までです。
"?"の点滅	● 設定やMDの編集を実行してもよろしいですか？ という確認のためのメッセージ。
UNLOCK	● 光ケーブルが外れている。 ● サンプリング周波数が38 kHz、44.1 kHz、48 kHz以外の外部ソース機器を接続している。
Wait	● CD4倍速録音を始めてから、74分以内に同じ曲を録音しようとしている。
NOT AUDIO	● 2ch PCM信号以外のデジタル音声信号が入力されている。
NO PLAY	● 地域コードが違うDVDディスクを再生しようとしている。 ● TOC情報が読めない。 ● 本機で対応していないディスクを再生しようとしている。
POWER OFF OK?	● 「Mulia」起動中に、VC-7DVDの電源を切ろうとしている。

* すべてのMDには音声信号以外にTOC(Table of Contents)という情報が記録されています。TOCとは本の目次に相当し、曲数や演奏時間、文字情報などのうち、書き直すことのできないものが入っています。
TOC以外に録音用MDに特有な情報をUTOCと呼びます。このUTOCには、曲数や演奏時間、文字情報のうち、書き直し可能な情報が入っています。

保証とアフターサービス(よくお読みください)

保証書　(別途添付)

製品には保証書が(別途)添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。
電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。
(お問い合わせ先は、添付の「ケンウッドサービス網」をご覧ください。)

補修用性能部品の保有期間

当社は、このステレオの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しております。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

シリアル番号について

システム商品の各機器にシリアル番号が付けられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。
付属の保証書で、お買い上げのシステム機器(基本システム)すべての保証修理が受けられます。

修理を依頼される時は

「故障かな？と思ったら」に従って調べていただき、なお異常がある時は、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービス窓口が修理をさせていただきます。
修理に際しましては保証書をご提示ください。

出張修理／持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼される時は、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号(Serial No.)
- お買い上げ年月日
- 故障の症状(できるだけ具体的に)
- ご住所(ご近所の目印等も併せてお知らせください)
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

保証期間が過ぎている時は

保証期間が過ぎている時は、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

(有料修理の場合は、次の料金をいただきます)

- 技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代：修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
- 送　料：郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

お買上げ店名

電話 (　　　　　)　　　　-

定格

本体部

［アンプ部］
実用最大出力
VC-5DVD .... 25 W+25 W（JEITA 6 Ω）
VC-7DVD
フロント出力 .... 25 W+25 W（JEITA 6 Ω）
サラウンド出力 .... 5 W+5 W（JEITA 6 Ω）
サブウーファープリアウト .... 2 V / 750 Ω
AUX出力 .... 200 mV / 200 Ω
AUX入力 .... 200 mV / 47k Ω
デジタル音声入力（光角型コネクター）
.... -27 ～ -15 dBm（波長 660 nm）

［チューナー部］
FMチューナー部
受信周波数範囲 .... 76 MHz～90 MHz
アンテナインピーダンス ....75 Ω 不平衡型
AMチューナー部
受信周波数範囲 .... 531 kHz～1,629 kHz

［MDレコーダー部］
読み取り方式 .... 非接触光学式読み取り
（半導体レーザー）
音声圧縮方式 .... ATRAC/ATRAC 3

［DVDプレーヤー部］
読み取り方式 .... 非接触光学式読み取り
（半導体レーザー）
信号方式 .... NTSC
映像出力 .... 1 Vp-p（75 Ω）
S 映像出力
Y 出力レベル .... 1 Vp-p（75 Ω）
C 出力レベル .... 0.286 Vp-p（75 Ω）
コンポーネント映像出力 .... （D 端子）
Y 信号 .... 1 Vp-p（75 Ω）
C_b 信号 .... 0.7 Vp-p（75 Ω）
C_r 信号 .... 0.7 Vp-p（75 Ω）
デジタル音声出力
.... -21 ～ -15 dBm（波長 660 nm）

［電源部・その他］
電源電圧・電源周波数 .... AC 100 V, 50 Hz / 60 Hz
定格消費電力（電気用品安全法に基づく表示）
VC-5DVD .... 72 W
VC-7DVD .... 75 W
最大外形寸法 .... 幅　：270 mm
高さ：110 mm
奥行：361 mm
質量（重量）
VC-5DVD .... 6.2 kg（正味）
VC-7DVD .... 6.4 kg（正味）

VC-5DVD スピーカー部

エンクロージャー .... バスレフ型
スピーカー構成
ウーファー .... 120 mm
ツイーター .... 25 mm
インピーダンス .... 6 Ω
最大入力 .... 30 W
最大外形寸法 .... 幅　：150 mm
高さ：240 mm
奥行：234 mm
質量（重量） .... 3.1 kg（1 本）

VC-7DVD スピーカー部

［フロントスピーカー部］
エンクロージャー .... バスレフ型
スピーカー構成
ウーファー .... 120 mm
ツイーター .... 25 mm
インピーダンス .... 6 Ω
最大入力 .... 30 W

［サラウンドスピーカー部］
エンクロージャー .... 密閉方式
スピーカー構成
フルレンジ .... 50 mm
インピーダンス .... 6 Ω
最大入力 .... 10 W
最大外形寸法 .... 幅　：150 mm
高さ：324 mm
奥行：234 mm
質量（重量） .... 3.5 kg（1 本）

- これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
- 極端に寒い（水の凍るような）場所では、十分に性能を発揮できないことがあります。

KENWOOD
株式会社 ケンウッド
〒 192-8525　東京都八王子市石川町 2967-3

●商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
カスタマーサポートセンター東京　電話（03）3477-5335　FAX（03）3477-5334　〒153-0042 東京都目黒区青葉台 3-17-9
カスタマーサポートセンター大阪　電話（06）6394-8085　FAX（06）6394-8308　〒532-0034 大阪市淀川区野中北 2-1-22
●アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、添付の「ケンウッドサービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。